

第八十三回帝國議會
衆議院

工業所有權法戰時特例案外三件委員會會議錄(速記)第二回

付託議案
工業所有權法戰時特例案(政府提出、貴族院送付)(第九號)
裁判所構成法戰時特例案(政府提出、貴族院送付)(第一號)
戰時民事特別法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第二號)
戰時刑事特別法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第三號)

昭和十八年十月二十八日(木曜日)午前九時十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 作田高太郎君

理事泉 國三郎君 理事仲井間宗一君
理事林 信雄君 理事山本 桑吉君

小野 秀一君 木下 郁君

清瀨 一郎君 庄司 一郎君

田中 藤作君 田村 稔君

土屋 源市君 中井 一夫君

仲西 三良君 南雲 正朔君

信正 義雄君 濱野 清吾君

松岡 俊三君 宮崎 一君

南 鐵太郎君 村澤義二郎君

出席國務大臣左ノ如シ

司法大臣 岩村 通世君

出席政府委員左ノ如シ

司法次官 大森 洪太郎君

司法省民事局長 齋藤 直一君

司法省刑事局長 池田 克君

陸軍法務中將 大山 文雄君

海軍法務中將 尾畑 義純君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

工業所有權法戰時特例案(政府提出、貴族院送付)
裁判所構成法戰時特例案(政府提出、貴族院送付)

戰時民事特別法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

戰時刑事特別法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

○作田委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、本日ハ工業所有權法戰時特例案、裁判所構成法戰時特例案中改正法律案、戰時民事特別法中改正法律案、戰時刑事特別法中改正法律案、以上ノ議題ト致シマス、先ヅ裁判所構成法戰時特例案中改正法律案外二件ノ政府ノ說明ヲ求メマス

○岩村國務大臣 裁判所構成法戰時特例案中改正法律案、戰時民事特別法中改正法律案及ビ戰時刑事特別法中改正法律案ノ理由ハ、本會議ニ於キマシテ御説明申シマシタ通りデゴザイマスガ、更ニ敷衍致シマシテ其ノ改正理由ヲ御説明致シタイト存ジマス

司法部ニ於キマシテハ、曩ニ實施セラレマシタ裁判所構成法戰時特例並ニ之ト密接ノ關係アル戰時民事特別法及ビ戰時刑事特別法ノ運用ニ依リマシテ、戰時下ニ於ケル裁判檢察ノ進行ヲ的確迅速ニシ、以テ其ノ本來ノ機能ノ發揚ニ努力シテ參ツタノデアリマスガ、大東亞戰爭ハ、今ヤ苛烈ナル決戰連續ノ段階ニ入りマシテ、政府ハ斷乎國內態勢ノ強化方策ヲ樹立致シマシテ、國家

ノ總力ヲ擧ゲ、聖戰ノ目的ニ集中致シマス

コトトナツタノデ、司法ノ部門ニ於キマシテモ之ニ即應シ、銃後治安ノ確保ヲ圖ルト共ニ、司法ノ一層敏活ナル處理ヲナシ、愈々其ノ效果ヲ發揮スル爲メ是等三法律ニ必要ナル改正ヲナサムトスル次第デゴザイマス

先ヅ裁判所構成法戰時特例ノ改正理由ニ付キ申述ベマスガ、今回ノ改正ノ要點ハ次ノ三點デゴザイマス

第一ハ、民事及ビ刑事ノ訴訟ニ付キ區裁判所ノ事物管轄ヲ擴張スル點デアリマス、民事訴訟ニ於キマシテハ、從來區裁判所ハ裁判所構成法第十四條ノ規定ニ依リマシテ、千圓ヲ超過セザル金額又ハ價額千圓ヲ超過セザル物ニ關スル請求ニ付キ裁判權ヲ有シテ居ツタノデアリマスガ、今回ノ擴張シ、二千圓ヲ超過セザル金額又ハ價額二千圓ヲ超過セザル物ニ關スル請求ハ、總テ區裁判所ノ管轄ニ屬セシメルデアリマス、

第二條ノ改正規定ガ之ニ當リマス、次ニ刑事訴訟ニ於キマシテハ、從前ハ裁判所構成法第十六條ノ規定ニ依リマシテ、短期一年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ該ル罪ハ地方裁判所ノ管轄ニナツテ居リマシタ所、裁判所構成法戰時特例第二條ノ規定ニ依リマシテ、戰時竊盜、常習竊盜等ニ付テハ、之ヲ區裁判所ノ管轄トナシタノデアリマスガ、今回更ニ其ノ範圍ヲ擴張シ、短期一年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ該ル罪ヲモ區裁判

所ノ管轄トナスコトニ致シマシタ、換言スレバ死刑又ハ無期ノ懲役若シクハ禁錮ニ該ル罪ヲ除キ、總テ區裁判所ノ管轄ト致スノデアリマス、但シ豫審ヲ經クルモノハ此ノ限りデアリマセヌ、第三條ノ改正規定ガ之ニ當リマス、尤モ、後ニ述ベマス戰時刑事特別法中改正法律案ニ於キマシテ、區裁判所ノ管轄ニ屬スル事件ニ付キマシテモ、檢事ハ事案ノ内容ニ照シ相當ト認メマシタ事件ハ、之ヲ地方裁判所ニ起訴シ、地方裁判所ハ此ノ場合ニ於テハ必ず自ら裁判ヲナスベキ旨ノ規定ヲ新設セントスルノデアリマス

第二ハ、民事及ビ刑事ノ訴訟ニ付キ全般的ニ控訴審ヲ省略シ、所謂二審制ヲ採用スル點デアリマス、民事訴訟ニ於キマシテハ、裁判所構成法戰時特例第三條ノ規定ニ依リマシテ、賃貸借ニ基ク家屋ノ明渡、強制執行ニ關スル訴訟等ニ付キ、刑事訴訟ニ於キマシテハ、同法第四條ノ規定ニ依リマシテ、戰時刑事特別法ノ罪、經濟事件ノ大部分、思想事件ノ一部等ニ付キ、何レモ第一審ノ判決ニ對シ控訴ヲナスコトヲ得ズ、直接上告ヲナスコトヲ得ルモノトシテ一部ノ訴訟ニ付キ二審制ヲ採用シテ居ツタノデアリマスガ、今回其ノ範圍ヲ擴張シ、民事及ビ刑事ノ訴訟ニ付キ全面的ニ二審制ヲ採用シ、第一審判決ニ對シテハ控訴ヲ

ナスコトヲ得ズ、直接上告ヲナスコトヲ得ルモノト改メ、區裁判所ノナシタル判決ニ對スル上告ハ、總テ控訴院ノ管轄ニ屬セシメルノデゴザイマス、第四條及第五條ノ改正規定ガ之ニ當リマス、而シテ刑事訴訟ニ於テハ、既ニ重大ナル事實ノ誤認ヲ以テ上告ノ理由ト致シテ居リマスガ、民事訴訟ニ於キマシテモ二審制トナリマスガ爲ニ、新ニ重大ナル事實ノ誤認ヲ以テ上告ノ理由トシヨウトスルノデアリマシテ、之ヲ戰時民事特別法中ノ改正規定トシテ提案スル次第デゴザイマス

第三八、刑事ニ付キマシテモ抗告裁判所ノ爲シタル決定ニ對シテハ更ニ抗告ヲナスコトヲ得ザルモノトナス點デアリマス、裁判所構成法戰時特例第七條ノ規定ニ依リマシテ、民事ニ付キマシテハ抗告裁判所ノナシタル決定ニ對シテハ更ニ抗告ヲナスコトヲ得ザルコトト相成テ居リマスガ、刑事ニ付キマシテモ民事ト同様所謂再抗告ハ之ヲ許サザルモノト改メルノデアリマシテ、第七條ノ改正規定ガ之ニ當リマス

尙ホ以上ノ改正ニ伴ヒ必要ナル經過規定ヲ設ケ、改正法律案ハ、其ノ施行前裁判所ノ受理シタル訴訟ニ付テハ原則トシテ之ヲ適用致シマセズガ、第四條及第五條ノ改正規定ニ限り、改正法律施行後ニ第一審ノ辯論ノ終結シタル訴訟ニ付テモ之ヲ適用スル旨ノ附則ヲ置イテ居リマス

ノト致シマシテ、且ツ上告審ニ於ケル事實審理ヲ認メントスル點デアリマス、裁判所構成法戰時特例中改正法律案第四條ニ依リマシテ、民事訴訟ハ總テ二審制ト相成リ、控訴審ヲ省略致シマス關係上、所罰事實審ハ第一審限リトナル譯デアリマス、從來民事訴訟ニ於キマシテハ、刑事訴訟ト異リ、上告ノ場合ニハ法令違背ノミヲ上告理由トシテ認メテアツタノデアリマス、併シナガラ今回ノ裁判所構成法戰時特例ノ改正ニ依リマシテ一般ニ控訴審ヲ省略致シマスノデ、判決ニ影響ヲ及ボスベキ重大ナル事實ノ誤認ノアルコトヲ疑フニ足ル顯著ナル事由ノ存スル場合ニハ、之ヲ上告ノ理由トスルコトガ出來ルモノト致シタルデゴザイマス、斯カル事由ガアル場合ニハ、勿論上告審デハ原判決ヲ破毀シ、事件ヲ原審ニ差戻シ、又ハ同等ノ他ノ裁判所ニ移送スルコトナルノデアリマスガ、若シ上告審ニ於テ直チニ辯論ヲ開キ事實ノ審理判決ヲナスヲ適當ト認ムル時ハ、其ノ方法ヲモ執ルコトヲ得ルモノト致シタル次第デゴザイマス、第十條ノ二及ビ第十條ノ三ノ改正規定ガ之ニ當リマス

第二點ハ、裁判所構成法戰時特例ノ改正ニ依リ金額又ハ價額二千圓以下ノ訴訟ガ區裁判所ノ管轄ニ屬シマスノデ、訴訟物ノ價額ヲ算定スルコト能ハザル場合ニ、該訴訟ヲ地方裁判所ノ管轄トスル爲ニ、其ノ價額ヲ二千圓ヲ超過スルモノト看做シ、以テ民事訴訟法第二十二條ノ特則ヲ設ケタ點デアリマス、第五條ノ改正規定ガ之ニ當リマス

次ニ戰時刑事特別法ノ改正理由ヲ御説明申上ゲマス、戰時刑事特別法ハ、大東亞戰爭開始直後ノ情勢ニ對處スル爲メ、刑事ニ

關スル實體及ビ手續ニ關スル規定ヲ整備シ、裁判所構成法戰時特例ト相俟テ、犯罪ノ豫防鎮壓及ビ刑事事件ノ敏速ナル處理ニ相當ノ效果ヲ擧ゲ來ツタノデアリマス、然ルニ戦局ノ苛烈化スルニ伴ヒマシテ、銃後治安ノ確保ハ益々喫緊ノ要務トナリ、司法ノ職責モ亦愈々重キヲ加ヘテ參ツタノデアリマス、此ノ秋ニ當リ率先垂範スベキ官公吏等ニシテ、其ノ職ヲ瀆ス者尙ホ其ノ跡ヲ絶タナイノハ遺憾至極ノコトデアリマシテ、延イテハ國政ノ圓滑且ツ公正ナル運用ヲ妨グルノ虞ガアリマスルノデ、此ノ際綱紀ノ振肅ヲ圖ル爲メ、瀆職罪ニ關スル刑罰ヲ加重整備スルノ必要ヲ痛感スル次第デアリマス、他方刑事手續ニ於キマシテモ、決戰段階ニ相應シク一層簡素強力ナルモノト致シ、的確敏速ナル裁判檢察ノ運用ニ依リマシテ、銃後ノ治安維持ニ萬全ヲ期スルノ必要アリト存ズルノデアリマス

改正ノ要點ハ四點デアリマス、其ノ一ハ、瀆職罪ニ關スル刑罰ヲ加重シ規定ヲ整備セシトスルモノデアリマス、即チ公務員ノ瀆職罪ニ對シテハ全般的ニ重刑ヲ以テ之ニ臨ムコトトシ、尙ホ官公署ノ職員ガ其ノ地位ヲ利用シ他ノ官公署ノ職員ノ職務ニ屬スル事項ニ關シ斡旋ヲナスコト、又ハハシタルコトニ付キ不當ノ利益ヲ收受シ、要求シ、又ハ約束シタル場合ニ於キマシテモ、之ヲ收賄罪トシテ處罰スルコトトシ、又公務員ニ從事スル職員ハ法令ニ依ラザル場合ト雖モ之ヲ公務員ト看做シ、瀆職罪ノ規定ヲ適用アルモノト致シマシタ、他方贈賄罪ニ付キマシテモ、其ノ刑ヲ加重スルト共ニ、贈賄ヲナサシムル目的ヲ以テ金品ノ交付ヲナシ、又ハ情ヲ知りテ其ノ交付ヲ受ケタル者ヲモ

處罰シ得ルコトト致シタル次第デアリマス、第十八條ノ二乃至第十八條ノ七ノ改正規定ガ之ニ當ルノデアリマス

其ノ二ハ、略式手續ノ範圍ヲ擴張セントスルモノデアリマス、即チ略式命令ハ罰金又ハ科料ノ刑ヲ科スル場合ニノミ認メラレテ居ルノデアリマスガ、事案ノ内容單純ニシテ犯罪ノ成立明白ナル場合ニ於キマシテハ、略式命令ヲ以テ一年以下ノ懲役若シクハ禁錮又ハ拘留ノ刑ヲ科シ、更ニ竊盜、戰時居住侵入、常習賭博等特殊ノ罪ニ付キ右ト同様ノ條件アル時ハ三年以下ノ懲役ヲ科シ得ルコトト致シ、以テ事件ノ一層敏活ナル處理ヲ圖ラントスルモノデアリマス、第二十九條ノ二乃至第二十九條ノ五ノ改正規定ガ即チ之ニ當ルノデアリマス

其ノ三ハ、刑事手續ニ於ケル簡易化ヲ圖ラントスルモノデアリマス、即チ公判調書ニハ被告人、證人、其ノ他ノ者ノ訊問及ビ供述ヲ記載シナケレバナラスコトトナツテ居ルノデアリマスルガ、是ガ記載ヲ簡易ニシ、其ノ供述ノ要領ノミヲ明確ニスルヲ以テ足ルモノトシ、尙ホ裁判所又ハ豫審判事相當ト認メタル場合ハ證人又ハ鑑定人ノ訊問ニ代ヘ書面ヲ提出ヲナサシムルコトヲ得ルモノトナサントスルモノデアリマス、第二十二條ノ二及ビ第二十二條ノ三ノ改正規定ガ即チ之ニ當ルノデアリマス

其ノ四ハ、裁判所構成法戰時特例ノ改正ニ伴ヒ、必要ナル調整ヲナサントスルモノデアリマス、即チ裁判所構成法戰時特例中改正法律第三條ノ規定ニ依リマシテ短期一年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ該罪ニシテ豫審ヲ經ザルモノハ、區裁判所其ノ裁判權ヲ有スルコトト相成リマスルノデ、是ガ

運用ノ適正妥當ナルヲ期シマスルガ爲ニ、
檢事案ノ内容ニ照ラシ相當ト認ムル場合
ニ於テハ、區裁判所ノ管轄ニ屬スル事件デ
アリマシテモ、地方裁判所ニ公判ヲ請求シ
得ルコトトシ、此ノ場合ニ於テハ地方裁判
所ハ必ズ之ヲ審判スベキコトト致シマシタ
尙ホ同改正法律第四條ニ依リ全般的ニ二
審制ガ採用セラレマスノデ、辯護人ノ數
及ビ選任時期ニ關スル戰時刑事特別法第二
十條ノ規定ヲ全般的ニ適用スルコトト致サ
ントスルモノデアリマス、第十九條及ビ第
二十五條ノ二ノ改正規定ガ之ニ該ルモノデ
アリマス

以上ガ本法案ノ内容デアリマスルガ、尙
ホ附則ニ於テ略式手續及ビ辯護人ノ選任ニ
關スル改正規定ハ、本法施行前公訴ノ提起
アリタル事件ニ付テハ、之ヲ適用セザルコ
トト致サントスルモノデアリマス

以上三法律案ノ大體ノ御説明ヲ申上ゲタ
ノデゴザイマス、何卒慎重御審議ノ上、速カ
ニ御可決アラシコトヲ希フ次第デゴザイマ
ス、尙ホ色々細カク點ニ付テハ御質問ニ應
ジマシテ御答ヘヲ申上ゲマス

○作田委員長 是ヨリ工業所有權法戰時特
例案ノ審議ニ入りマス——別ニ討論ノ通告
モアリマセスカラ、討論ヲ省略致シテ採決
致シマス、原案ニ贊成ノ諸君ノ御起立ヲ願
ヒマス

〔總員起立〕

○作田委員長 起立總員、仍テ本案ハ原案
ノ通り可決致シマシタ、暫時休憩致シマス
午前九時三十二分休憩

午前十時三分開議

○作田委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キ

マス、御諮リスルコトガアリマス、本案ニ
對シマシテハ、質疑ノ通告ガ非常ニ多數デ
アリマスルノデ、質疑ハ時間ヲ三十分トシ、
其ノ順序ハ委員長ニ御一任ヲ願ヒマス、尙
ホ委員諸君ニ於カレマシテハ質疑ノ重複ヲ
極力才避ケ下サルヤウ御願ヒ致シマス、又
政府委員ニ於カレテモ直截簡明ノ御答辯ヲ
煩ハシタイト思フノデアリマス、更ニ關
聯質疑ハ原則トシテ之ヲナサナイコトニ御
注意ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、以上
御異議ハナイデセウカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○作田委員長 ソレデハ左様ニ決定致シマ
ス是ヨリ質疑ヲ許シマス——中井一夫君

○中井(一)委員 議事進行ニ付テ申上ゲマ
ス、此ノ問題ニ付テハ質疑ニ入ル前ニ懇談
會ヲ開クトカ、又質問ノ色々ナ方法等ニ付
テモ御相談ガアルヤウニ承ツテ居ツタノデ
アリマスガ、此ノ程度デ此ノ儘、御進ミニ
ナリマスガ、出來得ベクンバサウスルコト
ガ議事ガ順調ニ且ツ圓滿ニ行ク所以ガラウ
ト思ヒマスガ、其ノ點ハドウ云フコトニナ
ツタノデアリマセウカ

○作田委員長 御答ヘ致シマス、中井君ノ
御注意ハ御尤モデアリマスガ、一應是デ進
行致シマシテ、狀況ニ依リマシテ又御趣旨
ノヤウナ方法モ執リタイト思ヒマス、中井
君、質疑ヲ始メテ下サイ

○中井(一)委員 私ハ順序ヲ他ノ方ニ御讓
リ致シマシテ、後カラサセテ戴クコトニ致
シマス

○作田委員長 デハ宮崎一君

○宮崎委員 現在重大ナル時局ニ際シマシ
テ裁判手續ヲ簡素ニスルト云フコトノ必要
ニ付テハ私共モ十分了解致シテ居ルノデア

リマスガ、或ハ又色々ノ國內思想ノ問題等
ニ付テモ此ノ度ノ改正ノ趣旨ハ十分了解致
シテ居ルノデアアリマスケレドモ、最モ各
方面ノ危懼ノ的ニナツテ居リマスノハ、何
ト申シマシテモ略式手續ニ依ツテ自由刑ヲ
科スル、是ハ當局ノ御説明ニ從ヘバ能ク分
ルヤウデアリマスシ、又ソレニ對シテ異議
ノ申立ハ出來ルノデアアリマスガ、實際ハ
第一審ノ區裁判所ナラ區裁判所ニ於テ——現
實ノ事實ハ、或ル事件ガアリマス、是
ハ已ムヲ得ナイ現狀デアリマスケレドモ、
警察ニ於テ被告ヲ長イ間拘禁シテ置イテ、
御拘禁ニナツタ儘デ檢事ガ大體ノ警察ノ調
ベヲ基礎トシテ略式命令ヲ裁判所ニ對シテ
要求スル、斯ウ云フコトデ、本人ハ多クノ
場合ニ於テ辯明ノ時期ガナイノデアリマス、
取調ベル方カラ云ヘバ、連絡ヲ取ラセナイ
方ガ便利デゴザイマセウケレドモ、被疑者
ノ方トシテハ可ナリ言ヒタイコトモアラウ、
自分ハサウデハナイノダト申シタイコトモ
アラウケレドモ、現在ノ事情ニ於キマシテ
ハ殆ド辯明ノ機會ガ與ヘラレズシテ、其ノ
儘略式命令ガ發セラレ、而モ略式命令ニ
對シテ正式裁判ヲ拋棄シテシマフト云フコ
トガ現在デモ可ナリ多イノデヤナイカト思
フノデアリマスガ、ソレガ自由刑ニ及ブノ
ダト云フコトニ對シテ、非常ナ危懼ノ一般
大衆ガ持つテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ
關シテモウ少シ——ソレデモ斯ウセネバナ
ラヌノダ、斯ウ云フ譯ダカラ安心ダト云フ
コトニ付テ一般大衆ガ諒解スル程度ノ御説
明ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

○岩村國務大臣 只今宮崎サンヨリ色々御
質問ガゴザイマシテ、自由刑ニ付テ書面審
理ノ上略式命令ヲ以テ裁判ヲスルコトハ、

國民ガ危懼ノ念ヲ懷クノデヤナイカト云フ
御説明ガアリマシタガ、實ハ此ノ立案ニ付
テモ其ノ點ハ色々考ヘテ見タノデアリマス、
此ノ第二十九條ノ二ニ示シテアル通り「事案
ノ内容單純ニシテ犯罪ノ成立明白ナリト認
ムル事件」ト云フ譯デゴザイマスカラ、荷
クモ疑問ノアルヤウナ事件ニ付テハ、無
論略式命令ノ請求ハ致サナイコトニスル積
リデアリマス、尙ホ略式命令ノ請求ハ一應
本人ニ説明シテケレバナリマセヌガ、本人
ガ公判ヲ執リタイト云フモノニ付テハ、自
由ニ公判ヲ執ル、斯様ニ私共其ノ點ハ十分
注意致ス積リデゴザイマス、非常ノ時期デ
アリマシテ、イツ空襲等ガアルカモ知レヌ
ト云フ場合ヲ豫想致シマス、此ノ程度ノ
コトハ書面審理ニシテ、成ベク裁判ノ迅速
ヲ圖ルコトガ必要ダト云フコトデ、斯様ナ
規定ヲ設ケタ次第デアリマスカラ、何卒左
様御諒承ヲ願ヒマス

○宮崎委員 只今ノ司法大臣ノ御話ノ趣旨
ハ分ルノデゴザイマスケレドモ、斯ウ云フ
ノデス、事件ガ簡單デ明瞭デアルカ否カト
云フコトヲ誰ガ判斷スルカト云フト、今ノ
勾留ノ更新ノ場合ノ如キ二箇月——是ハ理
由ガアルト云ハレバソレマデダガ、サウ
云フ制限ハ實際ニ於テ最高ノ司法官或ハ司
法當局ノ御考ヘノヤウニ參ツテ居ラヌノデ
ヤナイカト云フヤウナ心配ニ堪ヘナイノデ
アリマス、此ノ點ハ十分、今ノ立法ノ建
前カラ實際ニ能ク御研究願ヒマセヌト——
立法ノ趣旨ハ此ノ重大時局デ手續ヲ早クシ
テ國民ノ新體制ヲ強化スルト云フコトデア
ルガ、實際ノ場合ニハ其ノ趣旨ガ段々下ノ
方ニ參リマスト非常ニ誤ラレルト云フコト
ニナリ、或ハ最高ノ方ノ考ヘテ居ルコトガ

現實ニハ出來ナクナツテ來テ、ソレニ對シテ可ナリ力ガ加ヘラレルコトガアリマシテ、大概ノ者ハアソコニ行ツタラ仕樣ガナイノダト云フコトデ泣イテ刑ニ服スルコトガアリ得ルノデアリマス、是ノ御説明ハソコニ盡キルノカモ知レヌ、又實際ノ取扱ニ付テハ幾ラデモ公判請求ノ機會ガアルト思ヒマスケレドモ、今マデモドウモサウ云フコトガ可ナリアル、法規ノ上デハサウデアアルケレドモ、サウ云フコトヲシヨウモノナラ、アトデドシテ目ニ遭フカモ知レナイト云フ危懼ノ念ヲ持タセラレテ歸ツテ來ル人ガ可ナリ多イト云フコトガ事實ノ真相デアリマス、是ハ私ノ考ヘデアリマスガ、本當ハ斯ウ云フヤウナ場合デアアルカラ或ル程度マデ國家ノ權力ガ強クアルコトガ必要デアアルガ、唯ソレガ度ガ過ギルト、其ノ法規ヲ解釋シ、本當ニ刑事關係ノ法規ヲ實際ニ執行シテ居ル者ハ巡査部長デアリ、又警察ノ一室デソレガ行ハレル、サウシテソレガ本當ニハ國家ノ資格アル裁判官ノ名前ニ於テ其ノ略式命令ガ出ルノデアアルガ、其ノ土臺全部ハ本當ハ若イ感情ノ強イ警察官ニ依ツテ行ハレル、日本ノ警察官ハ世界的ニ勝レテ居ルガ、現實ニ於テハ隨分烈シイコトガ行ハレルト云フコトノ爲ニ、事件ハ濟ンダガソレガ爲ニ裁判上ニハ現ハレナイガ、本人自身ノ一生ニ影響スルヤウナ飛ンデモナイコトガ起ル例ハ司法當局御承知ノ通りデアリマスノデ、此ノ點ニ關スル實際ノヤリ方ニ付テハ十分ナル御用意ヲ願ヒマセヌト、今マデノ略式裁判デサヘサウデアアルカラ、之ヲ自由刑ニスルト云フコトニナルト可ナリ重大デアルト思フノデアリマス、唯常習竊盜ナドノヤウナ場合ニハ、斯ウ云フコトモ大シク

コトハナイト思フ、常習竊盜或ハ喰逃ゲヲ終始ヤツテ居ルヤウナ人間ハ殆ド牢ニ入ルコトヲ希望シテ居ルノデハナイカトモ思ハレルノデ「ヘイ」ト言ツテ直グ行ツテシマフカラ、アア云フ者ニハ宜イカモ知レマセヌガ、ソレト同ジヤウナ工合ニ無辜ノ良民ニ非常ナ強壓ガ加ヘラレル、左様ナコトハ國家ノ法規上ナイ筈デアアルガ、現實ニ於テハ私共ガ言フニ忍ビザルコトガ隨分行ハレツツアルト斷言シテハイケナイガ、ナイトハ言ヘナイト云フ現狀デアリマスノデ、此ノ點ニ付テハ只今ノ御説明デ趣旨ハ分ツテ居ルガ、十分ナル御注意ヲ願ハヌト非常ナ危險ガアルト云フコトヲ一應申上ゲテ置キタイ、ソレデ私ハ斯ウ思フ、實際判事サシノ方デ満足ナサルカドウカ、是デハ刑事裁判ノ實際ニ起リ得ル事件ガ簡單ナラトカ明瞭ナラト云フコトハ、殆ド簡單ニシテ明瞭ニナツテシマフ、本人ガ自白ヲ強要サレルノデスカラ、自白シテ居ルコトニナルト簡單ニシテ明瞭ダト云フコトデ濟ムガ、實際ノ事實ニ於テサウデナイト云フコトガ儼トシテアルノデ、國民ガ之ニ對シテ非常ナ危險ノ念ヲ持ツテ居ルノデス、ソレデ正式裁判ノ申立ヲ拋棄シ得ルト云フ規定ガ非常ニ危險ダト云フノデス、ソレハ現在ノ所、勝手ニ引ツ張ツテ行カナイ、本人ノ任意デ出頭シタノダト云フガ、誰モ任意ニ出頭ハ致シマセヌ、任意ニ出頭シテ警察ニ百日モ居ルト云フヤウナ物好キガ日本ニハ多イノデアリマセウカ、斯ウ云フ任意出頭ノ例モアルカラ、是ハ進ンデ拋棄シタノダト云フコトニナルノデハナイカ、其ノ拋棄セシメルト云フ所ニ非常ナ危險ガアリマス、拋棄シ得ルト云フコトハ、拋棄シナクテモ宜イノダト云フガ、實際ハ

サウセザルヲ得ナイコトニナル、例ヘバ被告ガ保釋ニナツテ歸ツテ來テ、君ハ今マデノ商賣ヲヤツタラ宜イデハナイカト言ハレテモ、中ニ居ツテ當分商賣ヲシテハイカスト言ハレタカラ困ツテモヤリマセヌト云フ場合ガ可ナリアルカラ、是ハ可ナリ強キ影響ガアリマス、故ニ拋棄シナクテモ宜イト言フガ、ソレハ斯ウ云フ大キナ高樓或ハ大キナ才屋敷ノ中デノ議論デ、一線ニ參ルト、拋棄スル、シナイハ自由ダト云フテモ、實際ハ其ノ自由ト云フ餘地ハ少イノダト云フコトヲ十分ニ御認識ヲ戴キタイ、尤モ拋棄スルコトヲ得ナイトスルノモ困難デアリマセウガ、十分ナ御考慮ヲ拂ヒマセヌト、勝手ニ正式裁判ノ申立ヲシナイト云フコトニサレテシマフ危險ガ非常ニアルト思フノデアリマス、形式ノ議論デハナイ、實際ノ問題デ、今マデノ經驗カラ言ツテ非常ニ多イノデアリマスカラ、之ヲ心配シテ申上ゲテ居ルノデアリマス、何トカシテ之ヲ實際ニ弊害ヲ生ジナイヤウナコトニスル御考ヘガアレバ結構デアリマス、理論トシテハ洵ニ其ノ通りダト思フノデアリマス

之ニ立派ナ人士ヲ以テ當テタイト思フノデアリマス、此ノ前ニ御協賛ヲ願ヒマシタ、既ニ昨年ノ三月下旬カラ實施ニナツテ居リマス戰時三法律、其ノ實施ニ伴ヒマシテ、私共苦心ヲ致シマシテ、相當經驗ノアル士ヲ區裁判所判事ニ移シタノデアリマス、併シ勿論是デ私共ハ決シテ満足ヲ感ジテ居ルノデハナイノデアリマシテ、殊ニ斯カル案ヲ以テ臨ミマス以上、區裁判所判事ノ充實、特ニ略式係ノ充實ト云フコトニ付キマシテハ、懸命ノ努力ヲ拂フ積リデアリマスカラ、左様御諒承願ヒタイノデアリマス

第二ノ點デアリマスガ、此ノ略式命令ノ擴充ニ付キマシテハ、實ハ裁判所側ノ強キ希望ガアツタノデアリマス、檢事局ヨリモ寧ロ裁判所側カラ全國一齊ニ吾々ニ要求ガアツタノデアリマス、裁判所側ノ強キ要求ガアツタト云フコトヲ御承知置キテ願ヒタイノデアリマス

第三ノ正式裁判ノ拋棄ノ問題デアリマスガ、全ク御示シノ通りデアリマシテ、若シ萬ガ一ニモ直接間接ニ、或ハ判事カラデモ檢事カラデモ、拋棄ヲ強要スルト云フヤウナコトガアリマスカラバ、是ハ最モ忌ムベキコト戒シムベキコト、憎ムベキコトデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ私共十分ノ努力ヲ以テ、左様ナコトノ毛頭ナイヤウニ之ヲ取扱ツテ行キタイト思フノデアリマシテ、若シ萬ガ一ニモ左様ナコトガアリマスカラバ、人事ノ監督上強キ決意ヲ以テ之ニ臨ミタイ、斯様ニ存ジテ居ル次第デアリマス

○宮崎委員 此ノ民事特別法ノ第五條ニ價格ヲ二千圓トサレタノデスカ、是ハドウ云フノデスカ、モウ少シ多クテモ宜クハナカツタカ、今區裁判所ノ管轄ガ千圓デハ少イト

思ヒマスガ、區裁判所ノ管轄ハ今ノ物價カラ言フト、モウ少シ上ゲテ置イタ方宜クハナイカ、直グ又上ゲナケレバナラヌヤウナコトガ起リハシナイカ

○大森政府委員 御尤モニ存ズルノデアリマス、御承知ノ通りニ今日ハ千圓ガ限度ニナツテ居リマスケレドモ、是ハ大正十四年ノ頃ニ左様ニナツタノデアリマスカラ、當時ノ經濟事情カラ考ヘマシテ、今日ニ換算致シマス、モツト上ゲテモ宜イト云フノハ確カニ御同感デアリマス、併シ此ノ案ニ於キマシテハ民事ニ付キマシテモ控訴審ヲ省略シヨウト云フノデアリマス、一面ニ於テ控訴審ヲ省略シ、反面ニ於テ區裁判所ノ事物ノ管轄ガ民事ニ於テ甚シク増大致シマスルヤウナ是亦懸念ガアルヤニ存ジタノデアリマシテ、控訴審省略ト云フコトト脱ミ合ハセマシテ先ヅ二千圓ノ限度ガ適當デアラウ、而モ控訴審ヲ省略シテ居リマスカラ、此ノ二千圓ノ容易ク増額スルノ必要モナカラウ、斯様ニ考ヘタ次第デアリマス

○宮崎委員 只今ノ民事特別法中改正法律案ノ二千圓ノ限度ハ御説明デ諒承致シマシタ、併シ實際ハ、サウ云フコトヲ申上ゲテハイケナイノデアリマスケレドモ、ツイ四、五年前ト、政府ガ非常ニ御心配遊バシテ低物價政策ヲ維持シテ居ラレマスケレドモ、現在デハ物ノ價値ト云フモノハ非常ニ違ツテ參リマシタ、是ハ控訴審ヲ省略シタト云フ意味モゴザイマセウケレドモ、今ノ三千圓、四千圓、五千圓ハ數年前ノ千圓位ト同ジコトニナツテ居ルノデヤナイカト思フノデゴザイマス、併シ其ノ御用意ノ點ハ、是ハ民衆ノ利益ニナルコトデアリマスカラ、強クハ主張致シマセウケレドモ、實際ハ直

グ又上ゲナケレバナラヌコトニナルデアラウト私共ハ考ヘテ居リマス

ソレカラ濱職ノコトデアリマス、戰時刑事特別法ノ改正デ今度ハ濱職ヲ非常ニ重クサレタノデアリマスガ、私共ノ知ツテ居ル範圍デモ可ナリ數ガ多イヤウデゴザイマシテ、殊ニ取締ニ當ツテ居ラレル——私共ガ現實ニ事實ヲ知ツテ居ルダケデモ、オ藤元ノ警視廳アタリデモ、認可許可ニ當ツテ居ラレル警察官ノ中ニ、私自身ガ辯護ヲシタノデアリマスカラ、具體的ノ事實ヲ申上ゲルコトハ出來マセウケレドモ、可ナリ多イヤウデゴザイマス、私共ノ關係シタノハ二十八、九ノ若イ獨身ノ方デスガ、ソレガ建築ノ方ニ付テエライカヲ持ツテ居ラシイ、月給ハ八十圓位デスガ、其ノ人ノ所ニ行カナケレバ急ガレル軍需的ノ仕事ヲヤツテ居ル人ハ工事ガトテモ出來マセス、其ノ人ニドウカシテ頼ムト、何ダカ書類ノ順序ガ速クナルサウデ、サウスルト幾ラデモ仕事ガ出來テ大變任事ノ上ニ能率ガ上ル、監督官其ノ他ノ方カラ叱ラレマスカラ、何トデモシテ早クシタイト云フ爲ニ、其ノ中間ニ代願人ノヤウナ人ガ入ツテハ色々犯罪ガ行ハレテ居タヤウデアリマス、ソレハ本人ノ月給ヨリモ随分ト澤山デ、初メハ御馳走デス、府下ノ或ル所デスガ、夕方遅クナリマシタカラドウデスカ一杯ト云フコトデ附合ハサレテ、飲ミ食ヒ位ハ宜イト思ツテ行クト、次ニハ待合、若イカラ女ヲ抱カサレル、其ノ中ニチヨットシタ祝ヒ事ガアルトカ不幸ガアルト或ハ何カ遠イ親戚ガ死シタト云フコトデモ、オ宅ハ御不幸ダサウデト云ツテ二百圓三百圓ノ香奠ヲ持ツテ來レル、或ハ年ノ暮ノモノナドハツイ有難ク

頂戴スル、ソレカラ拔キ差シガ出來ナクナツテ終ヒニハ問題ニナツテ來ルノデスガ、今非常ナ大キナ權限ニ付テ、官廳ノ局長サントカ課長サント云フモノハ、成ベクサウ

云フ危險ナ所ニ觸レナイデ、其ノ人ハ非常ニ清廉ダト云フコトデ通ツテシマフ、又清廉デ居ラレルノデセウ、實際ノ認可許可ノ第一線ノ仕事ハ本當ニ責任ノナイ、輕イヤウナ人ニ判ヲ捺サセテ、其ノ判ガ積ツテ課長ナリ局長ガ捺スノデアリマスカラ、上ノ方ハ判斷ガ樂デスガ、第一線ノ人ハ各官廳トモ一番下ノ人デス、商工省デ私ノ知ツテ居ル人ハ、氣ノ毒ニ法學士デ斯ウ云フ事件ニ掛ツタノデアリマスガ、各方面デサウ云フ一番危險ニ觸レル人ハ俸給ノ低イ人デ、サウ云フ人ガ實際ノ判斷ニ當ル、最後ニハ課長ノ判ガ据ハラナケレバイケナイノデスガ、其ノ判斷ヲスル人ハ下ノ方ノ人デ、其ノ人ノ判ガ据ハツテ居レバ、ソレデ大體責任ガ逃レルコトニナツテ居ル、低イ地位ノ人ニ重大ナ實權ヲ移シテ居ツテ、上ノ方ノ人ガ責任逃ガレノヤウナコトヲヤツテ居ツテハイケナイデヤナイカ、何カ世間ニ流布サレテ居ル所ニ依レバ、一番上ノ方ノ國家ニ關係アルヤウナ大キナ濱職ト云フモノハ、ドウモ中途デ採消サレテシマフト云フコトヲ言フノデアリマス、私ハ左様ナコトハ信ジマセスガ、私共ノ所ヘ來ルト、何カ一番上ノ方ノ人ガ濱職ニナラナイ、斯ウ云フコトヲ時ニ言フノデアリマス、學校ノコトハ問題ニナラヌカモ知レマセスガ、何處カノ入學試験ヲ受ケルトエライ金ガ動ク、サウシテ中途ノ人ガヤラレテ偉イ人ガ採消シナルト云フコトハ、口サガナキ大衆ノ聲デゴザイマス、ケレドモ是ガ可ナリ人心ニ惡イ影響ヲ與ヘル、偉イ

人ガ惡イコトヲシテモ濟ンデシマウ、中途ノ人、下ツ端ノ人ガヤルトエライ目ニ遭フト云フコトヲ申シマス、ソレガ一般ノ無責任ナ大衆ガ言フコトナラ宜シイガ、下ノ方ノ官吏ノ中ニハサウ云フコトヲ起シタ場合ニ、私共バカリ斯ウ云フ酷イ目ニ遭ツタト云フ氣持ヲ、被告人ハ辯護人ニ洩ラス人モアルノデアリマシテ、此ノ點ガ是ダケノ大キナ刑ヲ加重サレタト云フコトニ相成リマシタナラバ、ドウゾ司法省ニ於キマシテハ——司法省ガヤルノデアリマセスガ、裁判關係ニ於キマシテ、ドウゾ上ノ方ノ人ハ何ヤツテモ宜シイ、下ノ官吏ダケガヤラレルヤウナコトノナイヤウニ願ヒタイ、斯様ニ重クナツタ現在ニ於テ、一番大キイ方ガ逃レテ居ルト云フコトハナイト思フノデアリマス、現在

最近ノ情勢ニ於ケル身分關係ニ於テ、相當上ノ人モ舉ガラレテ居ルト思ヒマスガ、具體的ノ事實ハ仰シヤラナクテモ宜シウゴザイマスガ、下ツ端バカリガヤラレテ上ノ人ハ逃レルト云フコトヲ非常ニ言ツテ居リマスノデ、刑ガ重クナルニ付キマシテモ、其ノ點ニ關シテ分リマシタナラバ、課長サントカ何トカト云フモノガ全國ニドノ位居ツタカ、大數ヲ伺ツテ置キタイ思ヒマス

○岩村國務大臣 只今官廳ノ下ノ者ノ濱職ハ相當ニ舉ゲラレテ居ルガ、上ノ所謂大官ト稱シマスカ、上ノ官吏ニ付テノ檢擧ガ如何ニナツテ居ルカト云フヤウナ點ニ付テノ御尋ネデアリマスガ、實ハ私ガ職ヲ奉ジテ居リマスル以上ハ、左様ナ地位ノ上下ニ依ツテ法ノ適用ヲ二、三ニスルト云フヤウナコトハ絶對ニ致シマセス、唯證據ノ問題デゴザイマシテ、私ノ方ニ色々ノコトヲ聞イテハ居リマスケレドモ、單純ナ風説等ニ基イテ搜

查ヲ開始シテハナラヌト云フコトハ、刑事訴訟法ニ御承知ノ通り記載ガアル、併シ色事件ヲ檢舉致シマシタ際ニハ、其ノ檢舉カラ段々進ンデ徹底的ニ掘下ガテ、サウシテ罪質ノ認メラレル限リハ地位ガ如何ナル地位ニアラウトモ、左様ナコトハ決シテ願慮シナイ考ヘデ、現ニ其ノ職務ヲ執ラシテ居ル譯デゴザイマス、其ノ點ハ一ツ御安心ヲ願ヒタイ、唯全國的ニハヤハリ相當勅任ノ地位ニアリマス者ノ犯罪モゴザイマス、濱職ノコトハ資料ガアラウト思ヒマスカラ、是ハ刑事局長ノ方カラ概要ヲ申上ゲマ

○池田政府委員 一寸速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○宮崎委員 宜シウゴザイマス

○作田委員長 田中藤作君

○田中(藤)委員 先ヅ裁判所構成法戰時特例中改正法律案ニ付テ御伺ヒ致シマス、全面的ニ二審制度ヲ御執リニ相成ルニ付テハ、第一審タル事實審裁判所ガ可ナリ重要ニナルト思ヒマス、現在ノ判事ノ陣容ニ於テ必ズシモ不當ダトハ申上ゲマセヌガ、併シナガラ現在ノ裁判所ノ實情カラスレバ、區裁判所ノ判事ノ陣容ニ於テハ、或ハ若キニ失スルノデハナイカト云フ世論ガアル譯デアリマシテ、此ノ點ニ付テ全面的ノ二審制度ノ採用ト云フコトニ相成リマスレバ、勢ヒ判事ノ非常ナ配置替ヲサレナクテハ眞ノ裁判ノ目的ヲ達シ難イト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ御所信ヲ先ヅ御伺ヒ致シマス

○大森政府委員 全ク御示シノ通りデアリマシテ、此ノ案ノヤウニ全面的ニ控訴審ヲ廢止シマスル以上、第一審ニ重キヲ置クコ

トハ是ハ固ヨリ當然デアリマシテ、私共大イニ此ノ點ニ意ヲ用ヒマシテ、全國的ニ判事ノ配置ヲ異動致シタイト存ジテ居リマス、御承知ノヤウニ判事ノ異動ニ付キマシテハ、地位ノ保障ノ關係上、行政官ニ比シマシテ困難デアリマスルケレドモ、併シ大東亞戰爭開始以後判事ノ氣組ガ大變ニ變ツテ來タヤウニ存ズルノデアリマス、デアリマスルカラ戰爭前ノヤウナ困難ハナイノデアリマス、私共相當ニ確信ヲ以テ斷行出來ル積リデ居ルノデアリマス

○田中(藤)委員 次ハ區裁判所ノ事物管轄ニ關スル問題デゴザイマスガ、是ハ先程御質問ガアリマシタカラ私致シマセヌガ、一歩進ンデ地方裁判所ノ權限ヲ寧ロ區裁判所ニ移スベキデハナイカト云フヤウナ意見モアリマス、此ノ點ニ付テノ當局ノ御意見ハドウデセウカ、或ハ斯ウ云フ點ニ付テ御考慮ガアツタカドウカ、「ドイト」ナドニ於テハサウ云フ建前ニナツテ來テ居ルノデハナイカト云フ氣ガ致シマスガドウデスカ

○大森政府委員 地方裁判所廢止ト云フコトモ確カニ一部ニハ議論ガアリマシタ、併シ私共ト致シマシテハ、地方裁判所ハ廢止スベカラズトス様ニ確信ヲシテ居ルノデアリマシテ、御承知ノヤウニ單獨制、合議制、是ガ裁判所構成法ノ重要ナル一ツノ制度ニ相成ツテ居リマスカラ、重要ナ事件ハ合議制ノ地方裁判所ヲ第一審トシ、然ラザルモノハ單獨制ノ區裁判所ヲ第一審トス、此ノ建前ハ今日堅持シテ參リタイト思ツテ居リマス、「ドイト」ノ例モ吾々多少聞イテ居リマスガ、例ヘテ申シマスルト、民事ニ付テ地方裁判所ニ單獨制ト合議制トノ二ツヲ認メテ居ルト云フコトデアリマス、併シ

其ノ實際ノ運用ハ皆ク行ツテ居タイト云フコトヲ「ドイト」ノ法曹自身ガヤハリ書イテ居リマスルガ、是ハ遽カニ學ブベカラザルモノト考ヘテ居リマス、要スルニ地方裁判所、此ノ制度ハ存置シテ參リタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○田中(藤)委員 ソコデ限度ヲ二千圓ニ擴大サレタノデアリマスルガ、此ノ二千圓ノ擴大ヲ以テ致シマスルト、大體判事一人當リ一年ニ七件バカリノ事件ノ増加ニシカ相成ラス譯デアリマス、地方裁判所ノ關係カラ見ルト、或ハ二割位ノ數ニナルノデハナイカト思ヒマスルガ、此ノ程度デハ所謂簡素ノ眞ノ目的ガ達シ得ナイノデハナイカト云フ氣ガ致シマス、此ノ點ハドウデセウカ

○大森政府委員 區裁判所ト地方裁判所ノ事物ノ管轄ノ移動ニ付キマシテハ、全ク御示シノ通り人員ノ移動數ニ於テハ大シタ違ヒハ出テ來ナイヤウデアリマス、大體全國的ニ見マシテ、地方裁判所ノ五分ノ一ノ事件ガ減リマシテ是ガ區裁判所ニ移ル、此ノ程度ニ過ギタイト存ジマス、併シ他方御承知ノ控訴審ノ省略ガアリマスルノデ、是デ若干ノ餘裕ヲ生ズルヤウニ私共計算上心得テ居リマス

○田中(藤)委員 次ニ戰時刑事特別法中改正法律案ニ付テ御伺ヒ致シマス、司法裁判所ハ一般ノ行政ト同様ノ建前デ簡素化スベカラザルモノダト私共ハ考ヘテ居ル譯デアリマス、裁判ハ所謂政ダト私共ハ信ジテ居リマス、而モ一般ノ行政ノ簡素化ト同様ナ建前ニ於テ、漸次簡素化サレツツアルノハドウカト思ヒマス、既ニ第一次ノ整理ニ於キマシテ尙ホ判事ノ中ニハ未整理ノ者ガ相當アルノデハナイカ、或ハ百數十人アルノ

デハナイカト思ヒマス、而モ第二次ノ今回ノ整理ニ依ツテ、尙ホ相當司法官ガ退職ヲ餘儀ナクサレルノデハナイカト私共ハ考ヘル譯デアリマスガ、サウシタ判事ノ第一次第二次ノ整理ニ依ツテ、何ト言ヒマスカ、現在ノ判事ニ何トナク陰鬱ナ空氣ガアリ、司法ノ運用ノ上ニ非常ニ遺憾ノ空氣ガアルノデハナイカト云フ私ハ感ジガ致シマス、斯ウ云フ點ニ付テドウ云フ御考ヘデアラカ、御伺ヒ致シタイトデアリマス

○大森政府委員 御指摘ノヤウニ過般ノ行政簡素化ニ依リマシテ餘剩員ガ出來マシタ、即チ是ハ今日百二、三十名デアラウト思ヒマス、併シ自發的ナ整理ニ依リマシテ先ヅ大體ニ於テ現在七十名殘ル、斯ウ云フ現狀ダト私共考ヘテ居リマス、ソレニ今回ノ此ノ案ニ依リマシテ些少デモ餘剩員出來マスレバ、之ヲ合算シマスト幾ラカ殖エルコト是ハ勿論デアリマス、併シ此ノ餘剩員ノ始末ニ付キマシテハ、是モ最モ簡明ニヤラウト致シマス、御承知ノヤウニ大正二年當時ノ強制休職ノ方法ヲ執ル、是ハ一策デアリマセウケレドモ、斯様ナ方法ヲ執リマスコトハ全國ノ判檢事ニ及ボシマスル影響、是ハ餘程考ヘナケレバナラナイノデアリマシテ、私共ハ斯様ナ行政整理ノ方法ハ絕對ニ執ラザルコトニ確定ヲ致シマシタ、隨ヒマシテ此ノ整理ハ自然減ニ俟ツノ外ハナイ、又之ニ俟ツコトガ適當デアラウト存ズルノデアリマシテ、判檢事ノ意思ニ反シテ退職セシメルト云フ方法ハ絕對ニ執リマセヌ、此ノ事ハ全國ノ判檢事ニモ通達ヲ致シマシタ、隨テ判檢事ガ自己ノ地位ニ付テ不安ヲ感ズルト云フコトハ毛頭モナイト存ジテ居リマス、又現ニ左様ナ不安ノ狀態ハ

起ツテ居ナイヤウデアリマスカラ、此ノ點ハ御安心ヲ願ヒタイト存ジマス

○田中(藤)委員 只今ノ點デアリマスガ、勿論強制退職ト云フコトハ司法官ノ性質上アリ得ナイト思ヒマス、併シナガラ例ヘバ任地ノ變更或ハ進級ナドニ付テ、退職ヲシナケレバナラヌヤウナ餘儀ナキ状態ニ置イテ退職ヲスルト云フコトモアリ得ルト思ヒマス、勿論現在ノ司法當局ニ於テサウシタコトヲナサルトハ私ハ思フテ居リマセヌガ、併シナガラ政府ノ一般ノ方針トシテ第一次整理、第二次整理ヲナスベシト云フ國家ノ要請ガアル以上、何トカシナケレバナラナイト云フ司法官部ニ空氣ガアルノデハナイカト思ヒマス、其ノ空氣ガ懸テ司法官ニ與ヘル影響ガ陰慘ナモノニナリハセヌカト云フコトヲ私共ハ惧レル譯デアリマス、隨テ斯ウシタ整理ノアル場合ニ、司法ハ司法トシテ裁判ノ本質ニ鑑ミテ、一般行政ト歩調ヲ合ハスベキモノデハナイノデハナイカ、ソレヲ何故斷乎トシテ主張サレナイノデアルカ、此ノ點ニ付テハ特ニ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、其ノ御所信ヲ御伺ヒ致シマス

○岩村國務大臣 只今行政部ト司法部ノ違ツテ居ル所ニ付テ、縷、御話ガアリマシテ私モ同感デアリマス、例ヘバ行政官廳デ言ヘバ、奏任ノ課長ガ居ツテ其ノ下ニ屬官ガ配置セラレ、屬官ガ色々起案ヲシテ課長ガ決裁ヲシテ行クト云フヤウナ形デ事務ヲ執ツテ行クトガ出來ル、併シ裁判所ハ是ト違ヒマシテ、地方裁判所ノ如キハドウシテモ三人要ル譯デアリマス、假令事件ガ一件アツテモ三人要ル譯デアリマス、ソレデアリマスルカラ其ノ點ニ於テ裁判制度カラ申

シマシテ、一般ノ行政廳ト裁判所ト云フモノハ執務ノ仕方ガ全然違ツテ居ル、左様ナ譯デ今同色々行政機構ノ整備ヲ致シマシタガ、左様ナ際ニモ司法部ノ特質ト云フモノハ能ク説明ヲシテアル譯デアリマス、尤モ斯ウ云フ點ハ十分考ヘテ置カナケレバナラヌト思ヒマスルノハ、司法部ノ職員ト雖モ相當應召者ガアル譯デアツテ、最近ノ傾向ニ依レバ來年一杯ニハ相當數ノ應召ガアルンデヤナイカ、是ハ衆議院議員ノ方々デモ名譽ノ應召ヲセラレタト同ジ譯デアリマス、先程司法次官ヨリ前回ノ行政簡素化ニ依ツテ司法部ニハ過剩員ガ相當アルト云フ御話ガアリマシタガ、整理サレル數モ相當多ウゴザイマシテ、四百九十九人ゴザイマス、南方ヘモ司政長官、司政官等ニ非常ニ多數參リマシタ、只今ノ所デハ、年度末ニハ七十人位過剩員ガ殘ルンデヤナイカ、過剩員ガ殘ツテモ司法部ノ書記ト判檢事ダケハ、定員外トシテ之ヲ司法部ニ置クコトガ出來ルト云フ特別ノ勅令ガ出テ居ル、是ハ行政政府ト司法部ノ性質ガ違ヒマスカラ、司法部ニ於テハ過剩員ヲ持ツコトガ出來ルコトニナツテ居ル、其ノ過剩員ガ南方ニ行クトカ、滿洲ニ行クトカ、或ハ中華民國ノ大使館等ニ出ルトカ、色々ナコトヲ致シマシテ、結局今ノ所デハ此ノ年度内ニ七十人位殘ルンデヤナイカ、斯ウ思フテ居リマスガ、昨今ノ應召ノ狀況デハ左様ニ殘ルコトハナイト思ヒマス、ソレデ一面ニ於テハ、停年制ヲ撤廢シテ、停年ニ掛ツタ者デモ在職セシムルノ途ヲ開カナケレバイケナイノデヤナイカト云フ説ガアリマス、併シ私共ノ考ヘデハ、色々ノ事情ヲ勘案致シマシテ、來年一杯ハ、今回ノ法案ガ通過致シマシタナラバ、マア

一人デ二人前モ働クト云フ時デアリマスカラ、停年制ハ其ノ儘ニシテ、サウシテ出來ルダケ勉強ヲ致シマシテ、應召ノ數ガ多クテモ大體ハヤツテ行ケル積リデアリマス、斯様ナ譯デ行政廳ト司法部ノ仕事ノ相違ト云フコトハ十分政府ニ於テモ了解シテ居ル譯デゴザイマス、左様ニ御諒承ヲ願ヒマス

○田中(藤)委員 司法人事ノ問題ハ特ニ御留意ヲ望ンデ置キマス

次ニ略式命令ノ範圍ノ擴大ニ依ツテ體刑ヲ課サレルト云フコトニ相成リマス、結果ニ於テ事務ノ簡素化ヲ望ミナガラ、複雑ニナリハセヌカト云フコトヲ私ハ惧レテ居ルノデアリマスガ、只今昨日常戴イタ資料ヲ一寸見マシタ所ニ依ルト、實ハコンナ厚イモノデスカラ、俄カニ讀ムコトハ出來マセヌ、此ノ短期間ニ之ヲ讀ンデ檢討シヨウト云フコトハ恐ラク無理デチナイカト思ヒマスガ、當局ノ豫想デハ、恐ラク略式命令ノ中ノ三分ノ一位ガ正式裁判ノ申立ヲスルンデヤナイカト云フ見當ヲ付ケラレテ居ルト思ヒマス、若シサウダトスレバ、三分ノ一ノ正式裁判ノ申立ガアレバ、事務ハ簡素化致シマセヌ、在來ト同ジコトデアル、或ハ私ノ資料ノ見方ガ誤ツテ居ルカモ分リマセヌガ、此ノ點ニ付テ眞ニ簡素化ナリト云フコトヲ數字ニ付テ先ヅ御説明ヲ伺ヒタイ

想致シマシテ、兎ニ角自由刑デゴイマスモノデ、後來ノヤウニ罰金、科料刑ニ對シマスルモノヨリモ、或ル程度正式裁判ノ申立モ率ガ多イノデヤナカラウカト云フヤウナ一應ノ推定ノ下ニ、實ハ三〇%、斯様ナ見込ヲ立テタノデゴザイマス、併シナガラ今日罰金、科料刑ヲ科セラレテ居ル略式命令ニ對シテ正式裁判ノ申立ヲ爲ス割合ガ六分デゴザイマス、百人ノ被告人ガ略式命令ヲ受ケテ、ソレニ對シテ正式裁判ノ申立ヲスル者ガ六、七人、斯様ナ大體ノ割合ヲ示シテ居リマス、ソコデ今度新タニ自由刑ノ或ル程度ノモノニ付キマシテ略式命令ヲ許スコトニナルノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ案ノ二十九條ノ二ニモゴザイマス通り、事案ノ内容ガ單純デアリ、而モ證據上犯罪ノ性質ガ明確ダト裁判所ニ於テ認メマシタモノニ付テ、略式命令ガゴザイマス譯デアリマス、隨ヒマシテ檢事ニ於キマシテモ左様ナ立場カラ、自由刑ヲ科シマスルモノニ付テ略式命令ノ請求ヲスルト云フコトモ、例ヘバドノ點カラ見マシテモ被告人ニ於テ異議ガナイ、サウ云ツタヤウナ者ニ付キマシテ、略式命令ヲ求メルコトニナルデアリマセウカラ、之ヲ規定ノ上カラ見マスルト、全國ヲ通ジマシテ二万人位ノ者ガ新タニ略式手續ノ範圍ニ入ルト云フコトニナリマスケレドモ、實際ノ運用ニ於キマシテハ、恐ラクハ其ノ半數程度ノモノニナルノデハナイカト思ヒマス、大體サウ云ツタヤウナ見當デアリマス、此ノ調査ニ於キマシテ三割ト云フコトニ致シマシタノハ、一應ノ見當デゴザイマス、尙ホ御參考マデニ申上ゲマスガ、是ハ東京ノ區裁判所ノ公判ニ於キマシテ自由刑ノ言渡ヲ受ケマシタ者ノ裁判ノ確定ノ狀

○池田政府委員 御手許マデ御配付申上ゲマシタ資料ハ、非常ニ倉卒ノ間ニ調整致シマシタ爲ニ、丁數モ打チマセズ、甚ダ整備サレテ居リマセヌ、此ノ點洵ニ恐縮デゴザイマス、此ノ資料ニ於キマシテ、今回新タニ略式手續ノ範圍ニ入ルトニナルデアラウト考ヘラレマスルモノヲ一應統計的ニ豫

況デゴザイマス、是ハ急ギマシタノデ、本年ノ九月中ノ一箇月間ニ於キマスル自由刑ノ言渡、判決ノ確定並ニ上訴ヲ調ベタノデゴザイマスガ、區裁判所ニ於キマシテ判決ノ言渡ガアリマシタ即日被告人ノ上訴權ノ拋棄ニ依リマシテ確定致シマスモノガ四六%デゴザイマス、上訴期間ノ經過ニ依リマシテ裁判ガ確定致シマシタモノガ二三%デゴザイマス、ソシテ上訴致シマシタモノガ二六%、斯様ナ實績ヲ示シテ居ルヤウナ次第デアリマス、勿論是ガ確乎タル參考ノ基準ニナルト云フ譯デハゴザイマセヌケレドモ、恐ラク實際ノ運用ニ於キマシテモ、略式手續ニ依リマシテモ何等異存ハナイ、詰リ裁判ヲ致シマシテモ即日確定スル、斯ウ云フヤウナ事件ニ付キマシテ略式命令ガ請求サレルコトニナルノデハナイカト考ヘマス、是ハ東京ノ例デゴザイマスケレドモ、更ニ又地方ニ參リマスケレバ、或ハ言渡ノ當日即日裁判ガ確定スルト云フ割合ガ相當ニ多イノデハナカラウカ、斯ウ云フ風ニモ考ヘマス、一應大體ノ狀況ニ付キマシテ御説明申上ゲマシタ

ノデハナイカト私共考ヘル譯デアリマス、サウ致シマス、大體三割程度ガ正式裁判ノ申立ガ假ニアルトスレバ、略式命令ト、正式裁判ノ請求ト、判決ト、三ツニナル譯デアリマス、隨テ事務ノ簡素化ヲ御望ミニナリマシテモ、結論ニ於テハ三重ノ手續ヲ要スルコトニナル譯デアリマスカラ、大體トシテ「デアル、之ニ依ツテ事務ノ簡素化ヲ望ムコトハ出來ナイノデハナイカト思フ」ノデアリマス、斯ウ云フ譯デアリマスガ、此ノ點ヲ更ニ私ハ御伺ヒシタイト思ヒマス

○大森政府委員 是ハ全ク見込ノ問題デアリマシテ、確定的ニハ申上ゲラレマセヌケレドモ、假令三〇%トシテモ二〇%トシテモ、ソレダケノ事件ハ審理ガ省カレルノデアリマス、其ノ審理期間ガ省カレルコトニ依ツテ相當手ガ抜ケララウト思フノデアリマシテ、私共ト致シマシテハヤハリ簡素化ノ實現ガ期シ得ラレルモノダト考ヘテ居ル次第デアリマス

○田中(藤)委員 審理期間ガ省カレルト云フコトハ成程御説ノ通りデゴザイマス、併シナガラ是ハ、書面ヲ十分ニ審査檢討セラレルト云フコトト、公判ヲ僅カ一回位御開キニナルコトトハ、實ハ其ノ時間ニ於テハ大差ガナイノデヤナイカト思ヒマス、寧ろ問題ハ、被告人ヲ拘束シツツ公判ノ長キニ互リ、審理ノ長キニ互ルト云フ點ニ、人ノ動員ノ上カラ見テ遺憾ナ點ガアルノデハナイカト思ヒマス、裁判所自身ノ手數カラ見レバ、是ハ五十歩百歩デヤナイカト思フノデアリマス、隨テ私ハ此ノ點ニ付テノ御説明ニハ満足致シマセヌガ、併シ是ハ議論ニナリマスカラ是以上ハ致シマセヌ、ソコデ私進ンデ御伺ヒシタイノデアリマスルガ、略

式命令ノ請求ハ檢事ガ致シマス、而モ檢事ノ出來上ツク聽書ハ、恐ラク明白ナ一點疑ヒノ容レナイ犯罪事實ノミヲ起訴スルノデアリマス、疑ヒノアル事件ハ恐ラク起訴ハ致シマセヌ、斯様ナ現狀デアリマスカラ、檢事ノ認定ニ依レバ、恐ラク總テガ犯罪ノ成立ガ明白ダト云フ事件シカ裁判所ニ移送致シマセヌ、檢事ハ申上ゲルマデモナク檢事局一體デアリマス、續達堪能ノ檢事モアリ、若イ檢事モアリ、各角度カラ檢討シテ初メテ起訴致スノデアリマスカラ、單獨判事ヨリモ檢事局ニ於テハ整ツテ居ルト言ツテ宜イ譯ナノデアリマス、而モ檢事局ガサウシタ檢事局一體ノ建前デ十分檢討シテ、犯罪事實ガ明白ダト云フコトデ起訴シタモノヲ、若イ裁判官ガ、ドウモソレハ誤リダト云フ風ニ一蹴シテ眞ノ裁判ヲスルト云フコトハ中々シナイノデハナイカト、私ハ事實問題トシテ考ヘル譯ナノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付テ、裁判所ハドウ云フ工夫、ドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレルカト云フコトヲ御伺ヒ致シタイ

○大森政府委員 御示シノ通りニ、若シ萬ガ一ニモ區裁判所ノ此ノ略式事件ノ專任ノ係ガ、此ノ條件ニ合致スルヤ否ヤト云フコトニ付テ見誤リガアリマスカラバ、是ハ全ク由々シキ大事デアリマス、デアリマスカラ先程モ申上ゲマシタ通り、私共斯様ナ案ヲ以テ望ミマスル以上、區裁判所ノ人員ノ配置、特ニ略式係ニハ十分ニ意ヲ用ヒマシテ、シツカリシタ人士ヲ以テ之ニ充テル積リデアリマス、今區裁判所ノ判事ノ現狀ヲ簡單ニ申述ベテ見マス、現在全國ニ區裁判所判事ハ五百十六名アルノデアリマス、此ノ五百十六名ニ付テ觀察致シマスルト、

六級ト申シマスルト昇進ノ比較的遅イ司法部デハ在職十年以上デアリマス、此ノ六級俸デ在職十年以上ノ者ガ八六%ヲ占メテ居リマス、又四級ニナリマストハ在職十五年以上ノ者ガ五〇%以上ヲ占メテ居リマス、デアリマスカラ年齢カラ申シマスルト、今日ノ全國ノ區裁判所判事ハ相當ノ域ニ達シテ居ルノデアリマス、此ノ前御審議ヲ願ヒマシタ戰時特別ノ法律ニ於キマシテ、即チ昨年ノ三月下旬カラ實施シテ居リマスルアノ法律ノ施行ニ伴ヒマシテ、區裁判所ノ判事ノ異動ヲ行ヒマシテ、ソレニ依リマシテ平均年齢ガ滿一年カラ滿一年半バカリ殖エマシタ、併シ先程モ申シマスル通り私共ハ決シテ是ガ現狀ヲ以テ満足シテ居ルノデアリマセヌ、決シテ完壁トハ申サナイノデアリマシテ、此ノ傾向ヲ益々濃厚ニシテ行キタイト存ジテ居リマス、即チ區裁判所ノ判事ヲシツカリシタ人士ヲ以テ充實スル、特ニ略式手續ノ係ニ於テ然リ、斯ウ云フ工合ニ進メタイ積リデ居リマスカラ、左様御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

○田中(藤)委員 專任判事ヲ以テ此ノ略式ヲ處理サスト云フコトト、是ハ成程結構ダト思ヒマス、所ガ田舎ノ裁判所ニナリマスト、恐ラク專任判事ガ出來ナイ場所ガアルト思ヒマス、斯ウ云フ場合ニ、其ノ略式裁判ヲヤツタ當該判事ガヤハリ公判ノ裁判長トナルコトニナルノデハナカラウカト思ヒマス、サウスルト結局同ジ判事ガ同ジ判斷ヲスルト云フコトト、何ト言ヒマスカ、豫斷ヲ持ツテ居リマスルノデ、折角ノ申立モ本當ニ申立ノ目的ヲ達シ難イト云フコトニナリハセヌカト思ヒマスガ、此ノ點ニ付テ

ノ方法ハ如何デスカ

○大森政府委員 御懸念御尤モニ存ズルノデアリマス、區裁判所ニ依リマシテハ判事一人ト云フ所モアリマスルカラ、略式命令ヲ出シマシタ判事ガ正式裁判ノ申立ヲ受ケマシテ、正式ニ審理判斷ヲスルト云フコトモ已ムヲ得ナイノデアリマス、併シ之ニ付キマシテハ御承知ノヤウニ刑事訴訟法ノ第五百三十一條ニ、正式裁判ノ請求ヲ適法ト致シマシタ時ニ、通常ノ規定ニ從ヒマシテ審判ヲスルコト、是ハ御承知ノ通りデアリマス、此ノ場合ニ於テハ略式命令ニ拘束セラレコトガナイト云フ規定ガアルコト、是亦御承知ノ通りデアリマス、此ノ規定ノ履行ハ今日確カニ違算ガナイヤウニ存ジテ居リマス、併シ今後斯様ナ案ノヤウニナリマシタナラバ、一層此ノ規定ノ履行ト云フコトニ邁進ヲシタイト存ジテ居リマス

○田中(藤)委員 結局運用ノ問題ニ歸着スルコトニナリマスルガ、司法ノ運用ハ恐ラク過チガアツタ場合ニハ是正ノ途ガナイノガ本當デヤナイカト思ヒマス、ソレガ司法ノ本質ダト思ヒマス、斯ウ云フ點ニ於テ例ヘバ保釋ノ問題ニ致シマシテモ、保釋ヲナゼ許サナイカト云フコトヲ監督判事ニ申シマシテモ、ソレニ付テハ一々指示ハ出來ナイト仰シタルノハ是ハ當然デアアル、斯ウ云フ譯デアリマスルカラ、判事ガ一旦決定シタ以上ハ、ソレハ抗告或ハ上告ナドデ是正スル外方法ハナイ譯デアアル、隨テ行政ノ如クニ監督ハ巧ク行キマセヌ、ソコデ斯ウ云フコトニ付テハ何カ特別ナ對案トハアリマセヌデセウカ、之ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○大森政府委員 御承知ノ通り、司法ノ制度ニ付キマシテ、殊ニ裁判ニ於キマシテ、其

ノ是正ノ利カナイコト、是レ全ク御説ノ通りデアリマス、デアリマスルカラ、是ハドウ

シテモ判事其ノ人ノ自戒ニ俟ツノ外ナイノデアリマスルケレドモ、幸ヒニ今日決戰態勢下ニ於キマシテ、總テノ態度ガシツカリシツツアリマスル其ノ矢先ニ於テ、私共努力ヲ傾注シテ此ノ案ヲ運用ニ遺漏ナキコトヲ期シテ參リタイ、斯様ニ存ジテ居ル次第デアリマス

○田中(藤)委員 モウ一點、正引裁判申立權ノ拋棄ノ問題デアリマス、是ハ先程御質問ガアリマシタカラ多クハ申上ゲマセヌガ、斯ウ云フコトハ在來ノ實際ニ鑑ミテ簡素化ヲ望ム餘リ相當アルノデハナイカト思ヒマス、隨テ此ノ正式裁判申立權拋棄ニ關スル規定ヲ削除スル御意思ガナイカドウカ、サウ云フ修正案ヲ出サレタ場合ニ御贊成ガ願ヘルカドウカト云フコトヲ伺ヒタイト思ヒマス、同時ニ先程申上ゲマシタ保釋ニ關スル問題デアリマスルガ、相當ノ保證人ヲ立テタ場合ニ於テハ、證據湮滅ノ虞ナキ限りハ保釋ヲ許スベシト云フヤウニ改正サレル意思ハナイカ、是ハ人モ此ノ戰時下ニ於テ各ノ職域ニ於テ十分勵カシテヤル爲ニ、所謂總動員ノ形ニ於テ、保釋ノ制度ヲ完全ニ運用シタラドウカト云フ見地カラ御伺ヒスル譯デアリマス、此ノ二點ニ付テ御所信ヲ承リタイト思ヒマス

○岩村國務大臣 只今御尋ネノ第一點ニ付キマシテハ、原案ヲ修正スルト云フ考ヘハ保持ツテ居リマセヌ、是カラマダ色々御質問モアラウカト思ヒマスガ、拋棄ノ問題ハ全ク裁判所ニ對スル問題デ、檢事ガ之ニ關與スルト云フコトハ、一切サウ云フ擬ヒノナイヤウニ十分ニ戒メル考ヘデ居リマス、左様ナ考ヘテ持ツテ居リマスノデ、遺憾ナガラ其ノ修正ニハ御贊成ガ出來ナイノデアリ

マス

ラ其ノ修正ニハ御贊成ガ出來ナイノデアリ

マス

第二ノ問題ハ、是ハ運用ノ問題モアリマスガ、或ハ、法律的ニ何カ特殊ノ色々ナ條件ヲ付ケテ保釋ト云フモノヲ成ベク許スコトガ出來ルヤウニシタラドウカト云フヤウナコトニ付テハ、是ハ刑事訴訟法ノ問題デアリマス、只今司法省內ニ刑事法典ノ改正準備委員會ト云フモノガゴザイマシテ、此ノ刑事手續ニ付テ第一ニ研究シヨウト云フコトニナツテ居リマス、無論、サウ云フ所ノ問題ニモナルト思ヒマスカラ、是ハ研究シテ見タイト思フノデアリマス

○田中(藤)委員 尙ホ納得出來ナイ所モアリマスガ、一應是デ打切りマス

○作田委員 庄司一郎君

○庄司委員 簡單ニ一、二點御伺ヒシタイト思ヒマス、戰時刑事特別法中改正法律案ニ付キマシテ、第二十九條ノ略式關係ノコトデアリマスガ、終リノ方ニ「前二項ノ場合ニ於テ刑ヲ執行猶豫ハ刑ノ言渡ト同時ニ略式命令ヲ以テ其ノ言渡ヲ爲スベシ」斯ウ云フコトニ相成ツテ居リマスルガ、若シ夫レ本條ニ依ツテ略式命令ノ言渡ノ場合、從來ノ區裁判所ニ於テ公判デ以テ處理シタ場合ニ於ケル刑ノ執行猶豫ノ恩典ヲ與ヘマシタ其ノ度數ヨリモ、此ノ略式デ將來審理致シマシタ場合ニ於テハ刑ヲ執行猶豫ノ恩典ト云フモノガ著シク激減スルノデハアルマ

イカト云フコトヲ、私ハ素人デゴザイマスガ憂慮シテ居ル者デゴザイマス、ソレトモ被告ガ身柄ヲ拘束ヲ解放サレテ、自由ニ公判廷ニ於テ判事ノ審問ニ對シテ答辯ヲシテ居ル、又辯護士諸公ガ參與サレマシテ、ソレトモ、熱誠ニ條理兼備ハツタ所ノ辯護

ヲシテ下サルト云フヤウナ結果、相當此ノ刑ノ執行猶豫ノ恩典ト云フモノガ其ノ數ニ於テ多カツタノデハナカラウカ、斯ウ考ヘテ居リマス、然ルニ略式ト云フコトニナリマス、書面審理ト云フノデアリマスカラ、書面ノ上ニ於テノミ審理サル所ノ、極端ニ云ハバ「ペーパープラン」デアアル、判事ガ直接被告人ヲ親シク訊問スル、或ハ被告人ノ利益ノ供述ヲ親シク聽クト云フヤウナ機會ガ殆ンド少イノデハナイカ、或ハ辯護人ガ被告人ノ言ヒ能ハナイ所ヲ言ツテ呉レルト云フヤウナ機會ガ失ハレテ居ルノデアリマスルガ、是ハヤツテ見ナケレバ分ラヌコトデアリマスガ、從來ノ執行猶豫ノ恩典ト云フヤウナ有難イ恩典ヲ賜ハル所ノ度合ガ、此ノ後ハ相當激減スルンデヤナイカト云フコトヲ憂慮シテ居ルノデアリマス、

是ハ私ダケノ一片ノ不安デアアルナラベ結構デゴザイマスケレドモ、實際サウ云フ點ニ付テハドウ云フヤウナ御考ヘデゴザイマセウカ、實ハ私モ長イ間司法記者トシテ裁判所ニ出入シテ居リマシタ者デアリマシテ、公判ノ光景ハ長イ間見テ居リマシタ、檢事ハ被告人ノ罪ヲ論告スル場合等ニ於テ、百件ノ内一件位ハ執行猶豫ヲ與フルコトノ妥當論ヲ唱ヘラレルコトヲ拜聽シテ居リマスルガ、多クノ場合ニ於テ執行猶豫ヲ與ヘテ宜シイト云フヤウナ論告ハ餘リ聞イタコトガゴザイマセヌ、左様ナ私ノ見學上ノ體驗カラ、是ハ無論區裁判所ハナイデアリマセウケレドモ、ドウモ薩ノ方デヤル裁判デアリマシテ、公正妥當ナル御裁判ハ當然デアリマスルケレドモ、從來ノヤウナ折角恩典トシテ被告人ガ更生ノ道ニ勵ンデ行ク、前途ノ希望ト光明ヲ與ヘル所ノ刑ノ執行猶

豫ノ恩典ト云フ其ノ度數ガ激減スル虞ガアルノデハナカラウカト云フコトヲ憂慮シテ居ル一人デゴザイマスガ、其ノ點ハ如何デゴザイマスカ

○大森政府委員 御答へハ二ツノ點ニ分ケテ申述ベルコトガ便宜カト思ヒマス、先ヅ第一ニ此ノ御指摘ノ案ニ依リマシテ、略式命令ニ於テ刑ヲ執行猶豫スル途ヲ開イタノデアリマスガ、是ハ私ハ相當ノ數ニ上リハシナイカト思ツテ居リマス、即チ事案ノ内容甚ダ輕微デアリ、犯罪ノ成立明白デア

ル、而モ憫情スベキ餘地ガ書類上多分ニ現ハレテ居ル、即チ區裁判所ニ於テ直チニ執行猶豫ヲ言渡シテモ宜イト云フヤウナ事件ハ、是コソ體刑ヲ略式デ科スル最モ典型的ナ事件デハナイカト思フノデアリマス、デアリマスカラ、此ノ規定ヲ以テ今後大ニ活用シテ參リタイ積リデアリマス

第二ノ點ト致シマシテ、此ノ途ヲ開キマシタガ爲ニ、公判ニ於ケル執行猶豫ガ減ルト云フコトハ、決シテナイト思ツテ居リマス、兩々相俟ツテ執行猶豫ノ妙用ヲ發揚シタイ、斯様ニ存ジテ居リマスルカラ、其ノ御懸念ハ全ク御無用ノヤウニ私共ハ考ヘテ居リマス

○庄司委員 御懸念御無用ト云フヤウナ御言葉デ、洵ニ結構デゴザイマスガ、願ハクハ御言明ノヤウナ御趣旨ニ依ツテ將來運營サレンコトヲ強ク望ムノデゴザイマス
次ニハ極ク簡單ニ關聯事項トシテ御伺ヒ申上ゲルコトノ御許シヲ、特ニ委員長ヨリ戴キタイノデアリマス、ソレハ刑務所ヨリ釋放セラレル所ノ今マデノ受刑者、是ガ明日カラ産業戦士トシテ各方面ニ働ク、サウ云フヤウナ決心ヲ以テ釋放サレテ參リマス、

保護會其ノ他色々ノ制度ハ出來テ居リマスガ、娑婆ニ出テ參リマシテモ働クニ勞働着ガナイ、地下足袋ガナイ、サウ云フ關係上、働カウトシテ働キ得ナイ釋放者ガ可ナリ多イノデゴザイマス、衣料切符等ハ町村長ガ發行シテ居リマスルガ、物ノ少イ此ノ頃デゴザイマスカラ、直グ勞働着ヤ地下足袋ヲ購買スルト云フヤウナコトハ出來得ナイ實情ニアルノデアリマス、ソコデ各刑務所内等ニゴザイマス一時保護ノ爲ノ保護會或ハ政府部内ニ於テソレレ、御相談ノ上明日ヨ

リ直グ鑛山或ハ造船其ノ他ニ働ク所ノ釋放者ノ爲ニ、サウ云フ衣料關係ノ御心配ヲ御願ヒ申上ゲルコトハ出來ナイモノデアラウカト云フヤウナコトヲ、田舎ニ居ツテ司法保護會ノ仕事ヲヤツテ居ル自分ノ體驗ノ上ヨリ、斯ウ云フコトヲ強ク御要望申上ゲタイト思フノデゴザイマス
ソレカラ今一點デゴザイマスガ、昭和十四年ノ司法保護事業法ノ御制定以來、全國數万ノ司法保護委員或ハ區裁判所單位ノ司法保護會等其ノ他司法保護事業ニ働イテ居ル職員ト云フノハ、御承知ノ通り全部無報酬デ働イテ居ルノデアリマス、而シテ釋放者ノ改過遷善ノ方面ニ指導誘掖シテ居ルト云フ其ノ仕事ハ、洵ニ尊イモノデアルト思フノデゴザイマス、然ルニ其ノ司法保護委員其ノ他ニ對スル國家ノ精神的ナ優遇ノ途ト云フモノハ何等開ケテ居ラナイノデアリマス、是等ニ對シテ司法御當局ハ如何ナル御対策ヲ御持チニナツテ居リマスカ、願ハクハ相當ノ精神的ノ待遇改善法ヲ講ジテ戴キタイト思フノデアリマス、私ノ申上ゲルノハ物質的、經濟的ノ報酬デアルトカ、或ハ年末ノ「ボーナス」デアルトカ、サウ云フ

モノヲ考ヘテ居ルノデハゴザイマセス、何等カ國家ノ精神的ナ優遇ヲ、刑餘者ノ改過遷善ノ爲ニ働イテ居ル諸君ニ左様ナ途ヲ開イテ戴クコトヲ、御當局ニ御要望申上ゲル所以デゴザイマスガ、御對策ノ御意見等ガゴザイマシタラバ、此ノ席ニ於テ御伺ヒ申上ゲタイト思フノデゴザイマス、私ノ質問ハ是デ終リマス

○岩村國務大臣 今御尋ネノ點ハ一點デアリマスガ、第一點ノ司法保護委員等ノ方ガ司法保護事業ノ爲ニ非常ニ御盡力ヲ願ツテ居ル、斯様ナ方々ニ對シテ何カ國家的ニ待遇ノ途ヲ考ヘテ居ルカト云フコトデゴザイマス、此ノコトニ付テハ相當ニ研究ヲ致シ、又考ヘテ居ル積リデアリマス、要スルニ精神的ナ優遇ノ方面、此ノコトニ付テハツイ最近ニナリマシテモ、色々政府部内デ考究ヲ致シテ居リマス、獨リ社會事業的ノ仕事ヲシテ居ルノハ司法部内ダケデハナイノデアリマシテ、他ノ各省ニモ色々之ニ類似ノ事業ガ澤山ゴザイマスノデ、全般的ニソレヲ研究スルコトニ相成ツテ居リマス、御満足トハ行カナイカモ知レマセヌガ、近ク相當ノ優遇ノ途ヲ講ジ得ルコトト考ヘテ居リマス

等ガナクテ困ルト云フ御話ガゴザイマシタ、サウ云フコトモ私聞イテ居リマス、此ノコトハ産業戦士等ニハ十分ナ配給ヲシタラドウカト云フヤウナ一般ノ問題モ無論アル殊ニ受刑者ガ釋放セラレマシテ、直チニ産業ニ從事スルト云フヤウナ場合ニハ、特別ニ地下足袋デアルトカ其ノ他ノ作業服デアルトカ、色々必要ナモノガアラウト思ヒマス、此ノコトニ付テハ如何ニシテ宜イカト私共モ非常ニ考ヘテ居ルノデアリマス、最近ニ於キマシテ非常ニサウ云フ方面ニ都合ガ好クナリマシタノハ、今日受刑者ノ大部分ハ刑務所内ニ於テモ殆ド軍需産業ニ從事シテ居リマス、又刑務所外ニ於キマシテモ軍需ノ作業ニ從事シテ居リマス、中ニハ相當大キナ會社デ、四、五百人カラ二千人ニ互ル多數ノ受刑者ガ軍需ノ仕事ニ從事シテ居ル譯デアリマス、全部トハ行カナイト思ヒマスガ、大部分所謂戰時意識ニ燃エテ居リマシテ、非常ニ勉強ヲシテ居ルト云フ實情デアリマス、ソレデアリマスカラ、軍需會社等ニ於キマシテモ、釋放シタ後ニ於テモ熱練シタ者ナドハ是非使ヒタイト云フ希望ガ随分アリマシテ、最近ニ至リマシテハ釋放者保護團體的ノ、即チ寄宿舎制度的ノモノヲ工場ニ設ケタイト云フコトデ數箇所ニ設ケラレマシタ、サウ云フ所ハ軍需會社デアリマスカラ、一般ノ職工ニ對シテ地下足袋デアルトカ作業服デアルトカト云フモノヲ供給シ得ル如ク、サウ云フ附設ノ保護團體ノ釋放者ニ對シテモ、相當ニサウ云フモノノ配給ガ出來ルヤウニナツテ參リマシタ、是ハ私ハ非常ニ宜イコトダト思ヒマシテ、出來ルダケ軍需會社等ニ於テ働イテ居ル受刑者ガ、釋放後ソコノ會社ニ留マツテ

尚ホ序デニ申上ゲマスノハ、囑託ノ保護司ノ方々、之ニハ御承知ノ通り委任待遇ノ途ガ開カレテ居リマシテ、特殊ノ方々ニ付テハ法制上恩惠ニ浴スル途ガアルノデアリマス、マダ其ノ點ガ十分ニ行渡ツテ居ナイト云フコトハ私共承知シテ居リマスガ、將來尙ホ一層サウ云フ方面ノ研究ヲシテ見タイト思ツテ居リマス
ソレカラ次ニ釋放者ガ生産部面ノ戦士トシテ、釋放後大ニ活動スル際ニ、地下足袋

等ガナクテ困ルト云フ御話ガゴザイマシタ、サウ云フコトモ私聞イテ居リマス、此ノコトハ産業戦士等ニハ十分ナ配給ヲシタラドウカト云フヤウナ一般ノ問題モ無論アル殊ニ受刑者ガ釋放セラレマシテ、直チニ産業ニ從事スルト云フヤウナ場合ニハ、特別ニ地下足袋デアルトカ其ノ他ノ作業服デアルトカ、色々必要ナモノガアラウト思ヒマス、此ノコトニ付テハ如何ニシテ宜イカト私共モ非常ニ考ヘテ居ルノデアリマス、最近ニ於キマシテ非常ニサウ云フ方面ニ都合ガ好クナリマシタノハ、今日受刑者ノ大部分ハ刑務所内ニ於テモ殆ド軍需産業ニ從事シテ居リマス、又刑務所外ニ於キマシテモ軍需ノ作業ニ從事シテ居リマス、中ニハ相當大キナ會社デ、四、五百人カラ二千人ニ互ル多數ノ受刑者ガ軍需ノ仕事ニ從事シテ居ル譯デアリマス、全部トハ行カナイト思ヒマスガ、大部分所謂戰時意識ニ燃エテ居リマシテ、非常ニ勉強ヲシテ居ルト云フ實情デアリマス、ソレデアリマスカラ、軍需會社等ニ於キマシテモ、釋放シタ後ニ於テモ熱練シタ者ナドハ是非使ヒタイト云フ希望ガ随分アリマシテ、最近ニ至リマシテハ釋放者保護團體的ノ、即チ寄宿舎制度的ノモノヲ工場ニ設ケタイト云フコトデ數箇所ニ設ケラレマシタ、サウ云フ所ハ軍需會社デアリマスカラ、一般ノ職工ニ對シテ地下足袋デアルトカ作業服デアルトカト云フモノヲ供給シ得ル如ク、サウ云フ附設ノ保護團體ノ釋放者ニ對シテモ、相當ニサウ云フモノノ配給ガ出來ルヤウニナツテ參リマシタ、是ハ私ハ非常ニ宜イコトダト思ヒマシテ、出來ルダケ軍需會社等ニ於テ働イテ居ル受刑者ガ、釋放後ソコノ會社ニ留マツテ

仕事ヲシタイト云フコトデアリ、會社ニ於テモ十分働カシテ宜イト云フモノニ付テハ、出來ルガクサウ云フヤウナ寄宿舎制度デモ作ツテ、尙ホ刑務所ニ於テ鍛へ上ガタル精神ヲ持續スルヤウニ、行刑ノ效果ヲ存續スルヤウニ、是非助力ヲシテ貫ヒタイト云フコトヲ相談致シマシタ所ガ、非常ニ多數ノ軍需會社ノ贊成ヲ得マシテ、續々サウ云フ寄宿舎ノ如キモノヲ設ケテ、サウシテ兼ネテ保護事業ヲ營ミタイト云フコトニナツテ參リマシタカラ、恐ラクサウ云フ作業上ノ衣服デアルトカ地下足袋ト云フヤウナモノヲ手ニ入レルコトハ非常ニ容易デアラウト思ヒマス、之ヲドノ程度マデ組織化スルカ、是ハ少シ時期ヲ要スルト思ヒマス、左様ナ次第デサウ云フ方面ニモ行刑當局、保護當局ニ於テ十分注意致シテ居リマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○信正委員 司法關係ニ付テ簡單ニ御尋ネ致シマス、本法案ヲ御提出ニナリマシタ理念ト申シマスカ、根本思想ニ付テ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、此ノ時局下ニ於テ司法手續ノ簡素化ト云フヤウナコトハ、是ハ何人モ異論ノナイ所デアリマス、所ガ此ノ改正法律案ガ出マシタコトニ對シテ色々ト憂慮スル向キガアルノデアリマス、其ノ第一ハ、近頃法制ノ上ニ於キマシテモ國家理念ト云フモノガ全面的ニ高調セラレテ參リマシタ、從來ノ個人ノ利益ト云フヤウナコトヨリモ國家ノ利益、或ハ國家ノ防衛ト云フコトガ最大ノ目的ヲナス、斯ウ云フ意味ニ於テ總テノモノガ整備セラレテ行ク、是ハ洵ニ當然ナコトダト思フノデアリマス、ソコデ從來ハ個人ニ依ル國家ノ擅恣的行爲ヲ抑止セシメルト云フヤウナ建前ノ法治主義カラ轉

ジテ、今度ハ國家ニ依ル個人ノ擅恣的行爲ヲ抑止スルト云フ法治主義ニ變化ヲ來シツツアル、斯ウ云フ譯デス、ソコマデハ宜シイノデアリマスガ、此ノ考ヘ方ガ更ニ嵩ジテ、國民ニハ何モ言ハセナイヤウナ姿ニ置カレルノデハナイカ、手ツ取り早ク言ヒマスレバ、有無ヲ言ハセナイ、斯ウ云フヤウナコトニナルノデハナイカ、左様ナ一部ノ正解カ、誤解カ知リマセヌガ、サウ云フ考ヘヲ持ツ者ガアリマス、ソコデ今此ノ改正法律案ヲ見テミマス、或ハ二審制ト致シマシテ控訴審ニ於ケル個人ノ主張ヲ爲ス機會ト云フモノヲ奪ツテシマツタ、或ハ略式命令ト云フモノノ範圍ヲ擴大致シマシテ、被告人ヲシテ十分ニ主張ヲナス機會ヲ制限スルト云フヤウナ結果ヲ見ルニ至ツテ居リマス、或ハ又辯護人ノ數ヲ制限シテ辯護權或ハ個人ノ擁護ト云フヤウナ途ヲ制限スルト云フヤウニナツテ居ル、斯ウ云フヤウニ見レバ見ラレル譯デアリマス、ソコデ是等ノ事柄ヲ見テ——或ハ是ハ誤解デアアルカモ知レマセヌ、誤解デアレバ大變宜イト思ヒマスガ、斯様ナ從來カラ行ハレテ居ル事柄ガ皆個人ノ勝手氣儘デアルト云フヤウナ考ヘ方デ之ヲ制限シ、或ハ制限スルノデナクトモ、少クトモ重視スル必要ガナイト云フヤウナ考ヘカラ出タモノデハナカラウカ、斯ウ云フ憂ヲ抱ク者ガアリマスト、是等ノコトニ對スル御所見ヲ承リタイト存ジマス

○岩村國務大臣 今回ノ改正案ヲ提案スルニ至ツタ根本的ノ考ヘ方ニ付テ、色々御尋ネガゴザイマシタガ、私共今回此ノ案ヲ提出致シマシタ考ヘ方ヲ率直ニ申シマスト、戰爭ガ所謂決戰段階ニ入り非常ニ重大ナル時局ニ進ム、色々ナ方面ヲ考ヘレバ、或ハ

空襲ト云フヤウナコトモ考ヘテ置カナケレバナラス、サウスレバ全國ノ通信機關トカ交通機關ト云フヤウナモノハ非常ニ變化ヲ生ズル場合モアルノデハナイカ、斯ウ云フコトヲ前カラ考ヘテ居ルノデアリマス、左様ナ場合ニ立至ツテモ司法裁判ト云フモノハ如何ナル形カニ於テ完全ニ行ハレルヤウニシテ置キタイ、是ガ私共ノ考ヘデアリマス、一面ニ於テドウシテモ戰爭ニ勝タナケレバナラス、其ノ爲ニ戰時ニ關スル特別ノ立法ガ、獨リ司法關係バカリデナク、全般のニ色色ナ法律ガ出來テ居ル譯デアリマス、其ノ法律ハ、如何ニ戰局ガ進ンデ參リマシテモ、如何ナル事態ガアツテモ、私共司法ニ職ヲ奉ジテ居ル者ハ何時デモ裁判ハ此ノ程度デアラウノガト云フコトニシテ置キタイト思ヒマス、之ヲ實際ノ例デ申シマスト、御指摘ノ三審制度ヲ二審制度ニシタト云フ點デアリマス、サウシテ上告審ハ控訴院ニト云フ原則ニ致シマシタ、是ハ國防保安法モ治安維持法モ、今回ハ區裁判所カラ始ツタ事件ハ上告ハ控訴院デ取扱フコトニシタ譯デアリマス、デアリマスカラ、今日、例ヘバ樺太ノ區裁判所ノ事件デモ上告スレバ東京マデ少クトモ上告ノ手續ヲシナケレバナラス、是ガ色々ナ場合ヲ想像致シマシテ、一朝ニシテ通信等ガ止ルト云フコトガゴザイマスト、第一上告ノ書類ト云フモノガ東京ニ來ルノガ非常ニ遲延スルト云フコトガ起ツテ來ル、又北海道ガケデ申シマシテモ、二審制ニシテ民事刑事事トモ區裁判所ノ事物管轄ヲ擴大スル、例ヘバ從來ハ札幌地方裁判所ハ一審デアリマシタガ、サウ云フ場合ニハ一審事件ハ札幌マデ地方ノ者ガ出テ來ナケレバナラス、札幌地方裁判所ノ管内ノ區裁判所

ノ所在地ノ者デモ地方裁判所マデ出テ裁判ヲ受ケナケレバナラスト云フ關係ニナツテ居ル、併シ是ガ區裁判所ノ權限ガ擴張サレマスト、數箇所ノ區裁判所ノ事件ガ處理サレバ、サウ云フコトニナルト、一朝色々ナ事變ノ場合ヲ考ヘマシテモ、大體裁判所ニ民事、刑事ヲ通ジテ相當ノ事物管轄ヲ今日ヨリ廣クシテ置ケバ、一ツノ控訴院管内ニ於テモ、萬ノ場合ハ裁判ガソレデ出來ルデヤナイカ、交通機關ガ不便デアツテモ、裁判其ノモノハ出來ル形ガ整フデハナイカ、要スルニ戰爭ニ勝ツ爲ニハ、獨リ行政方面ノミナラス、司法ノ方面ニ於テモ色々考ヘナケレバナラス、然ラバドウ考ヘルカト云ヘバ、如何ナル事態ニ遭遇シテモ裁判ガ出來ルヤウニシテ置カナケレバナラス、斯ウ云フコトガ私共ノ考ヘ方デアリマス、是ハ貴族院ノ委員會デモ質問ガアリマシタガ、戰爭ガ濟ンダラドウナルノダ、戰爭ガ濟ンダラソレハ元ヘ戻ル、是ハ法律ニ明カニ規定ガアル、原則ノ三審制度ニ戻ル譯デアリマス、出來ルガケ民事、刑事ニ互ツテ總テ保護ヲ厚クシテ置クコトハ非常ニ大切ナコトト思ヒマスガ、保護ヲ厚クセントスレバ戰時狀態ニ於テハ裁判ガ出來ヌト云フコトニナルノデハ尙ホイケナイ、茲ニ戰時中ダケ特別ナ手續ヲ規定致シマシテ、如何ナル事態ガ起ツテモ裁判其ノモノハ出來ル、斯ウ云フコトガ私共ノ考ヘ方デアリマス、例ヘバ先程御話ノヤウナ裁判所ノ色々ナ手續、略式ノ手續ノ如キモ、サウ云ツタ考ヘ方カラ、色々細カク言ヘバ御議論ハアラウト思ヒマスケレドモ、戰時中ハ最小限度デモ裁判ガ出來ルノダ、斯ウ云フコトニシテ置キタイノデアリマス

尙ホ序デニ申上ゲタイト思フノデスガ、大體是ダケアレバ相當ノ事態ニ立至ツテモ司法權ハ行ヘルト私ハ思ヒマス、ケレドモ是ダケデマダ足ラヌ場合ガ少シアル、ソレハ極ク單簡ナ場合デアリマスガ、土地ノ管轄ヲ如何ニスベキカト云フコトダケハ實ハ今度法律改正ニハ入レテナイ、例ヘバ或ル一ツノ地方裁判所ノ職務ガ止ツタト云フヤウナ場合、地域ヲ異ニシテ地方裁判所ニ刑事事件デアレバ起訴ガ出來ルヤウニシタイ、サウ云フヤウナ特殊ノ場合ガ二三アリマスガ、是ハ非常緊急ノ場合ニ處置シタラ宜イト考ヘテ居リマス、今回提案致シテ居リマスル改正法律ヲ御認メ下サイマシタナラバ大體ノコトハ出來ル、斯ウ云フ考ヘデ提案ヲシタ譯デアリマスカラ、御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○信正委員 二審制ノ問題ニ付テデゴザイマスガ、是ハ何ト申シテモ、今日マデ控訴審ハ無駄ナコト、蛇足ヲヤツテ居ツタノデハナク、ヤハリ必要ナ制度ダト思フ、又國民ノ方カラ見マシテモ、裁判ガ假ニ第一審デ間違フヤウナコトガアツテ見タ所デ、控訴審或ハ上告審、サウ云フヤウナ所ニ於テ「セーヴ」スルコトガ出來ルノダ、此ノ心持「デ司法ノ人ニ對シテ滿腔ノ信頼ヲシテ居リマス、又現實ヲ見テモ、事實上控訴審ニ於テ相當救ハレテ居ル、尤モ控訴審ノ考ヘ方ガ必ズシモ良イノデアツテ、區裁判所ガ總テ惡イト云フノデアリマセヌガ、大體ノ數字カラ見レバ相當控訴審ノ方ガ良イコトハ無論デアリマス、所ガ今是ガ廢止ニナツタニ付テノ國民ノ不安ハ、結論スル所、第一審ノ裁判所ハ、大臣、次官ノ御言葉ノ通り各裁判所トモ達識有能ノ經驗者ガ居ルト

云フコトニ依ツテ、其ノ區裁判所或ハ地方裁判所、第一審其ノモノニ對シテ本當ニ信頼ヲ置キ得ル状態ニナツテ居ナイ限リニ於テハ何トシテモ國民ノ不安ハ除カレナイ、中々難カシイ問題ダト思フノミナラス、一方カラ考ヘルト、民事事件ハ財産關係ガ多イカラ是ハ宜イガ、刑事問題ニナツテ來テ、苟クモ無辜ノ民ガ罰セラレ、苟クモ冤罪ニ泣カネバナラス、或ハ過當ナ刑ニ、我慢シテ服サナケレバナラスノダト云フコトニナルト、國家トシテ是程ノ不祥事ハナイ、又此ノ事ニ思ヒラ致シマスレバ、國民ノ不安ヲ懷クノモ無理ハナイ、一方ニ於テハ裁判ノ簡素化ヲ圖ラナケレバナラス、是ハ私ニモ能ク分ルシ、何トカシナケレバナラヌト思フ、同時ニ一方ニ於テ控訴審ヲ廢止スルコトニ依ツテ非常ナ國內不安ヲ惹起スル、此ノ不安ヲドウ云フヤウニシテナクシタモノデアラウカ、此ノ點ニ付テ惱マサレルノデアリマス、適材ヲ適所ニ配置スルコトモ結構デアル、ソレダケデ果シテ十分國民ガ納得シテ呉レルカドウカ、假ニ客觀的ニ不安ガナイモノトシテモ、國民ガ不安ヲ感ズルコトニナルト、ソレ自體ガ非常ニ不利ヲ致スノデアリマス、是等ノ點ニ付テ、適材ヲ適所ニ配シテ下サルノモ結構デアルガ、何トカモウ少シ外ニ考ヘガナイモノデアラウカト實ハ伺ヒタイノデアリマス、尙ホ御參考マデニ申上ゲタイガ、今改正案ヲ見ルト、裁判所ノ事物管轄ヲ非常ニ増大シテ居ル、殊ニ刑事事件ノ如キニ至ツテハ、殆ド區裁判所ガ管轄權ヲ持ツテ居ルコトニナツテ居ル、所デ今日區裁判所ノ實情ヲ見マスト、御承知ノ通り決シテ閑デハゴザイマセヌ、實ニ忙シイ、場合ニ依ルトタツ

タ一人ノ判事デ調停カラ民事、刑事ノ公判カラ、其ノ他凡ソ總テノコトヲ毎日ヤツテ居ラレ、實際氣ノ毒デアリマス、或ハ閑ナ裁判所モアルカモ知レマセヌガ、私ノ知ツテ居ル範圍ニ於テハ、實際區裁判所ノ状態ハ今日仕事ガ多過ギルヤウニナツテ居ル、其ノ上ニ更ニ事物管轄ガ殖エテ居ル、是ハ大變ナモノデス、其ノ結果ハ裁判事務ガ疎カニナルヨリ外ニ行キドコロハナイ、勿論豫備人員ガアルトモ承リマスシ、又地方裁判所ノ判事ノ方デ減員サレテ區裁判所ノ方ヘ御廻リニナル人ガアルカモ知レマセヌガ、此ノ事物管轄ノ増大ノ比ト人員増加ノソレトヲ比ベマシテ、果シテ償ヒガ付クカドウカ、是ハ事實問題トシテ案ズル一ツデアリマス、斯ウ云フ風ナコトニナツテ、一審ノ裁判所ヲ大事ニシナケレバナラス、控訴審ガナクナレバ重要視シナケレバナラナイ一審ノ裁判所ガ仕事ガ盛り澤山デハ中々慎重審査ト云フヤウナコトハシニクイヤウナコトガ非常ニ起キテ來ル、或ハ斯ウ云フコトデアルナラバ、一寸難カシイ話デアリマセウケレドモ、裁判所ト云フモノハ今マデ單獨判事デ仕事ヲシテ居ラレルガ、之ヲ何トカシテ此ノ際二人以上ノ判事ニシテ貰フ、サウ云フ風ナコトニデモスレバ、結果ニ於テ同ジ所ニ到達スルトシテモ、見ル人トシテハ一人二眼ヲ以テスルヨリハヤハリ二人四眼ヲ以テシテ呉レタ方ガ得心ガ出來ル、サウ云フ風ナコトモ考ヘラレル、重複ヲ避ケル意味ニ於キマシテバラ／＼ナコトヲ申上ゲテ連絡ガ取レマセヌケレドモ、以上申上ゲマシタコトニ付キマシテ御意見ヲ拜聽致シタイト存ジマス

○岩村國務大臣 只今區裁判所ノ事務ノ繁劇デアルト云フコトニ付テ色々御同情ノアル御言葉ヲ賜ハリマシテ感謝致シマス、大體御尋ネノ點ハ二點ニナルト思ヒマス、二審制度ト云フコトニナルト國民ガ非常ニ不安ヲ抱クノデハナイカ、是ハ三度調べるノガ二度ニナル、簡單ニナルノダカラ不安ダ、一應ハサウ云フ御懸念ノアルノモ無理ハナイ、ケレドモ今日ノ裁判ニ關スル制度ヲ見マスト、現在ノ我が國ノ裁判制度ハ一審事件ト云フモノガアル譯デアル、例ヘバ内亂罪ノ如キハ大審院デ一審終審、一審事件デアル、ソレカラ治安維持法、國防保安法ハ二審事件デアリ、其ノ他ニモ若干二審制度ガ出來タガ、一般的ノ原則トシテハ三審制度ニナツテ居ル、現在ニ於テ一審制度、二審制度、三審制度ト云フ三ツノ制度ガアル、一審制度ノ例モ大審院デ一審終審ノ事件モ今マデアツタ譯デアル、結論ハ裁判ニ當ル者ガ責任ヲ以テ親切ニ悅服サセルヤウニ裁判ヲスルト云フコトガ私ハ必要ヂヤナイカト思フ、三審ニシテモ——サウ云フコトハ全然ナイノデアリマスルケレドモ、假ニ一審デ取調ヲ粗漏ニスル、即チモウ一遍調ベテ貰ヘルカラト云フ考ヘガアツテ一審ノ取扱ヲシタラ、是ハ三審ニシテモ四審ニシテモ五審ニシテモイケナイト思フ、例ヘバ行政裁判所ノ如キモ一審デアリマス、要ハ三審制度、二審制度ト云フ點、所謂制度トシテノ擔保ハ無論アリマスルケレドモ、事實ヲ調べる者、裁判ヲスル人ガ本當ニ熱心ニ全力ヲ擧ゲテ責任ヲ持チ、親切ニ扱フト云フコトガ一番大切ナコトデハナイカト私ハ思ヒマス、無論二度ヨリハ三度ト云フ現在ノ制度、是ハ平時ノ制度トシテハ各國多ク其ノ採ローニシテ居ルノデアリマスル

カラ、其處ニ裁判ノ妙味ト云フモノハ無論アルコトハ私モ考ヘマス、併シ戰時ニ於キマシテハ非常ニ緊迫ヲ致シテ居リマス、所謂人の資源ノ確保カラ申シマシテモ、刑事事件ノ如キハ速カニ適正ニシテ而モ出來ルダケ敏速ニ確定スルト云フコトガ必要デア

ル、民事事件ニシテモ、會社等ノ事件ニナリマスルト、生産ノ關係等ニ於テ裁判ヲ繼續シテ長引クト云フコトハ是ハ宜シクナイト私ハ思ヒマス、出來レバ敏速ニ裁判ガ處理ノ出來ルト云フコトハ特ニ望マシイコト

ト思ヒマス、左様ナ譯デニ審制度ニナリマシタナラバ、二審制度ニナリマシタ爲ニ一般ガ不安ヲ抱クト云フヤウナコトノナイヤウニ、裁判ヲスル者ガ全力ヲ擧ゲテ裁判

ニ力ヲ致スト云フコトガ必要デアラウカト思ヒマス、若シニ審制ニナリマシテ親切ニシテ適正ナ裁判ガ行ハルルト云フコトデ、裁判ヲ受ケル者ハ洵ニ有難イ裁判デアルト云フコトニ悅服スルナラバ、是ハ不安ガナクナル、二審制度ニナリマスルト其ノ點ガ

特ニ裁判官ノ注意ヲシナケレバナラヌ點デアリマス、又私共斯ウ云フ點ニ付テ出來ルダケサウ云ツタ方向ニ、裁判ノ出來ルヤウニ色々ノ方面ノ考ヘヲ致サナケレバナラヌト云フヤウニ考ヘテ居リマス

ソレカラ區裁判所ガ事物ノ管轄ガ非常ニ廣クナリ、判事モ非常ニ忙シイノデ困リハセヌカト云フ御同情ノ御言葉モアリマシタ、實ハ刑事事件ニ付テハ、檢事ガ區裁判所ノ管轄ニ屬スル事件デアリマシテモ、地方裁判所ノ直接ノ公判ヲ請求スルトガ相當ダト云フヤウニ考ヘマシタ時ニハ、區裁判所

シテ、成ベク單獨判事デ裁判ヲスルヨリハ合議制ガ宜イト考ヘマシタ時分ニハ、サウ云フ便宜ヲ取扱モ出來ルヤウニ規定ヲ設ケ

タ譯デゴザイマス、只今御心配ノ點ノ若干ハ左様ナ規定ニ依ツテ補フコトガ出來得ルカト思ヒマス

ソレカラ是ハドウ云フ計算ニナルカ分リマセヌガ、區裁判所ノ事物ノ管轄ガ殖エマ

ス一面ニ於テハ、略式手續ト云フヤウナモノモ、此ノ案ガ通過致シマシタラ相當廣イ範圍ニ行ハレルノデ、如何ニシテ人員ノ

組替ヲスルカト云フヤウナ事柄ハ、私共更ニ十分研究ヲシヨウト思ヒマスガ、殖エマシタ事件ヲ處理スルニハ人ヲ要スルノハ當然デアリマス、ソコデ或ハ斯ウ云フ御疑問モ

アラウカト思ヒマス、判事ハ地位ノ保障ヲ持ツテ居ルモノデ、サウ云フ方面ノ手當ヲシナイデ區裁判所ノ人員ヲ殖ヤスト云フコトハ出來ルカ、斯ウ云フヤウナ御疑念モアラウカト思ヒマスガ、實ハ戰時ニ關スル立

法ヲ致シマシテ、以後區裁判所ノ權限ト云フモノハ相當ニ重クナルト考ヘマシテ、現在東京、大阪トカ、相當ノ判事ヲ有シテ居

ル地方裁判所デハ、部長ヲ除キマシテ、其ノ他ノ判事ハ殆ド全部區裁判所ノ判事ト地方裁判所ノ判事ト兼務サシテ居リマス、デアリマスカラ、地方裁判所ノ判事ガ區裁判所

ニ行クノヲ厭ヤガルヤウナ氣持ハナイカト云フヤウナ、民間ノ方々ノ御心配ヨク聞クノデアリマスガ、制度上、手續上ハ地方裁判所カラ部長以外ノ判事ガ區裁判所デ仕事ヲ執ツテ貰フト云フコトハ、適材適所ノ配置ニハ別ニ支障ハナイ譯デアリマス、殊ニ

先程司法次官カラモ説明ガアリマシタ通り、大東亞戰争後ハ判事諸君モ適材適所デ

難カシイ仕事ニ當ラウト云フ氣概、氣魄ハ燃エテ居リマス、左様ナ點ハ御心配ヲ戴イテ居ルノデアリマスガ、大概適材適所ノ配置ガ出來ル、斯ウ云フ考ヘデゴザイマス、甚ダ簡單デゴザイマスガ、一應御説明申上

ゲマス

○信正委員 今日此ノ戰時ニ於キマシテ一審ノ判事サンガ甚ダ不足スルト云フヤウナ

コトモ考ヘラレマス、ソコデソレ等ノ人ヲ補充スル意味ト、更ニモウ一ツハ、最近勾留期間ガ長引キマスノハ豫審中ガ多イノダ

ト云フ實際問題カラ割出シマシテ、此ノ際ハ是モヤハリ戰時立法ト致シマシテ、豫審ヲ廢止ナサルト云フ風ナコトニシマスノハ如何デゴザイマセウカ、サウシマスルト、人員モ剩ツテ參リマス、勾留期間ガ長引ケ

バ不安ヲ感ズル、是ガ長引ク最大ノ原因ハ豫審期間デアアル、私ハサウ云フ風ニ思ヒマスカラ、寧ロ此ノ豫審ヲ一時廢止サレテ、剩ツタ人員ヲ他ノ仕事ニ廻ハスコトニシテ

ハドウカト思ヒマスガ、如何デアリマセウカ

○岩村國務大臣 豫審ヲ廢止シテ裁判手續ノ迅速ヲ圖ツテハドウカト云フ御趣旨ノ御

尋ネト存ジマス、實ハ豫審ヲ如何ニスベキカト云フコトハ非常ニ問題デアリマシテ、數年前司法省內ニ於ケル委員會デ是ガ非常

ニ問題ニナツタ譯デス、豫審ハ現在起訴前ノ豫審、起訴後ノ豫審ト二ツノ制度ガアル

譯デス、軍法會議ハ起訴前ノ豫審デアツタカト思ヒマス、起訴前ノ豫審ト云フ制度ニ

スルカ、現在ノ如ク起訴後ノ豫審ニスルカト云フコトニ付テモ問題ガアル、尙ホ是ハ御承知ノ通り平時立法ニナリマス、檢事

ノ聽取書ノ效力ト云フモノガ地方裁判所ニハナカツタモノデス、然ラバ豫審制度ヲ廢止シテ檢事ノ聽取ト云フモノニ證據力ガナイト云フコトニナツテ來マス、豫審ヲ廢止スルト、地方裁判所ニ於テハ何モ證據力ノアルモノハナクナル譯デス、現在ハ、平時立法デ言ヘバ、檢事ノ聽取リ

ナ譯デハ重大ナ訴訟法ノ問題デゴザイマス、私共十分御説ヲ伺ツテ研究ハ致シテ居リマスガ、只今ノ所、如何ニスベキカト云フコトヲ明言スルダケノ研究ハ積ンデ居リマセス

○信正委員 是ハ國內治安ノ方ノ問題ニナルノデスガ、勿論御承知ノコトト存ジマスケレドモ、今日他人ノ非ヲ發クト云フ無責任ヲ投書ガ實ニ横行ノ傾向ニアルト思フノデス、是ハ今マデモアツタコトデスガ、近頃ハドウモソレガ多イ、是ハドウモ日本人ヲシクモナイヤリ方デアリマスシ、一億一心ヲ阻得シ、徒ラニ檢察官ヲ忙殺セシムルト云フコトニナリ、又實際無辜ノ民ガ色々ト迷惑ヲ感ズルト云フコトニナル、ドウモ斯ウ云フヤウナ點ガ非常ニ多イ、寧ロソレヲ歡迎スルヤウナ氣持ガアルト云フヤウナコトデ非常ニ氣持ガ惡イ、モウ一ツハ、今度新タニ瀆職罪ノ刑ノ加重ノ規定ガ出來マシタケレドモ、此ノ加重規定ハ主トシテ收賄ト云フコトニ關係シタモノノヤウニ拜見スル、併シ收賄以外ニ、權力者ガ其ノ無言ノ威力ヲ發揮シテ、サウシテ一般ノモノヨリ以上ニ總テ自分ノ有利ナヤウニ動カシテ行ク、手取り早ク言ヒマスレバ、經濟關係ナドニ付テ、例ヘバ配給ナドニ致シマシタ所デ、權力者ガサウ云フコトヲ露骨ニ言フノデハナイケレドモ、自由專恣ノ行ヒガアルト云フヤウナコトデ一般ニ響登シテ居ルノガ事實ダト思フ、此ノ頃ズツト世間ヲ見テミマス、此ノ二ツノ問題ガ非常ニ氣持惡ク思ハレル、瀆職ノ刑ノ加重ハ宜シイガ、此ノ方面ノモノニ付テハ今度ノ改正案デハ餘リ觸レテオイデニナラナイヤウニ思フ、斯ウ云フヤウナ點ニ付テハドウ云フ御

所見デアリマスカ
○大森政府委員 第一ノ投書ノ問題デアリマスガ、檢察當局ニ於キマシテ濫リニ投書ヲ信賴シテ、サウシテ事件ヲ拵ヘルト云フコトノ惡イコトハ、御示シノ通りデアリマス、今日左様ナコトハ毛頭ナイトハ心得テ居リマスケレドモ、併シ今後モ十分ニ注意ヲ致シタイト存ジテ居リマス、但シ現在ニ於テサウ云ツタ投書ノ種類ガ、特ニ殖エタト云フ現象ハナイヤウデアリマス、併シナガラ投書ノ絶滅ト云フコトハ中々出來ナイ、アルコトハアルノデアリマス
第二ノ點デアリマスガ、御示シノ問題ニ付テノ刑罰、確カニ考慮ノ餘地ハアルト思フノデアリマス、又大イニ考ヘテ、此ノ時局ニ相應シキモノヲ作ラナケレバナラヌト云フコトハ、御説ノ通りデアリマスケレドモ、今回ハ斯カル短期間デアリマスシ、決戰態勢ニ最モ必要ナモノヲ以テ臨ミタイ、斯様ニ存ジタ次第デ、此ノ程度ニ止メテ置イタノデアリマス、右御諒承願ヒタイノデアリマス
○作田委員長 十二時過ぎマシタカラ、午後一時マデ休憩致シマス
午後零時九分休憩
午後一時十一分開議
○作田委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス——木下君
○木下(都)委員 私ハ戰時刑事特別法ノ改正案ニ付キマシテ一、三點御尋ネ申上ゲタイト思ヒマス、此ノ改正案ノ第二十九條ノ二、「區裁判所ハ事案ノ内容ニ云々トアリマス、是ハ此ノ刑事訴訟法ノ從來ノ略式命令ノ手續ニ於キマシテ、檢事ノ請求ニ依ルト云フ

コトニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ分ハ檢事ノ請求ガナクテモ構ハヌト云フ意味デアリマセウカ

○池田政府委員 檢事ノ請求ニ依リマシテ、公判前ニ區裁判所ガ略式命令ヲ出スノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテハ、案ノ第二十九條ノ四ト致シマシテ、刑事訴訟法第五百二十三條乃至第五百二十八條ノ規定ハ第二十九條ノ二ノ場合ニ付テ之ヲ準用スルト云フ規定ヲ設ケテ居リマス、御諒承ヲ願ヒマス

○木下(都)委員 ソレカラ第二十九條ノ五ニ付キマシテ略式命令ノ請求權ノ拋棄デアリマスガ、此ノ度ノ改正案ノ根本趣旨ハ、大臣カラ戰時下ノ裁判ノ手續ヲ簡素強力ニスル、的確敏速ニスルト云フ目的ダト云フ御説明ガアリマシタ、此ノ正式裁判ノ請求權ヲ拋棄スル、ソレヲ認メルコトニ依ツテドノ點ガ此ノ目的ニ副フ譯デアリマスカ、狙ヒハ何處ニアリマセウカ、御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○池田政府委員 現在正式裁判ノ請求ノ拋棄ヲ認メテ居リマセヌ爲ニ、被告人ノ方デハ何等ノ異議ガナイ、即時罰金ノ支拂ヲ希望スルト云フ風ナ場合ガアツテモドウスルコトモ出來ナイノデゴザイマス、ソレカラ又例ヘバ今回ノ案ニ依リマシテ、一定範圍ノ自由刑ノ言渡ヲモ略式手續ヲ以テ認メルコトニナツタノデアリマスルガ、ソレ等ノ場合ニ於キマシテモ全ク自己ノ眞意カラ異議ガナイ、早く裁判ヲ執行シテ貰ヒタイ、斯ウ云フ風ナ即時裁判ノ確定ヲ希望スル者ガアルノデゴザイマス、左様ナ被告人ニ對シマシテハ今日ノ制度ノ下ニ於キマシテハ、正式裁判ノ請求ノ期間ヲ經過致シマシテ、

要スルニ最小限度七日經チマセヌト裁判ガ確定シナイ、斯様ナ實情デゴザイマス、左様ナ關係ガゴザイマシテ、左様ナ迂遠ヲ途ヲ取ルヨリモ此ノ際裁判ヲ確定セシムルコトニ付テ何等ノ障礙ガナイ、斯ウ云フモノニ付キマシテハ速カニ裁判ヲ確定セシムル、斯様ナ趣旨デゴザイマス

○木下(都)委員 只今承ル所ニ依リマス、結局七日ノ節約ト云フコトニ相成ルト思ヒマス、從來ノ規定ニ致シマシテモ、刑事訴訟法五百二十八條ニ依ルト、七日以内ニ正式裁判ヲ申立テナケレバナラヌ、サウスルト現行ノ法規ノ上デモ、七日待テバ拋棄ガ出來ルト同ジ結果ニナル譯デアアル、ダカラ七日ノ節約ダケノ爲ダト云フコトガ反面デ言ヒ得ルト思ヒマス、サウシマス、七日ノ節約ダケト云フコトトナレバ、民事ノ上告等ニ於テハ期間ガ三十日、斯ウ云フノ半分ニシテモ二週間ノ不確定狀態ガ省カレルト云フコトモ考ヘラレル、唯略式ニシテ僅カニ七日間ノ手續ノ未確定狀態ヲ節約スルト云フダケデ之ヲヤル、害ガ少シモナケレバ其ノ七日デモ尙ホ節約シタ方ガ、シナイヨリモ宜シイト云フコトガ考ヘラレマス、所ガ實際ノ略式命令ノ出サレル實情ニ於キマシテハ、被告ハ身柄ヲ拘禁サレテ居ル場合ガ多イノデアリマシテ、今度ノ範圍ガ又廣クナレバ隨分體刑ノ部分マデ及ビマスノデ、サウ云フ場合ガ多カラウカト思ヒマス、サウ云フ被告ガ其ノ略式命令ヲ科セラレル内輪ノ事情ニ於キマシテ、早イ話ガ此ノ通りノ刑罰規定ニナツテ居ルノダ、併シナガラ此ノ程度デ略式デ行クノダ、貴様ハソレデモ異議ガアルカドウカト云フコトガヤハリ行ハレナイトハ保シ得ナイノデアリマス、

サウ云フコトガ此ノ身柄ノ拘禁ノ間ニ於テ、又拘禁サレナイ場合ニ於キマシテモ行ハレ得ル少クトモ危険ノ機會ハアルト思フ、サウ云フ危険ノ機會ヲ作ルコトト、僅カニ七日間ノ未確定状態ヲ節約スルコトト比マズルト、相當此ノ改正案ノ骨子デアリマス裁判断手續ノ簡素強化ト云フ趣旨ト違ヒハシナイカ、殊ニサウ云フ點ニ於テ危懼ヲ致シテ居ル向キガ、今マデノ實績カラ行キマシテモ相當濃厚デアツタト考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ意味ニ於キマシテ、私ハ寧ロ斯ウ云フ危険ノアルコトヲ、タツタ七日ノ節約ノ爲ニスルコトハ止メタ方ガ宜イデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマスルガ、此處デ議論ヲ申上ゲテモ始マリマセスカラ、其ノ點ハ諄々シク申上ゲマセヌ

〔委員長退席、山本委員長代理着席〕

唯眼目ガ裁判手續ヲ簡素化スル、的確迅速ナラシメルト云フ點ニアリマスルカラ、其ノ意味デ尙ホ別段ノ考慮ガ拂ハルベキモノデアルト考ヘルノデアリマス、ソレハ私先般受刑者ノ勤勞シテ居ル造船部隊其ノ他ノモノヲ見マシテ、洵ニ感激深カツタノデアリマス、司法當局ニ於テハ吾々以上ニ十分御承知ノコトト思ヒマスルケレドモ、アノ受刑者ノ有様ハ、日本ノ行刑ノ革命的ナ事柄ト私ハ、感シタノデアリマスルガ、日本ナレバコソ斯ウ云フコトガアルノダト考ヘタノデアリマス、ト同時ニ此ノ改正案ノ趣旨カラ言ヒマシテ、起訴猶豫ト執行猶豫トノ中間ニ當ルヤウナモノヲヤラレテハドウカ、早く申シマスルト、戦時下ニ此ノ改正案ニ依ツテ略式命令ヲ出サユウナ被告人ニ對シテ、戦時下ナルガ故ニ戦時瀆罪手續トデモ申シマスカ、或ハ名前ガ瀆罪デ悪ケレバ挺身手續

トデモ申シマスカ、戦争ノ濟ムマデ挺身シテ、貴様ヤツテミロ、無事ニ日本國民トシテ過チガアツタノダケレドモ、此ノ際答メナイ、戦争ノ濟ムマデ待ツテヤルカラ挺身シテヤツテミロ、無事ニ濟ンダラ戦後ニ帳消シニスル、或ハ戦後ニ其ノ無事ニ濟ンダコトヲ考慮ノ中ニ入レテ略式命令ヲ出スナラ出ス、ト云フヤウナ工夫ガアツテ然ルベキデハナイカ、其ノ方ガ寧ロ略式命令ノ範圍ヲ擴ゲ、且ツ殊ニ正式裁判請求權ヲ拋棄スル、七日ノ節約ノ爲ニワザ／＼サウ云フ條項ヲ設ケルト云フヤウナコトヲスルヨリモ宜イノデハナイカト思フノデアリマスガ、左様ナ起訴猶豫ト執行猶豫トノ中間ニ當ルヤウナ、何カ戦時下ニ相應シイ制度ノ工夫ガサレテ居ルカドウカ、御伺ヒ致シタイノデアリマス

○大森政府委員 御答ヘヲ致シマス、第一點ノ問題デアリマスルガ、是ハ見込ノ相違ニナリマスルカラ、固ヨリ私共ノ方デ強ヒテ申シマセヌガ、現在略式命令デ片付ケテ居リマスノガ一年ニ約十三万八千デアリマス、デアリマスルカラ是等ノ多數ノ事件ニ付テヤハリ七日ズ節約ガ出來マスナラバ大變ナ事務ノ簡捷化ニナリマス、又之ニ關係スル人々ノ不安ガ餘程解消スルデアラウト思フノデアリマス、隨テ相當ノ效果ハアラウト考ヘタ次第デアリマス

第二點デアリマスルガ、今日ノ行刑ノ實際ニ付キマシテ大變御同情ノアル御言葉ヲ賜ハリマシテ、事務當局トシテ眞ニ感謝ラスル次第デアリマス、御言葉ノ通り日本ナレバコソ出來ルノデアリマス、吾々日本人ノ眞價ハココニモ存スルト云フコトヲ大變誇ラシゲニ考ヘテ居ル次第デアリマス、尙

ホ此ノ點ニ付テハ更ニ一層ノ效果ヲ上ゲルヤウニ一同邁進ヲシタイト存ジテ居ルノデアリマス

第三點デアリマスルガ、御指摘ノヤウニ宣告猶豫ト申シマスルカ、更ニ進ンデ、今日挺身隊ニデモ入ツテサウシテ功績ヲ擧ゲルナラバ、其ノ儘罪ハ黙過シテヤラウ、斯ウ云フ制度、是ハ戦時下大變ニ結構ナ制度ダト思ヒマス、實ハ私共サウ云フヤウナコトニ付テ考ヘ及ボシタコトモアルノデアリマス、唯甚ダ慚愧ニ堪ヘナイノデアリマスガ、準備ガ足りナイノデアリマシテ、隨テ今後是ガ出來ルカ出來ナイカト云フ確約ハ固ヨリ出來マセヌガ、其ノ方面ニ於テモ研究ヲ續ケタイト存ジテ居リマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○木下(郁)委員 略式命令ニ付キマシテハ尙ホ申上ゲタイト思ヒマスガ、議論ニ互リマスノデ省略致シマス、田中君カラノ質問デ大體御意向ハ分ツテ居リマスガ、モウ少シ具體的ニ申上ゲマスト、判事ノ配置ノ問題デアリマス、現ニ區裁判所ニ繫屬シテ居リマス刑事事件ノ中ニハ、非常ニ多數ノ戦時下ノ經濟統制法規違反ノ事件ガアルノデアリマス、ソレニ付テ、反面民事事件ハ、私ノ大雑把ナ見當デアリマスガ、約二割ソコソコニマデ減少シテ居ルノデハナイカト思ヒマス、三分ノ一以下デアルト思フテ居リマス、所ガ此ノ經濟法規違反ハ盜ツタトカ、斬ツタトカ、殺シタトカ云フノト違ヒマシテ、民事的ナ色彩ガ非常ニ強イ、其ノ意味ニ於テモ民事部ノ判事ヲ刑事部ノ方ニドシドシ廻ツテ戴クコトガ能率的デモアリ又手不足ノ點ヲ補フノニ非常ニ役立つノデハナイカト思フノデアリマス、現在マデハマガ其ノ

點ニ於テ、ヤハリ刑事專門ノ判事ハ刑事專門ノ方ニ居ラレ、民事ノ方カラ自由ニ刑事ノ方ニ代ハラレルト云フコトガ絶無デハナイヤウデアリマスガ、非常ニ少イヤウニ思フノデアリマス、其ノ點ニ付テドウ云フ風ナ御方針デオイデニナルカ、伺ヒタイノデアリマス

○大森政府委員 御説ハ全ク御同感デアリマス、釋迦ニ説法デ甚ダ恐縮デアリマスルガ、元來判事ノ職務ハ民事專門、刑事專門ト云フヤウナコトハアルベキモノデハナイト思フノデアリマス、凡ソ判事デアレバ、民事刑事共ニ堪能デナケレバナラナイト存ジテ居リマス、所ガ今日ノ實際ニ於キマシテハ、配置上各專門ニ流レ易イト云フ傾向ガアルノデアリマス、此ノ點ハ全ク改メナケレバナラナイト存ジテ居リマス、サウシテ御指摘ノヤウニ民事ガ多少手ガ空イテ居リマスカラ、今後ドシ／＼刑事ノ方ニ廻シタイ、斯様ナ積リデ居ルノデアリマス

○木下(郁)委員 尙ホ細カイトデアリマスルガ、私ノ直接經驗シタコトデアリマセヌケレドモ、信ズベキ所カラ聞イタコトデアリマス、ソレハ現行戦時刑事特別法ノ事項ニ付テ辯護人ノ制限ガアツテ、二人ト云フコトニナツテ居リマス、ソレハ選任サレタ辯護人が二人、ソレガ缺ケタ場合ニハ二人マデハ補充ガ出來ルト云フコトニ了解シテ居ツタノデアリマスガ、區裁判所ニ於テ十中六、七マデハ其ノ通りノ解釋デ、途中二人ノ辯護人が死ンダトカ、或ハ辭任ラシタトカ云ツテ變ヘタ場合ニ、後ノ適任ヲ認メラレ、所ガ十中二カ三ノ判事ハ之ヲ許サレナイ、正ニ裁判ノ上デ籤引ノヤウナ恰好ガアツテ、裁判ノ威信ヲ傷クルコト少

カラヌモノガアルト思フノデアリマス、サ
ウ云フ點ニ付テハ、司法ノ大キナ建前カラ言
ツテ、直接命令スルト云フヤウナコトハ出
來ナイカトモ思ヒマスルガ、何トカソコニ
サウ云フ萬人誰デモガ納得シナイヤウナ事
柄ノ起ラナイヤウニ、御工夫シテ戴キタイ
ト思フノデアリマス、サウ云フコトガ現ニ
アリマシタカドウカ、又アリマシタナラバ
サウ云フ事柄ニ付テハドウ云フ風ニ處理セ
ラレル御方針アルカ、承リタイノデアリ
マス

○池田政府委員 御尋ネノ問題ガ具體的ナ

事件ヲ土臺トシテノ御質問デゴザイマスノ
デ、便宜私カラ御答ヘ申上ゲマス、木下サ
ンノ御尋ネノ如キ問題ハ、恐ラク某區裁判所
ニ於テ現ニアリマシタ事件ダト思ヒマスケ
レドモ、私其ノ點ニ付キマシテ調査ヲ致シ
マシタ所ガ、價格等統制令ノ第四條ノ二ノ
違反ノ事件デアリマシテ、是ハ御承知デモ
ゴザイマス通リニ、手數料ナドニ關シマス
ル統制違反デ、内容ノ相當ニ重大ナ事件デ
アルト思ヒマシテ、檢事カラ區裁判所ノ方
ニ公判ヲ請求シテ來タノデゴザイマス、是
ハ固ヨリ公判ヲ請求スル事件デゴザイマス
カラ、裁判所ニ於キマシテモ身柄ハ勾留シ
タ譯デアリマス、ソレデ公判期日ノ指定ヲ
致シマシテ、被告人ニ對シテハ通知シタノ
デアリマスガ、其ノ結果ト致シマシテ被告
人ノ方カラハ、其ノ呼出ノ途達ガアリマシ
タ日カラ十日内ニ、辯護人二人ノ選任ヲシ
テ届出ガアツタ、所ガ其ノ十日ノ選任期間
ヲ經過致シマシテカラ後ニナリマシテ、他
ノ辯護人ノ方ガ裁判所ノ方ニ出頭サレマシ
テ、實ハ既ニ選任サレテ居ル辯護人ノ一名
方ノ方ガ辭意ヲ洩ラシテ居ル、又被告人ノ

デモ實ハ其ノ方ハ他ノ方ノ御紹介デ選任シ
タノデ、餘リ其ノ方ニ對シテ希望シテ居ラ
ナイ、ソコデドウシテモ其ノ方ニ辭任シテ
貫ヒタイト云フコトヲ希望シテ居ル、若シ
其ノ辯護人ノ方ガ辭任スレバ、辯護人トシ
テ自分ヲ許可シテ貫ヒタイ、斯様ヲ御交渉
ガアツタノデアリマス、裁判所ニ於キマシテ
ハ實ハ先般戰時刑事特別法ノ御審議ヲ煩ハ
シマシタ際ニ、此ノ第二十條第二項ノ後段ノ
規定、即チ「已ムコトヲ得ザル事由アル場合ニ
於テ裁判所ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ
在ラズ」云フ此ノ規定ノ解釋運用ハ、訴訟ニ
遲延ヲ來サナイ限り、出來ルダケ緩ヤカニ
之ヲ解釋適用シテ行ク、其ノ點ニ付テハ全
國ノ裁判所ニ凡ユル適當ナル方法ヲ以テ、
其ノ趣旨ノコトハ徹底スルヤウニ努メルト
云フコトヲ、司法大臣カラ言明シテアリマス、
此ノ言明ノ趣旨ニ基キマシテ司法當局ト致
シマシテハ、實務家會同デアリマストカ、
或ハ長官會同デアリマストカ、其ノ他控訴院
ノ管轄別ノ實務家會同、凡ユル會同ヲ通ジマ
シテ、其ノ趣旨ノ徹底ニ付テ努メテ參リマ
シタ、私ハ是ハ廣言スル譯デハゴザイマセ
スガ、全國ノ裁判所ノ隔々大臣言明ノ
趣旨ガ徹底シテ居ルト思ヒマス、隨テ裁判
所ニ於キマシテモ、抽象的ニハ、此ノ「已ム
コトヲ得ザル事由アル場合ニ於テ」云々ト
云フノハ、相當ニ彈力ヲ持ツテ解釋運用ヲ
シテ居ルト私ハ確信致シマス、又問題ノ起
リマシタ某區裁判所ニ於キマシテモ、個々
ノ判事何レモ左様ト思ヒマス、唯具體的ナ
事件ニナリマス、是ハ又當該ノ具體的ナ
事件ニ即シマシテノ事情ガゴザイマスノデ、
ソコニ又自ラ色々ナ綾ガ出來テ來ル譯デゴ
ザイマス、左様ナ次第モゴザイマシテ、此

○木下(郁)委員 今度ノ改正デ辯護人ヲ二

人ニ制限サレルコトガ、全面的ニ行ハレルコ
トニナルノデアリマスガ、其ノ點ニ付テハ、
是ハ辯護士ノ方ナラバ心得テ居リマスケレ
ドモ、被告人ノ方ハソコトハ知ラナイ、
長イ間辯護士ハ二人以上數人選任シテ
モ宜シイト一般ハ心得テ居リマス、辯護
人ニハ個々ニ頼ンデ來マス、他ニ二人モヤ
ツテハ居ナイカト云フ所マデ注意スレバ宜
イケレドモ、ソコマデハ行キマセヌ、ヤハ
リ自分ダケニ頼ンデ來タト思ツテヤルコト
モアルダラウト思フ、サウ云フ點ハ過渡期ニ
於テハ、特ニ注意シテ戴ク必要ガアルト思
フノデ、ドウカ今ノ御話ノ趣旨ヲ裁判所ダ
ケデナクテ、二人ニナツタング、辯護士ハ
二人以上ハ選任ガ出來ナイノダト云フコト
ヲ、被告人ニモ注意シテヤル位ノコトヲヤ
ツテ戴キタイト思フノデアリマス

ノ第二十條ノ第二項ノ但書ノ點ニ付キマシ
テハ、先般ノ議會ニ於キマシテ言明申上ゲ
マシタ趣旨ノ徹底ハ十分ニサレテ居ル、斯
様ニ考ヘマス、甚ダ抽象的デゴザイマスガ、
一應其ノ點ダケ御答ヘ致シテ置キマス

調ベナイデドシク出サレタモノダト云フ
傾向ハ必ズアツタデアラウト云フコトヲ信
ジテ居リマスガ、其ノ略式ガ許サレナカッ
タ率モ非常ニ少イ、其ノ少イノモ、内容ヲ
見マス、其ノ許サレナカウタ理由ハ形式
的ナ理由ガ大部分ヲ占メルノデハナイカ、
事案ノ實質的ナ理由デナクシテ、無罪ダカ
ラトカ云フヤウナ意味略式命令ガ出サレ
ナイノデナクテ、其ノ形式的ナ要件ヲ缺ク
ト云フヤウナコトヲ出サレナカウタノガ多
イノデハナイカ、ソレデ大體ノ内譯デモ伺
ヘレバ伺ヒタイト思フノデアリマス

○池田政府委員 先程ノ戰時刑事特別法第

二十條ノ第二項ノ趣旨ニ付キマシテ、裁判
所方面ノミナラズ被告人ノ方面ニ對シテ
モ、其ノ趣旨ノ徹底ニ努メルコトガ必要デ
ハナイカト云フ仰セデアリマスガ、是ハ洵
ニ御尤モデアリマシテ、實ハ裁判所ニ於キ
マシテモ、召喚狀ニ十日ノ期間内ニ辯護人
ヲ請求シナサイト云フヤウナコトヲ附記シ
テアルヤウナ譯デゴザイマシテ、左様ナ點
モ一ツノ方法デゴザイマスガ、全國ノ裁判
所ニ於キマシテ相當ニ第二十條ノ趣旨ノ徹
底ニ付テハ努メテ居ルト考ヘテ居リマス、
尙ホ今後ニ於キマシテモ御趣旨ヲ體シマシ
テ十分ニ努力スル積リデ居リマス

次ニ略式命令ノ請求ガ檢事カラアリマシ
タニ對シマシテ、裁判所ニ於テドウモ略式
命令相當ナラズトシテ通常ノ手續ニ直シマ
シタモノノ其ノ理由デゴザイマス、是ハ御
承知ノ通り裁判所ノ方ノ判斷デゴザイマス
ノデ、統計的ナ資料モ勿論ゴザイマセヌ、
又如何ナル理由デ略式命令ヲ不當ニシタ
カ、知ルニ由ナイノデアリマス、併シナガ
ラ推察致シマスルノ、例ヘバ書面審理デゴ

ザイマスカラ、記録ヲ見マシテドウモ事案ノ内容ガ複雑タ、略式手續ニ依ルコトガ相當デナイトマア考ヘラレマス、ソレカラ又檢察カラノ求刑ヲ見ルト、ドウモ書面審理ノ結果ハ裁判所ノ刑ノ量定ニ關スル判斷ト著シク違フ、ドウモ略式命令ニ相當デナイ、サウ云フ風ニモ考ヘラレマス、更ニ又形式的ナ方面ト致シマシテハドウモ公訴事項ガ完成シテ居ナイ、或ハ檢事ノ請求自體ニモ犯罪ノ成立ニ疑ヒガアル、斯様ナ事由ガ色々アリ得ルト思ヒマス、併シナガラ是ハ何レモ單純ナル程度デゴザイマシテ、正確ナコトハ申上ゲルコトガ出來ナイ、左様ニ御諒承願ヒタイト思ヒマス

〔山本委員長代理退席、委員長着席〕

○木下(郁)委員 時間ガ來タヤウデアリマスカラ、此ノ程度デ止メマス

○作田委員長 南鐵太郎君

○南委員 内務大臣ノ御出席ヲ要求シテアルノデアリマスガ、御都合ハ如何デゴザイマスカ

○作田委員長 今防空委員會ノ方ニ行ツテ居ラレサウデ、直キ見エルサウデアリマスカラ、司法省ノ方ヲ先ニ……

○南委員 ソレデハサウ致シマシテ、五、六點御尋ネ致シタイノデアリマス、第一ニ略式命令ヲスル場合ニ、慎重ヲ期スル爲ニ專任ノ判事ヲ置カラルト云フ御答辯ガゴザイマシタ、御心持ハ能ク分ルノテゴザイマス、併シ如何ニ堪能ナル判事ト雖モ單ニ記録ダケヲ見テ、殊ニ警察ノ記録ダケヲ見テ判斷ヲスルコトニナリマス、果シテ是ハ略式命令ニ止マルカ、或ハ正式ノ裁判ヲスルニ適スルカト云フコトヲ判斷スルコトハ中々困難デアラウト思ヒマス、殊ニ警察記録ノ

云フモノガ洵ニ信用ノ出來ナイ實例ガ澤山アルノデゴザイマス、サウ云フ場合ニ判事ハ何等直接被告ヲ調べズ、單ニ他ノ檢察、警察ノ機關ノ調べ——ソレハ檢察、警察機關トシテモ本來公ノ機關デアリマスカラ、何モ人ヲ罪ニシヨウトシテ調べルノデハナイデアリマセウケレドモ、兎角岡ツ引根性ミタヤウナモノガ多イノデアリマス、自分ノ手掛ケタモノハ罪ニシナケレバ承知セヌト云フヤウナ氣持ノ人ガ相當アルノデアリマス、殊ニ警察官ニハソレガアル、斯ウ云フ場合ニ、サウ云フ人々ガ勝手ニ作ツタ、殊ニ拘束シテ置イテ自由ニ發言ノ出來ナイ者ニ對シテ拵ヘタ記録ト云フモノヲ基礎ニシテ、殊ニ略式命令ニハ、事案ノ内容ガ單純ダ、犯罪ノ成立ガ明白ダト云フヤウナコトガ要件デアリトスレバ、其ノ通りノ記録ヲ作ルコトモ出來ルノデアリマス、サウ云フヤウナコトデ事實ノ調べヲ判事ガセズシテ、簡單ニ書面審理ヲスルト云フヤウナコトデハ、何ダカ國民トシテハ不安ヲ覺エルノデアリマス、殊ニ體刑ニ處スルト云フヤウナ場合ニ於テ特ニ甚ダシイノデアリマス、特殊ノ犯罪ニ付テヤルト云フナラバ、是ハ又其ノ理由ガアルト思ヒマスケレドモ、一般ノ相當ノ犯罪ニ付テ之ヲヤラレルト云フコトニナリマス、是ハ餘程注意セヌト危ナイト思ヒマス、況ンヤ之ニ正式裁判ノ拋棄マデ伴フ譯デアリマスカラ、非常ニ危険デアルト思ヒマス、其ノ場合ニ御尋ネ致シタイノハ、判事ハ其ノ際勾留訊問ヲシテ、ソレデ事情ヲ明カニスルト云フ機會ガアルナラバ或ハ宜シイカモ知レナイガ、併シ勾留訊問ノ機會ノナイ場合、單ニ警察ニ留メ、警察ノ庭ニ括ツテ置イテ、否應ナシ

ニ略式命令ヲヤツテドウダト云フヤウナコトニナルト、人權ヲ擁護スルト云フ途ガナツテシマフ虞ガアル、ソレヲ一番慎レルノデアリマスガ、何カ判事直接ニ勾留訊問ニ相當スルヤウナ、何カ取調ベラスルト云フ機會ガアルト云フ建前デアリマスカ、勾留訊問ノヤウナ法律規定ガナイト云フコトデアレバ、サウ云フコトハ出來ナイノデアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

○池田政府委員 御尋ネノ如キ御懸念ガ絶無デナイコトハ、私共ト致シマシテモ十分戒心シナケレバナラヌト思ツテ居リマス、殊ニ今回新タニ一定範圍デハゴザイマスケレドモ、自由刑ヲ科シ得ルコトニナリマシテ、此ノ自由刑ヲ略式手續ニ依ツテ科スルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、裁判所ニ對シマシテ檢事カラ令狀請求ヲ致シマス、サウシテ裁判所ニ於キマシテハ被告人ヲ訊問致シマシテ、刑務所ノ方ニ拘禁スルト云フ手續ニスルト云フコトヲ考ヘテ居リマス、勿論ソレハドウシテモ其ノ事案カラ見マシテ拘束ヲ必要トスルト云フ風ナ場合デゴザイマシテ、自由刑ニ當ル場合デアリマシテモ勿論拘束ノ儘デ請求スルト云フコトハアリ得ル、併シナガラ今申シマシタヤウニ拘束ドウシテモ必要トスルト云フヤウナ事件ニ付キマシテハ、檢事カラ令狀請求ヲ致シマシテ、裁判所ニ於テハ勾留訊問ヲスルト云フ運用ニナツテ居ルト考ヘテ居リマス

○南委員 其ノ點ニ付キマシテ心配スルノハ、勾留訊問デアツタ場合ハ幾ラカ事情ヲ知ル機會ガアルト云フダケデハナシニ、實際勾留訊問ヲヤラレル場合、身柄ガ自由デアリマシテ居ラレト云フ場合ガ非常ニ多イノデスカラ、サウ云フ場合ニ其ノ儘デ檢事ノ手ニ渡ル時ニ、モウ既にサウ云フ處置デナクナツテ居ルト云フナラ結構デス、ケレドモ往々ニシテ正式ノ勾留デハナシニ、自由ノ身デアアルベキ管ガ警察ノ中ニ置クト云フ場合ガアリマスカラ、サウ云フ風ニ場合ヲ特ニ心配スル譯デアリマス、ソレハ只今ノ御説明ニ基イテ其ノ點ヲ勵行シテ戴クト云フナラ其ノ點ハ宜イノデアリマス、其ノ點ハソレトシテ次ニ御尋ネ致シマス、ソレハ正式裁判ノ請求權ヲ拋棄スルト云フコトハ、警察ノ場合ニ於テ最モ危険ナノデアリマスガ、必ズシモ警察ニ居ルバカリデハナイ、身柄ガ拘束セラレテ居ツテ正式裁判ヲ仰ガウト云フコトハ、中々困難ナ場合ガアル、控訴ノ場合ニデモ、或ハ保釋ヲ請求スルト云フヤウナ場合デモ、オ前ハ正式裁判ヲ仰ガナケレバ保釋ヲ許シテヤルトカ、控訴ヲシナケレバ保釋ヲ許シテヤルトカ云フヤウナコトノ事例ガ相當出テ來ルコトヲ懼レルノデアリマス、現在デモ控訴ノ場合ニヨクアル、是ハサウデアアルベカラザルコトデアリマスケレドモ、實際ハ非常ニアル、保釋ト云フコトヲ刑事訴訟法ノ百十四條ニ依ツテ、事由ガ止ンダナラバ當然保釋スベキモノデアアル、斯ウ云フ考ヘデナシニ、保釋スルカセヌカト云フコトヲ、拷問ヲスル、自白ヲスル一ツノ手段ニ供スルト云フ例ガ非常ニ多イノデス、是ハ警察ナンカデアツタナラバ、是ハ保釋ノ問題デハアリマセヌケレドモ、例ヘバ身柄ヲ拘束シテ置イテ取調ベラシテ居ル、何カ食物ナンカヲ差入レタイト

言フト、今ハマダ一寸出來ナイ、何故カト云

フト、是ハ本當ノコトヲ言ハナイカラ、言ハナイ時ニ家カラ物ガ入ツタリスルト心理状態ガ變ツテ、ドウモ餘計強クナツテ自白セヌカラ困ルト云フヤウナコトヲ言ツテ、當然ナスベキ或ル行爲ヲモ禁ジテ、食物物釣ツテ、自白スルマデハ差入レテ許サヌト云フヤウナ實例ハ、普通ノ警察ノ扱ヒデハ常識デアルト思フ、サウ云フヤウナコトガアルノデスカラ、況ンヤ保釋ノ場合ニ於テモソレハ取調ノ或ル一定ノ豫想ニ基イテ、其ノ鑄型ニ嵌メルト云フ爲ニハ便利デアアルカモ知レマセヌガ、眞實ヲ發見スルト云フ時ハ却ツテ害ガアル、コンナニ置カレタノデハ身體ガ續カヌカラ何デモ宜イカラ保釋ニナリタイ、何デモ言ツテシマハウト言ツテ嘘ノコトヲ言フ場合ガ非常ニアル、是ハ司法權ノ信用ノ爲ニ恐ルベキデアルト思ヒマス、デスカラ私ハ現在ノ制度ニ於テスラモ行ハレテ居ル弊害ヲ、略式命令デ正式裁判ヲ請求スルト云フコトヲ拋棄スルト云フコトニナリマスレバ——是ハ檢事局ニ於テスルトハ考ヘマセヌガ、主トシテ警察ノ手ヲ以テ、サウ云フヤウナ正式裁判ヲ仰グナラバ酷イ目ニ遭フゾ、略式命令ガ出タナラバ正式裁判ノ權利ヲ拋棄スルトニセヨ、サウシタナラバ斯ウシテヤラウト云フ少シ旨イコトヲ言ツテ、事實上正式裁判ヲ、自由ノ判斷ヲ以テ請求スルカ否カト云フコトヲ決メルコトガ出來ナイ場合ガ非常ニ多クナラウト思ヒマス、現在實例ノ御報告ヲ承ツテ見レバ、九十何「パーセント」ト云フモノガ正式裁判ヲ仰イデ居ラヌト云フコトデアリマスガ、ソレハ正シク悦服ヲシテ十分ニ裁判ニ服シテ居ルト云フナラバソレデ結構ナノデアリマスガ、ヤハリ見方ニ依レ

バソレ等ノ者ハ怨ミヲ吞シテ、オ上ノ無理ニ屈服スルノダト云フヤウナ不安ノ氣持デ以テ、仕方ナシ泣ク子ト地頭ニ勝タレヌト云フ氣持ガ裁判所ニ對シテモ若シ殘ツテ居ルトスルナラバ、是ハ現在信用ノアル司法權ニ對シテ恐ルベキ禍根デアルト思フ、ソレハサウ云フコトニナラヌコトヲ望ム、實際ハソレハ稀有ノ場合デアリマセウケレドモ、稀有ノ場合デモ決シテ油斷ガ出來ナイノデアリマス、何トカシテ悦服ヲシテ裁判ニ服スルト云フコトコソ、裁判ノ簡素化ノ本デヤナイカト思フ、徒ラニ裁判ヲ受ケテモ、尤モダト思ハナイ、無理ナコトヲ言ハレテ、仕方ナイ、災難デアルトカ云フコトデ以テ、唯事件ダケ片付イタト云フコトデハ、司法ノ事務ノ簡素化ト云フコトニナラヌト思ヒマス、却テ國民ヲ不安ニ陥レテ、司法ノ目的ニ副ハナイデヤナイカ、斯ウ云フコトヲ悞レルノデアリマス、ソレニ付キマシテ御尋ネ致シタイノハ、此ノ正式裁判ヲ拋棄スルト云フ場合ニハ、一應身柄ヲ釋放シテ、身柄ガ自由ノ場合デナケレバ正式裁判ノ拋棄ハ出來ナイ、斯ウ云フヤウナ扱ヒニ出來ナイモノデアアルカ、自由ナル場合ニ於テ拋棄スルナラバ是ハ御尤モナ話ダト思ヒマスガ、自由意思デ拋棄スルカ否カラ決メルノデナシニ、單ナル壓迫ノ下ニ、コソツテノ言フコトヲ聽ケバ保釋ヲ許シテヤラウト云フ餌ニ使ツテ、結局出テ來テ自由ノ意思デ以テ判斷シヨウト云フ時ハ取返ヘシガツカス、裁判ガ確定シテシマフ、サウ云フコトニナリマス、洵ニ人權ノ保護ノ上ニ於テ由々シキ大事デアルト思ヒマス、是等ノ點ニ付テ身柄ノ自由ト云フコトト、此ノ正式裁判ノ請求權ノ拋棄ト云フコトトヲ交

換的ニセラレルト云フ御意向ガゴザイマセヌカドウカ、其ノ點ヲ一寸御伺ヒ申シマス
 ○池田政府委員 略式命令ニ依リマシテ重刑ヲ科シマス場合デアリマスガ、先程モ御答ヘ申上ゲマシタ通り、其ノ場合ニハ被告ノ身柄ハ警察ニ居ルコトハ絕對ニナイノデアリマシテ、其ノ點ハ勿論御心配ハナイト思フノデアリマス、唯此ノ略式命令ニ對シマシテ、正式裁判ノ請求ヲ拋棄スル場合ニ、先ツ被告人ノ身柄ヲ自由ニシテ置イテ、サウシテ拋棄スルヤ否ヤヲ被告人ノ自由意思ニ任スト云フ御意見デゴザイマスガ、是ハ實ハ拋棄ノ制度ヲ新クニ政治的ナ手當トシテ認メテデアリマス理由ハ、午前中ニモ御答ヘ申上ゲタノデゴザイマスケレドモ、殊ニ重刑ニ處スルモノニ付キマシテハ、御承知デモゴザイマスヤウニ、實ハ身柄ノ釋放ト云フ問題ハサウ簡單ニ行カナイ譯デアリマス、何モ之ヲ拋棄セシムル爲ニ身柄ヲ自由ニスルトカ云フヤウナコトハ全クアリ得ナイコトデアリマス、拋棄スルカドウカト云フコトハ被告人ノ意思ニ基クコトナノデアリマス、裁判所ガ拋棄ノ意思ヲ決定セシムル爲ニ先ツ釋放スルナント云フコトハ、是ハ私ハドウモ此ノ法規ノ趣旨カラ見マシテ贊意ヲ表スルコトハ出來ナイノデアリマス
 ○南委員 然ラバ自由ノ判斷デ以テ拋棄スルト云フ機會ヲ與ヘル爲ニ、一定ノ外界ノ適當ナ人ト相談スル機會ガアツタ後デナケレバ拋棄ヲ許サヌト云フヤウナ御取扱ヒハ出來マスマイカ、詰リ拘束セラレ、強壓ノ爲ニ、唯強迫觀念ニ基イテ、拋棄シタモノト扱ハレルト云フヤウナ錯覺ヲ生ズルカモ知レヌ、サウ云フ場合ガヨクアルカラ、ソレヲ外部ニ於ケル信賴スベキ人ト相談ヲ

シテ、拋棄スベキヤ否ヤヲ決定スル、サウ云フ機會ヲ與ヘルヤウナ御考ヘハナイデセウカ
 ○池田政府委員 正式裁判ノ請求ヲ拋棄スルヤ否ヤハ、全ク被告人本人ノ自由ナル意思決定ニ依ルベキデアリマシテ、其ノ拋棄ノ意思アリヤ否ヤ、サウ云フ點ニ付テ、先ヅ外界ニ於キマスル色々信賴スベキ人トノ相談ノ機會ヲ與ヘルト云フヤウナコトハ、是ハマダ被告人ガ拋棄ノ意思ヲ表示シナイ前ニ、サウ云フヤウナコトハ執ルベキ措置デハナイト思フ、例ヘバ被告人ノ方デ拋棄シタイト云フヤウナ意思ヲ申出タ場合ニ於キマシテ、或ハソレガ果シテ眞ノ被告人ノ意思ニ基クモノデアアルカドウカト云フコトニ付テ、裁判所ノ方ニ於テ確認ヲスルト云フカ、裁判所ノ方デ以テ考ヘラレルナラバ、或ハ御説ノヤウナ點ニ付テハ可能デハナイカト思ヒマスガ、先ツ被告人ノ拋棄ノ意思ヲ決定セズニ御尋ネノ如キ措置ヲ講ズルト云フヤウナコトハ、是ハアリ得ナイト思ヒマス
 ○南委員 其ノ拋棄ヲ認メルト云フコトハ、事務簡捷ト申シマスカ、一週間待ツテ拋棄スルカセヌカガ決マルノデス、正式裁判ヲ仰グカ仰ガナイカガ決マルノデスカラ、一週間モ待テナイト云フ其ノ特殊ノ理由ハ何デゴザイマスカ、其ノ略式命令ナラ略式命令ヲ出サナケレバナラス、裁判ヲスルニ至ルマデ或ハ警察ニ數十日、數箇月ト云フモノヲ勾留セラレル場合ガヨクアル、サウ云フヤウナ場合ニ、最後ニ僅カ一週間位待テルカ待テナイカト云フ特殊ノ理由ガアリマセウカ、本人ハ望ムト云フテモ、ソレハ一日モ早く釋放セラレタイコトヲ望ムノハ當

然デアリマスガ、警察ノ方デ拘束スルト云フヤウナコトガ、是非ナ問題ナノデアリマス、サウ云フヤウナコトガ其ノ儘行ハレテ居ツタ儘デ、單ニ裁判所ノ手ニ於テ正式裁判ヲ仰ガカ仰ガナイカト云フ判斷ヲスル期間一週間ヲ短縮スルト云フコトガ意味ヲナサヌヤウナ氣モスルノデス、ソコハ如何デアリマスカ、何か特殊ノ理由デモオアリデゴザイマセウカ

○池田政府委員 正式裁判ノ請求ノ拋棄ノ途ヲ開カウト致シマスル趣旨ハ、廣ク申シマスレバ實ハ被告人ノ利益ノ爲メナノデアリマス、何モ司法當局ニ於テ拋棄ヲ獎勵シタリ、又拋棄ヲ決シテ望ンデ居ル譯デハナイノデアリマス、ソシテコトマデシテ裁判ノ確立ヲ早カラシメルト云フヤウナコトハ毛頭考ヘテ居ナイノデアリマス、唯從來ニ於キマスル罰金科料デゴザイマスケレドモ、略式裁判ノ裁判所ニ於キマスル經驗カラ見マシテ、被告人ノ方デ、折角遠方カラ罰金覺悟デ以テ持ツテ來タ、ダカラ歸ルニ付テハ納メテ歸リタイ、斯ウ云フヤウナ者ガアルノデアリマス、ソレヲ拋棄ノ途ヲ開イテ置キマセヌト云フト、今日ニ於テハ七日ノ期間ヲ待タナケレバナラヌト云ツタヤウナ不都合ガゴザイマセヌノデスカラ、ソコデ拋棄ノ途ヲ開クノデゴザイマシテ、實ハ裁判所、檢事局、又司法當局ニ於テモ勿論拋棄ヲ全然望ンデモ居リマセヌ、又ソシテナモノヲ獎勵シヨウト云フヤウナ考ヘハ毛頭ナイノデアリマス、本當ニ是ハ特殊ナ被告人ノ利益ノ爲ニ此ノ途ヲ開カウ、斯様ナ趣旨デアリマス

御尋ネ致シマス、先程モ信正君カラモ御尋ネガアツタヤウデアリマスガ、非常ニ區裁判所デモ忙シイト云フコトハ事實デアリマス、現在此ノ近クデモ八王子ノ如キハ一人ノ判事デ、書記モ一人位ノ人デ、而モ事件ハ經濟事件ガウント多クテ、サウシテ民事ノ事件モ相當アル、ソレヲ全部一人デヤツテ居ル、辯護人モ迎モ忙シクテ、刑事ノ事件ヲ全體デ三十分位デヤツテシマフ、一ツノ事件ニハ三十分位シカ時間ガナイト云フコトデ、辯護ドコロノ騒ギデハナイ、總テ悲鳴ヲ上ガテ居ルト云フ事實ガアル、ソレカラ又辯護人バカリデハナイ、裁判所モ非常ニ御困リノヤウデアリマス、サウ云フコトヲ度々聞クノデアリマス、サウ云フヤウナコトハ唯一ツデハナイト思フ、全國ニ相當アラウト思ヒマス、サウ云フヤウニ區裁判所ノ事件ト云フモノハ非常ニ繁忙デアツテ、之ニ對シテ正確ナ判斷ヲ求メルト云フコトハ無理デヤナイカ、ソレガ最早一審、事實審ハソレデオ終ヒデアル、上告ノ途ハナイト云フコトニナルト、是ハ餘程人民ノ權利、人權ヲ擁護スル上ニ於テ非常ニ恐ルベキデハナイカト云フコトヲ心配スルノデアリマス、殊ニ警察ノ聽取書ト云フモノガ證據ニナツテヤルト云フノデアリマスカラシテ、サウナツテ來ルト云フト間違ヒハ非常ニ多イダラウト思フ、現ニ是ハ最近三重縣ニアツタ例デアリマスガ、三十何人カノ被告ガ區裁判所デ皆重イ二年三年ノ體刑ニ處セラレタ、所ガ控訴シテ、地方裁判所ノ判決デハ皆執行猶豫ニナツタ、事實ヲ調べテ見ルト全然真相ト違フ、或ル行爲ヲヤツタ、ソレハ即チ非常ニ情ノ惡イコトヲヤツタト云フヤウナ一審デハ認定サレ

タ、所ガ調べテ見ルトサウデナイ、オ上ノ諒解ノ下ニヤツテ居ルト云フコトガ分ツテ、皆執行猶豫ニシテシマツタ、一、三前科ノアル者ハ仕方ナイ、輕イ刑ニ處セラレタト云フヤウナ事例ガアル、若シ是ガ單一審デ終ツテシマツテ上告ダケノ途シカナイト云フコトニナレバ、是ハ救ハレマセヌ、成程上告審ニ於テ事實ノ重大ナル誤認ト云フコトニ付テノ途ハアリマスガ、併シ何ニ依ツテ其ノ誤認ヲ判斷シテ貫ヘマスカ、記録ニ依ルヨリ外ナイ、記録カラ見レバ明々白々タル有罪ナラズ、所ガ控訴ニ於テ再調ヲシタ結果其ノ事實ガハツキリシテ來タ、斯ウ云フコトガアルノデアリマスカラシテ、輕々ニ事實審ヲ廢棄スルト云フコトハ由々シキ大事デハナイカト思ハレル、サウ云フ心配ガアルノデス、殊ニ之ニ關聯シテ辯護人ヲ二名ニ制限スルト云フ規定ガ一般的ニ擴張セラレルトコトニナリマス、益、其ノ救濟セラレレル機會ガ薄クナル、戰時特殊ノ犯罪ニ付テ特殊ノ扱ヒヲスルト云フナラ、是ハ刑ノ重クナルノハ一向差支ヘナイト思フケレドモ、一般ノ犯罪ニ付テ略式命令ヲ認メルト共ニ控訴ガ出來ナイト云フコトニナリマス、根本的ニ於テ無辜ノ民ヲ作りハセヌカ、上告スルニハ自ラ上告ノ制限ガアリマス、本當ノ事實ヲ探究スルト云フコトガ困難デハナイカト思フ、區裁判所ニ於テ手ガ十分餘ツテ居ツテ、而モ警察ノ聽取リト云フヤウナモノノミデナシニ、本當ニ十分公判ヲヤツテ御取調ノ結果判斷セラレルナラバ、是ハ或ハ上告ダケデ結構カモ知レマセヌガ、ドウモ今日ノヤウナ現狀ニ於テ、一審ダケニ留メルト云フコトニ付テハ、少ク

トモ區裁判所事件ニ付テハ危險デアリマス、殊ニ本法ノ改正案ニ依レバ、地方裁判所ノ事件ト雖モ本法ノ適用ニ於テ、警察ノ聽取書ト云フモノヲヤハリ用ニ供スルコトガ出來ルヤウニナル、是ガ餘程危險性ヲ増スノデ、地方裁判所事件ニ付キマシテモ、判斷ノ上ニ餘程錯覺ヲ生ズル場合ガ起ツテ來ハシナイカ、之ヲ非常ニ懼レルノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテノ御回答ヲ得タイト思ヒマス

○岩村國務大臣 只今南サンヨリ縷々御意見ガゴザイマシタガ、其ノ中デ重要ト考ヘマシタノハ區裁判所ガ非常ニ忙シイ、此ノ忙シイ上ニ尙ホ忙シクナルノデアルカラ、區裁判所ノ事件ノ審理等ニ付テ不十分ナ點ガ起リハシナイカト云フ御心配デゴザイマシタ、區裁判所ノ事務ハ相當ニ忙シイコトハ御説ノ通りデアリマス、又場所ニ依リマシテハ、色々事件ノ性質等デ特ニ忙シイ所モアラウカト思ヒマス、左様ナ次第デ、此ノ法案ガ通過致シマシテ實施ト云フコトニナリマシタナラバ、區裁判所ノ權限ガ殖エタ爲ニ、是等ノ人員ノ配置ト云フコトハ餘程考ヘナケレバナラヌト思ツテ居リマス、判事ニ付テハ現在、勅令定員内ノ判事ヲ具體的ニドノ裁判所ニドレダケ配置スルカト云フコトハ、是ハ司法大臣ガ決メ得ルコトニナツテ居リマス、各地方ヨリ斯ウ云フ事柄ノ事件ガ近頃殖エタカラ増シテ貫ヒタイト云フヤウナコトノ要求ガ相當ニゴザイマス、全體ヲ勘案致シマシテ定員内ノ判事ヲ適當ニ配置致シテ居リマス、今回ノ法案ガ實施セラレラスト中々區裁判所ガ忙シクナリマス、サウ云フ際ニハ定員内ニ於テ區裁判所ニ十分ノ人員ヲ増シテ配置シタイト云フ考ヘデゴザイマス、尙ホ裁判所構成法ガ先年改正セラレマシテ、裁判所構成法第

二十五條ノ二及ビ三ノ活用デ、現在控訴院長ハ其ノ控訴院管内ニ於テ甲ノ地方ノ裁判所、乙ノ地方ノ裁判所ニ於テ一時ニ勤務セシムルト云フヤウナコトモ出來ルコトニナツテ居リマス、左様ナコトモ只今ノヤウナ御心配ノナイヤウニ十分注意致シタイト考ヘテ居リマス、此ノ點私カラ御答ヘ致シマス

○作田委員長 南君ニ申上ゲマス、大方アナタノ時間ハ切レテ居ルノデスガ、大臣ガ見エタ上デ又御願ヒスルコトニ致シタイト思ヒマス

○南委員 マダ根本問題ニ付テ伺ヒタイコトガゴザイマスガ、一應内務大臣ト同時ニ聽イテ戴キタイト云フ趣旨ノ下ニ質問ヲ留保致シマシテ、次ノ人ニ譲リマス

○作田委員長 濱野清吾君

○濱野(清)委員 先日事前審査ノ時ニ、裁判所構成法ノ改正法律案ヲ提出シタル狙ヒ所ニ關シテ、次官ヨリ御伺ヒ致シタルノデアリマスガ、當時承ツテ居ルト實ニ音樂的ナ「リズムカル」ナ御答辯デアリマシテ、實ハ分ツタ積リテ居ツテマダ分リ切ラナイ所ガアリマスノデ、本日重ネテ質疑ヲ致シタイト思ヒマス

先程來先輩ノ殊ニ法律専門家ト稱スル方々ノ質疑應答ヲ私ハ拜聽シテ居ツタノデアリマスガ、或ハ私ノ質疑ハ其ノ點ニ於テ不足デアルカモ知レマセヌ、併シ只今マデ御質疑ナサツタ方々ハ、皆法律ニ明ルイ方々デアツテ、而モ裁判所等ニ於テ、法律ノ生活ヲシテ居ラレル方々ノ立派ナ御質問デアリマスガ、私ハ全然法律ニハ關係ナイ男デアリマスカラ、本當ノ國民的ナ質問ヲ致シマス、俗ニ謂ヘバ普通ノ人間ガ斯ウ云フ風

ニ裁判所構成法ヲ變ヘラレテ安心出來ルデアラウカ、此ノ問題ニ付テ一點、モウ一ツハ裁判所構成法ト云フ此ノ大事ナ法律ヲ此ノ場合ニ審判制度ニ直シテ行ツテ、殊ニ略式命令ト云フヤウナ權限モ非常ニ大キクシテ、サウシテ 陛下ノ赤子ヲシテ無辜ノ罪ニ苦シメルト云フヤウナコトガ全然ナイト保證ガ出來ルカドウカ、此ノ二點ニ付テ御伺ヒ致シタイノデアリマス

第一點ハ貴族院ニ於ケル大臣ノ提案理由ヲ伺ヒマス、歸スル所速記ヲ見マシテモ、此ノ時局下ニ於テ事務ヲ簡捷ニシテ戦力増強ヲスルノダト云フ御説明デアリマシタ、更ニ事前審査ニ於キマシテモ、次官ノ御答辯ハ出來ルダケ早ク裁判ヲ行ツテ、其ノ裁判ヲシタ人々ニ對シテハ不安ヲ殘サナイヤウナ心境ニ置キ、以テ間接ニ其ノ人々ノ力ヲ總力戰ニ動員スルノダ、ソレガ即チ戦力増強デアアル、斯ウ云フヤウニ拜承致シタルデアリマス、其ノ他判事、檢事、書記等ノ數ガ少イカラ三審制ヲ二審制ニスルト云フ譯デモナイ、且又將來判事、檢事、書記等ノ是等ノ有用ナ人材ヲ他ノ戦力増強ノ部面ニ振向ケテ、サウシテ新タナル戦力増強ヲスルノダト云フヤウナ答辯デモナカツタノデアリマス、色々考ヘテ見マス、斯ウ云フ短期間ノ僅カ三日ノ帝國議會會期中ニ此ノ大キナ裁判所構成法、即チ三審ヲ二審ニ切詰メテ行クト云フヤウナ行キ方ガ、ドウモ私共ニ取リマシテハ無理ナ審議デハナイカトサヘ考ヘラレテ居ルノデアリマスガ、實ハ審議ニ關スル參考資料等ヲ昨日配付ニナツタ次第デアリマシテ、凡ソ同僚先輩ノ諸君ニ於カレマシテモ此ノ資料ヲ以テ二審制度、三審制度ノ結論ヲ檢討シ、而シテ把

握スルデアラウト思フノデアリマスガ、中々調査シ研究スル時間モ御同様ナイコトダト存ジマス、擧ゲテ政府ノ主張ヲ信賴シ、サウシテ吾々ハ贊成スルト云フコトニ相成ルト思フノデアリマスガ、私ノ考ヘヲ以テスレバ、斯ウ云フ大キナ大切ナ法案ハ寧ロ此ノ暮ノ議會ニ御提案ナスツテ、吾々ニ十分資料ニ依ツテ研究スル餘地ヲ與ヘテ與レタ方ガ宜イノデハナイカ、何カ特殊ナ事情ガアルノカ、先程下ナタカニ對スル大臣ノ御答辯中ニハ、或ハ空襲ト云フヤウナ事實ガアツテ、通信機關ナドガ杜絶スル場合モ想定シナケレバナラス、其ノ場合ニ於テハ裁判所ハ之ヲ中止スルト云フコトハ出來マセスカラ、ト云フヤウナ御話デアリマシタ、御尤モナ御話デアリマス、私共ソレヲ中止スルコトハイケナイトハ感ジテ居リマスガ、ソレダケデ而モ三審制度ヲ二審制度ニスルト云フコトハ、私ハ餘リ理由ガ小サイノデハナイカ、ト云フヨリハ寧ロ足ラナイノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

裁判ニ附サレテ若シモ間違ツタ判決ヲ戴キマスレバ、結局上級裁判ニ行ツテ其ノ裁キヲ御願ヒスルヨリ外ナイノデアリマスコトニナリマスレバ、實ニ心淋シイコトデアルト云フコトハ、是ハ全國民ガサウ考ヘラレララウト思フノデアリマス、併シナガラ上級裁判一ツガ無クナツタコトニ依ツテ國民ハ悲觀シナクテモ宜シイ、二審制度デアツテモ三審制度ニ依ツテ判決サレタモノト同様、當然正シイモノトシテヤルコトガ出來ル、斯ウ云フ御考ヘノヤウニ私共拜承シテ居ルノデアリマス、即チ部下ヲ督

勵シ、或ハ識見ヲ能クナル士ヲ以テ之ニ振向ケルト云フ御話デアリマスカラ、左様ナコトダラウト思フノデアリマス、併シ戴キマシタ統計ニ依リマス、吾々ニ併託サレテ居リマス工業所有權法戰時特例案、此ノ改正法律案モ三審制ヲ二審制ニスルト云フ案デアリマス、此ノ案ノ説明ヲ私昨日聽イタノデアリマスガ、是ハ少クトモ經濟關係ニ對スル審判ノ問題デアリマシテ、人ニ對スル審判ノ問題デハナイノデアリマス、ドウモ此ノ點ガ本質的ニ私異ツテ居ル點デアルト思ヒマス、特許ノ問題ニ付キマシテハ、獨占權ヲ與ヘルコトニ依ツテ發明ヲ續行セシメル、獨占ニ依ツテ彼等ニ經濟的ニ利益ヲ與ヘテ、サウシテ公益ヲ圖ツテ行クト云フ所ニ此ノ特許法ノ狙ヒガアツタノデアリマス、而シテ之ヲ今回は同様に二審制ニスルト云フノデアリマスガ、此ノ統計ヲ見マス、十六年度ニ於テ一万九千九百九十七件ト云フ出願ガアル、所ガ此ノ拒絶査定ヲシタモノハ一万八千件、殘ツタモノノ中八百八十件ガ抗告審査請求ガアツタノデアリマスガ、此ノ中百十七件ダケ特許ガ取レテ居ル、併シソレデモ満足セズニ、更ニ其ノ特許ノ取レナイ殘ツタ五百三十ノ中、上告シタ件數ガ二十八件アツタト云フコトデアリマス、サウシテ大審院ノ審理ノ結果、此ノ二十八件ノ中二件ダケガ特許サレルコトニナツテ是ハ成功シタ、斯ウ云フ統計ガ出テ居リマス、二十八件ニ對スル二件デアリマスカラ、〇・七%デアリマス、斯ウ云フ發明者ニ對シテ個人的ナ利益衝動ノ中ニ立タセ、飽クマデモノレニ衝撃ヲ與ヘテ公益ヲ増進シヨウ、斯ウ云フコトデアツテ、今日ノ時局ノ考ヘ方カラ申セバ、特許ガ許サレ

ヨウガ許サレマイガ、國家ノ爲ニ、或ハ戦力
増強ノ爲ニ立派ヲ發明ヲスベキデハナイカ、
シナケレバイカヌデヤナイカ、不可能ヲ可
能ニシヨウト云フ東條サンノ氣持ガ全國民
ニ瀾漫シテ居ル此ノ段階ニ於テハ、サウシ
テ斯ウ云フ改正法律案デアリマスレバ、是
ハ三審制ヲ二審制ニシテモ、何人ト雖モ反對
シタリ、別ノ意見ヲ申上ダタリスルコトハ
ナイト私ハ承知シテ居ルデアリマス、併
シナガラ裁判ノ對象、殊ニ刑事裁判ノ對象
ハ人デアリマス、是ハ算盤勘定テ事務的ニ何
「パーセント」デアルカラ、〇・七%デアルカ
ラ、是等ノモノガ權利ヲ失フコトアリト雖
モ、此ノ場合事務簡捷ヲ見地カラ二審制度ニ
シヨウト云フ譯ニハ行カナイト思フ、相手
方ガ人デアリマスカラ、人ノ名譽、信用ノ
問題デ一ツ間違ヘバ一生其ノ人ヲ臺ナシニ
スルノデアリマスカラ、假令戦時下デアツ
テモ私ハ極メテ慎重ナ法ヲ運営ト、裁判所
ノ構成ニシナケレバ相成ラズト云フ風ニ、
實ハ私考ヘテ居ル次第デアリマス、而シテ
サウ云フ風ニ考ヘテ居ル所ニ、實ハ先程此
ノ統計表ヲ載イタノデアリマス、是ハ昭和
十八年十月ニ出マシタ裁判所構成法戦時特
例中改正法律案、戦時刑事特別法中改正法
律案ノ刑事關係ノ參考資料デアリマスガ、
此ノ中ニ控訴審實績調ト云フノガゴザイマ
ス、其ノ中ノ控訴事件受理、終局及ビ未終
局件數調ト云フノヲ見マス、私ハ總論的
ニ質問シテ居ルノデアリマスカラ控訴審カ
ラ一寸申シマスガ、昭和十三年カラ昭和十
七年マデノ控訴審ノ受理件數ガ合計三万四
千五百八十三件アリマシテ、其ノ中終局ヲ
シテ判決ヲ言渡サレテ居リマスノガ合計二
万四千百アリマス、サウシテ昭和十三年カ

ラ十七年マデノ五箇年平均デハ、刑ノ言渡
シガ四千八百二十、其ノ中デ控訴サレテ無
罪ニナツテ居ルノガ百一十一アリマス、即チ
此ノ五箇年間に實績ニ依リマス、四千八
百二十ノ中デ百一十一ガ無罪ニナツテ居ルト
云フ統計ヲ拜見スルノデアリマス、而シテ
之ヲ百分比ニシマス、一、九ガ無罪ニナツ
テ居リマスガソレハ違ヒマスカ
○池田政府委員 違ヒマス、四千八百二十
ノ中ノ百一十一デアリマセス、一番最後ノ
計ノ五千八百六十一ノ中デ百一十一デス、刑
ノ言渡ハ百人ノ中デ八二・二、無罪ガ百人
ノ中デ一、九デアリマス

○濱野(清)委員 分リマシタ、百人ノ中デ
一、九ダカラ、約二人ノ人々ガ無罪ニナツテ
居ル、斯ウ云フヤウニ控訴審ニ於テモ、百
人ノ中二人ガ無罪ニナルト云フ事實、之ヲ
丁度特許法ノ今度ノ改正法律案ノヤウニ見
テ宜シイカドウカト云フ問題デアリマス、
更ニ大審院ノ方ノ上告ノ記録ヲ見マス、
輕キ刑ニナツタ者ガ四二・九%、無罪、免訴
刑ノ免除ガ三〇・六%、斯ウ云フ數字ガ出テ
來テ居ル、是等ノ數字ヲ見マス、當局ノ
辯明サレテ居リマスル練達堪能ノ職員ヲ以
テシテ、三審制度ニ於テサヘモ此ノ無罪ノ
人々、刑ノ減免ヲ受ケタ人々ガ、兎ニ角此
ノヤウナ數字ニナツテ出テ居ルノデアリマ
ス、斯ウ云フノハモウ一切間違ツテ拂拭サ
レテモ、斯ウ云フ者ガ救ハレナクテモ、此
ノ時局下ニ於テハドウモ已ムヲ得ナイノデ
ハナイカト云フヤウナ御考ヘガ若シアリト
スレバ、是ハ大變ナ間違ヒダト思フノデゴ
ザイマス、ソレデ大臣モ或ハ次官モ先程來
言ハレタ練達堪能ノ士ヲ以テ——斯ウ云フ
統計ニ殘ル三審制度ニ於テサヘ救ハレテ居

ル者ガ出テ居ル、斯ウ云フ者ハ二審制度ニ
シテモアリ得ベキコトヲ期待シテ居ラレル
ヤウデアリマス、ソコデ私ハ一ツ意見ヲ申
上ダタイノデアリマス、人ノ能力ニハ限リ
ガアルノデアリマス、練達堪能ノ士、神ニ
近イ者、假令サウ云フヤウナ方々ガアツタ
トシテモ、結局ハ人デゴザイマスカラ、是
ハ色々方面ニ於テ限度ガアルト思フノデ
アリマス、其ノ限度ヲ補フモノハ私ハ組織
ダト思ツテ居ルノデス、組織ガ其ノ仕事ヲ
正確ニシ、組織ガ寧ろ其ノ責任ヲ持ツテ來
ル、斯ウ云フ風ニ考ヘラレテ御作リニナツ
タノガ、此ノ裁判所構成法ダト私ハ考ヘテ
居リマス、併シソレモ程度ヲ越エルト今日
ノ統制會社ノ組織ノヤウニ、ドウモ如何ハ
シイ議論ガ澤山出テ來ルコトハ當然デアリ
マスガ、私ハサウ云フ人ノ力ノ及バザル力、
人ノ能力以外ノ更ニ高度ノ力、更ニヨリ眞
實ヲ發見シ、或ハ裁判ノ公正ナル力ヲ發揮
スルコトガ、即チ今日行ハレテ居ル一審二
審、三審ノ制度デアルト思フノデアリマス、
其ノ組織ノ力、統制ノ力ト云フモノヲ此ノ
場合三分ノ一ブツタ切ツテシマツテ、サウ
シテ有能達識ノ士ヲ以ツテ埋合ハセルコト
ガ果シテ出來ルカ、若シ 天皇ノ赤子ヲ、其ノ
組織其ノ構成ノ事務的ナ處理ニ依ツテ、二
審制度ニシテ爲ニ、終生拭フコトノ出來ナイ
立場ニ置イタトシタナラバ、是ハ寧ろ今ノ
大臣ハ 天皇ニ對シテ、私ハ責任ヲ負ハナケ
レバナラヌト思フノデアリマス、私ガ斯ク
申シマスノハ、特許法トカ或ハ普通ノ行政
法ナドトハ違ヒマシテ、人ヲ裁判スルモノ
デアル、對象ハ人デアリマシテ、サウ云フ
間違ヘバ拭フコトノ出來ナイ大切ナ裁判ニ
對シマシテハ、戦時下ニ於キマシテモ、之

ラ改正スル必要ハナイノデハナイカ、寧ろ改
正シナイ方ガ宜イノデハナイカト、根本的
ニ相容レナイ考ヘ方デアリマスガ、ソレハ
違フト云フコトナラ、モウ一度一ツ納得ノ
行クヤウナ御答ヘヲ願ヒタイト思フノデア
リマス

○岩村國務大臣 三審制度ヲ二審制度ニ改
メル必要ノコトニ付テハ、先程來色々御
質問ガアリマシテ御答ヘ致シマシタ、多分サ
ウ云フ考ヘ方デアラウカト云フコトヲ交ヘ
テ、色々御意見ヲ伺ツタノデアリマスガ、
無論平時ノ考ヘトシテハ、今日ノ裁判制
度トシテ一ツノ組織ヲ持ツテ、或ハ三審ト云
フ形ガ穩當デアラウト云フ御説ニハ、私モ
同ジ意見ナノデアリマスケレドモ、今日ノ戰
時ノ状態ニ於テ、平時ノ如ク三審ノ制度ヲ
採ツテ居ルベキカ否カニ付テハ、私ハ反對ノ意
見ヲ持ツテ居ル譯デアリマス、先程來裁判ハ
人ニ對スルモノデアルト云フ御話、是モ御
尤モデアリマスガ、其ノ點ハ御意見ノ通りデ
アリマスケレドモ、殊ニ刑事裁判ハ何ヲ一體
法益トシテ居ルカ、何ヲ一體刑罰ニ依ツテ保
護シテ居ルカト云ヘバ、是ハ色々犯罪ニ依
ツテ違ヒマスケレドモ、ヤハリ公ノ秩序、
斯ウ云フコトガ保護ノ對象ニナツテ居ルダラ
ウト思フ、ソレデアリマスカラ、例ヘバ放火罪
ヲ犯シタト云フヤウナ場合ニ、其ノ放火ヲシ
タ人間ヲ調ベルガ、刑罰ニ依ツテ何ガ保護セ
ラレルカト云ヘバヤハリ公ノ秩序、公安ト云
フヤウナモノガ保護ヲセラレルコトニツテ
居ルト思フ、ソレデアリマスカラ裁判制度ハ
其ノ時ノ時勢ニ依ツテ、殊ニ刑法的ノ問題
ハ此ノ時勢ニ於テ、ドウシテ其ノ法益ガ保護
セラレルカト云フコトヲ考ヘナケレバナラ
ヌ、無論保護スル前提トシテ其ノ人ノ行爲ヲ

ラ改正スル必要ハナイノデハナイカ、寧ろ改
正シナイ方ガ宜イノデハナイカト、根本的
ニ相容レナイ考ヘ方デアリマスガ、ソレハ
違フト云フコトナラ、モウ一度一ツ納得ノ
行クヤウナ御答ヘヲ願ヒタイト思フノデア
リマス

ラ改正スル必要ハナイノデハナイカ、寧ろ改
正シナイ方ガ宜イノデハナイカト、根本的
ニ相容レナイ考ヘ方デアリマスガ、ソレハ
違フト云フコトナラ、モウ一度一ツ納得ノ
行クヤウナ御答ヘヲ願ヒタイト思フノデア
リマス

第六類第四號 工業所有權法戦時特例案外三件委員會議錄 第二回 昭和十八年十月二十八日

第六類第四號 工業所有權法戦時特例案外三件委員會議錄 第二回 昭和十八年十月二十八日

第六類第四號 工業所有權法戦時特例案外三件委員會議錄 第二回 昭和十八年十月二十八日

第六類第四號 工業所有權法戦時特例案外三件委員會議錄 第二回 昭和十八年十月二十八日

判斷シテ、事實ノ真相ヲ穿ツテ行クコトハ必要デアリマスケレドモ、ソコハ戰時ニ於ケル刑事裁判ト云フモノニ對スル考ヘ方ガ、私ト遺憾ナガラ意見ガ違フコトニナルダラウト思フ、ソレデアリマスカラ先程モ申シマシタ通り、司法權ト云フモノハドコマデモ、ドンナ事態ガ起ツテモ裁判カ出來ル、最小限ハ司法權ガ行ヘルヤウニシテ置カナケレバナラス、ソレガ爲ニ二審制ヲ採リ、區裁判所カラ出發シタ事件ハ控訴院デ終ルト云フコトニ依ツテ、其ノ一ツノ地域ニ於テ司法權ガ完全ニ行ハレル形ヲ採ラナイト、司法權ガ結局行ヘナイト云フコトニナツテハ相濟マヌ、斯ウ云フノガ先程モ申シマシタケレドモ、私共ノ考ヘ方デアリマス、ソレカラ法益ノ考ヘ方ガ、別ニ私ハ御考ヘハ違ツテハ居ラヌト思ヒマスケレドモ、ドチラニ重キヲ置クカト云ヘバ、被告人、犯人其ノモノヲ大切ニシテヤラナケレバナラスト云フ御考ヘト、無論其ノ點モ人權ノ擁護カラ必要デアルケレドモ、其ノ犯人ヲ罰シテ、其ノ刑罰ニ依ツテ國家ノ法益ト云フモノヲ護ツテ居ルノデアアル、斯ウ云フ考ヘ方ヲ私共ハ採ツテ居ルノデアリマス、ソレデスウ云フ非常ナ戰時狀態ノ場合ニハ、總テノ犯罪ハ無論慎重ニ的確ナ裁判ヲシナケレバナリマセケレドモ、速カニ裁判ガ確定シテ公安ヲ維持スルト云フコトガ、平時ヨリハ必要デハナカラウカ、平常ナラ相當ナコトデアリマシテモ、社會的國家的ニ非常ナ影響ハナクテモ、戰時ノ場合ニハ非常ナ影響ヲ持ツコトガアル、ソレデ色々刑事罰則ガ戰時ニハ相當ニ増加シテ居ル譯デス、ソレデアリマスカラ戰時的ト云

フ所ヲ一ツ十分ニ御諒解ヲ願ツテ、御贊成ヲ願ヒタイノデアリマス

○濱野(清)委員 イヤ大臣ノ仰シヤルコトハ能ク分リマシタ、時代々々ノ法益ハ、其ノ時代々々ノ方法ニ依ツテ擁護シナケレバナラス、私ハ其ノ裁判ニ係ル最モ惡辣ナ奴ガ可哀相ダカラ、三審制度デ延バシテ行ケト云フ意味デハナイノデアリマス、ソレハ能ク分ツテ居ルノデアリマスガ、併シ時代時代ノ法益ヲ如何ニ保護スルカト云フ問題ニ對シテ、裁判所構成法ト云フヤウナ其ノ構成ヲ動かサナイデモ、是ハ出來ルデヤナイカ、例ヘバ專門家ニソシナコトヲ言フコトハ甚ダ失禮デアリマスガ、マア總動員法ノ如キ然リ、其ノ他八十一議會、八十二議會等ニ於テ出タ法案ノ内容ヲ見マスト、事裁判所構成法ト云フ大本ニ斧鉞ヲ加ヘナクテモ、是ハ立法ノ技術デ時代々々ノ法益ハ擁護出來ルデヤナイカ、ソレニ「メス」ヲ入レルト云フコトハ寧ロ其ノ時機デナク、且又入レバキデヤナイノデハナイカ、三審制度ト云フモノガアツテ、初メテ日本ノ裁判所ノ權威ト云フモノガ寧ロ餘計ニ信賴サレテ居ルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデス、ソレカラ先程一審制度、二審制度ト云フモノガ既ニアリマスカラ、是モヤツテモ宜イデヤナイカト云フヤウナ大臣ノ御答ガアツタヤウニ拜聽シテ居リマスガ、アア云フ一審制度、二審制度デ完結スルモノハ、是ハ事案ノ本質ニ依ルモノデアルト私共ハ考ヘテ居リマス、隨テ前ニ一審制度、二審制度デ審判ノ結論ヲ得ルモノガアルカラト云フ理由デ、三審制度ヲ二審制度ニスルト云フ此ノ法律案ニ付テハ、是モ理由ノ

全部ヲナシテ居ナイト思フノデアリマス、ドツチニシテモ私ハ率直ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、法律家デナイカラ能ク分リマセヌガ、是ハ幕ノ議會ニデモ出シテ呉レタ方ガ宜イト思ツテ居リマス、時代々々ノ法益ヲ護ルノハ、ソレハ八十一、八十二議會、或ハ今回モ出テ居リマスガ、サウ云フ手續デヤレバ出來ルノデハナイカ

モウ一ツハ此ノ裁判所構成法ヲ變ヘテ見タカラト云ツテ、直接戰力ノ増強ニドレダケナルト云フ判定ハ出來マイ、寧ロ三審制度ヲ二審制度ニ變ヘテ本當ニ無辜ナ人間ガ救ハレナイ者ガアツタトスレバ、是ハ大變ナコトデハナイカ、私ハ斯ウ思フノデアリマス、犯罪ヲ犯シタ奴ニ成ベク救ハレル機會ヲ與ヘルト云フヤウニ取ラレテハ困ルノデアリマス、ドウセ今晩マデ時間ガアリマスカラ、ユツクリ私個人トシテハ考ヘマスケレドモ、ドウモ戰力ノ直接ノ増強ニナラスシ、大臣ノ考ヘテ居ルヤウナ間接ノ戰力増強ニモ、或ハ期待スルヤウニナラナイノデハナイカ、三審制度ヲ二審制度ニ急速ニ變ヘテ、寧ロ國民ノ不安ガ起キルノデハナイカ、信賴感ガ薄クナルノデハナイカ、サウシテ即決例ト云フヤウナモノト啗合ハセレバ——

尙ホ大臣ノ折角部下ヲ督勵スルト云フ御言葉ハゴザイマスケレドモ、間違ヒガ起ルコトガ多クナリハセヌカ、斯ウ云フ不安モ實ハ持ツテ居ルノデアリマス、是レ以上申シマシテモ意見ノ相違ニナリマセウカラ、私ハ是デ質問ヲ打止メマス

○岩村國務大臣 簡單ニ一寸一言加ヘマス、現在一審、二審、三審ト三ツノ制度ガアル譯デアリマス、一審、二審ハ御説ノ通り其ノ罪質、サウ云フモノガ或ハ國家ノ機密ニ屬スルモノデアルトカ、其ノ犯罪ヲ早く處理シナイト、社會ノ公安ヲ案ルトカ、非常ナ重大ナ影響ヲ與ヘルモノガ一審、二審ニナツテ居ル、私ハ此ノ戰時、此ノ決戰狀態ニ於テハ、一般ノ犯罪ガサウ云ツタ傾向ヲ持ツテ來テ居ルト思フ、ソレデ私ハ一般ノ三審制度ノ事件モ二審制度ニシナケレバナラス状態ニナツテ居ルト思フ、ソレダケヲ私ハ附加ヘテ申上ゲテ置キマス

○作田委員長 松岡君

○松岡(俊)委員 私ハ少シ根本的ナ問題ニナリマスガ、前議會ニ於テ戰時刑事特別法ガ成立シマシテ、私有財産其ノ他ニ付テ極メテ戰時ニ必要ナル問題ニ對スル手當ガ出來タ、今回ノ戰時刑事特別法ノ改正案ニ依ツテ官吏ニ對スル收賄其ノ他ニ付テノ手當モ出來タ、サウシテ立派ニ國民ノ納得スルヤウナ所ニ行ツテ居リマスルガ、唯モウ一點殘ツテ居ル所ガアリハシナイカト思ハレル點ニ付テ御尋ネシテ見タイト思フノデアリマス、ソレハ刑罰ニ觸レルカ觸レナイカト云フコトノ問題ハ別ト致シマシテ、行政官ガ法律ヲ無視スルト云フカ、或ハソレヲ眼中ニ置カナイヤウナ結果ニナルコトヲシタガ爲ニ、國民ガ此ノ影響ヲ頗ル受ケル所ガアルト云フヤウナコトガアリ得ルト思フ、即チ行政官ガ若シ此ノ處置ニ付テ不都合ガアルト思フナラバ、ソレハ行政裁判所ニ行クガ宜シイト云フヤウナ工合ニアツサリト片付ケル問題ガアルト思フ、當然法律及ビ法律ニ等シイヤウナモノニ規定セラレテ居ルコトヲ度外視シテ、越權ヲ處置ヲ行政的ニナシタルガ爲ニ、國民ガ非常ニ影響スル所ガ大キイ問題ガ必ズ出テ居ル、其ノ

行政官ヲ如何ニスベキカト云フ問題ガ戰時中ニ於テ戰力増強ノ上カラ考ヘテモ、國民ニ眞ニ安心セシムル上カラ言ツテモ、手當ガ何等カ考ヘラルベキモノデハナイカト思フ、前議會ニ於テアレダケノ問題ガ解決サレ、今回ニ於テ此ノ官吏ノ收賄ニ對スル十分手當ガ加重サレテ居ル、斯ウ云フ工合ニナツテ居ル時ニ、官吏ガ其ノ處置スルコトガ法ヲ外レタ、又法律ニ等シイコトヲ眼中ニ置カズシテヤツタガ爲ニ國民ガ非常ニ迷惑ヲ起シタ時ニ、官吏ハ動トモスルトソレハ行政裁判所ヘ行ケ、サウ云フコトニナレバ行政裁判所ニ行ツテ是ガ審理セラレテ行キマスル時ニハ、モウ其ノ官吏ハ何處ヘ行ツテ居ルカ分ラナイト云フヤウナ結果ニナツテ當テガ分ラナイ、有耶無耶ノ裡ニ終ルヤウナコトガ多々アルト思フノデアリマス、之ニ對スル手當ハ國民ノ戰力増強ノ上ニ少クトモ前議會ノ法案、今回ノ改正案相伴ツテ行フベキモノデハナイカ、此ノ一ツダケガ殘ツテ居ルカノヤウニ私ハ思フノデアリマス、之ニ對スル御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○大森政府委員 只今ノ御言葉ノ御趣旨ハ官吏ガ其ノ職務ノ執行ニ當リマシテ著シキ不當ノ行爲ヲナシマシタ場合ニ、今日御承知ノヤウニ懲戒ノ處置ノアルコトハ當然デアリマスケレドモ、其ノ外ニ進シテ之ヲ刑罰トシテ取上ガテハドウカ、左様ナ意思ヲキヤ、斯ウ云フヤウナ御趣旨ノヤウニ拜聽致シマシタ、是ハ御尤モノコトデアリマス、懲戒制度ノ外ニ、之ヲ以テ足リルモノトハシナイデ、更ニ進シテ刑罰トシテ考ヘナケレバナラヌト云フコトモ、少クトモ戰時ニ於テハ大イニ研究スベキ一事項ダラウト思フ

フノデアリマス、而モ是ガ國民ノ士氣ニ重大ナル影響ヲ及ボス、生産ノ増強ニ多大ノ支障ヲ及ボスト云フヤウナ重大な場合、單ニ之ヲ懲戒ノミニ止メテ置クト云フコトハ固ヨリ妥當デハナイヤウニ存ジマス、唯併シ此ノ官吏ノ懲戒ト離レテ之ヲ刑罰ニスルト云フコトニ付キマシテハ、相當慎重ニ研究調査ヲ重ネナケレバナラナイノデアリマス、私共邊ニ今日其ノ可否ヲ明言スル用意ハナイノデアリマス、併シ十分ニ考慮ヲシタイト思フノデアリマシテ、今日司法省内ニアリマスル民刑兩法典ノ徹底的根本的ノ再檢討ニ付キマシテハ、是等十分ニ論議ヲシタイト思ツテ居リマス、斯様ナ問題ハ中一朝夕ニハ決シ兼ネル問題デアリマシテ、殊ニ短期間ニ之ヲ提出スルト云フコトハ不可能カト存ズルノデアリマス

○大森政府委員 御許シヲ得テ一寸一言申添ヘタイノデアリマス、只今ノ問題ニ付テ現ニ司法省ニ於テ委員會ノ議題トシテ研究ヲシテ居ルト云フコトハ、是ハ間違ヒデアリマス、私ノ申上ガ方ガ悪カツタノカモ知レマセヌ、研究ノ價值アル問題トシテ今後研究ハシナケレバナラニマスマイケレドモ、現ニ議題トシテ研究中ト云フコトハナイ、斯様ニ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

○松岡(俊)委員 只今ノ御答辯ニ依ツテ私ハ中ニ刑罰ヲ以テ臨ムト云フコトガ良イカ悪イカト云フコトハ、是ハ專門家デアリマセスカラ分リマセヌガ、少クトモ行政裁判所ニ付テ行ケ、又付ツテ行カレベキモノデアリマス、斯ウ云フ按配ニ總テノ問題ガ簡素化サレナケレバナラヌト凡ユル方面カラ考慮サレテ居ル時、サウ云フ分り切ツタ法ヲ逸脱シタヤウナコトニ因ツテ國民ニ影響ヲ及ボスヤウナコトハ、サウ譯山ナカラウト思ヒマスケレドモ、アレバソレハ非常ニ弊害ガ大キイモノダト思フ、ソレハ行政裁判所ニ行ケト云フヤウナコトハ甚ダ當ラ得ナイ、國民ガ戰時デアアルガ故ニ已ムヲ得ズシテ我慢スルト云フヤウナコトニサセラルコトハ宜クナイデヤナイカ、斯ウ思ヒマセガ、只今ノヤウニ此ノ問題ガ問題トナツテ目下司法省内ノ審議會ニ議題トナツテ居ラレルヤウニ拜承致シマシタノデ、洵ニ私ハ喜バシイコトト思ヒマス、是ハ當然是ダケハ一ツ殘サレタル問題ダト思ヒマス、私ハ此ノ點ニ付テ只今ノ御答辯ヲ了承致シマシテ終リマス

○大森政府委員 御許シヲ得テ一寸一言申添ヘタイノデアリマス、只今ノ問題ニ付テ現ニ司法省ニ於テ委員會ノ議題トシテ研究ヲシテ居ルト云フコトハ、是ハ間違ヒデアリマス、私ノ申上ガ方ガ悪カツタノカモ知レマセヌ、研究ノ價值アル問題トシテ今後研究ハシナケレバナラニマスマイケレドモ、現ニ議題トシテ研究中ト云フコトハナイ、斯様ニ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

ク者ガ出来ル、苛酷、苛察ノ裁判ニ泣ク者ガ相當出来テ来ルト云フコトニナル、私ハソレガ總テ裁判ノ威信ヲ落ス結果ニナリハセヌカト云フコトヲ非常ニ惧レル譯ナンデス、又二審制度ノ實情、即チ御示シニナツタ資料ニ依ツテ考ヘテ見マシテモ、控訴事件ノ四八%ハ輕キ刑ノ言渡ガアリマス、言換ヘルト、一審ニ於テハ

重キ刑ノ言渡ガアツタ譯ナンデス、又其中ノ一・八%ハ無罪ノ判決ガアツタ譯ナンデス、斯様ナ結果カラ見マス、略式ハ更ニ苛酷、苛察ノ判決ニナラヌト云フコトハ、自然ノ歸趨デハナイカト思ハレル譯ナノデアリマス、畏多クモ御一新ノ勅語ニハ「天下億兆一人モ其處ヲ得サル時ハ皆朕カ罪ナレハ」ト仰セ給ツテ居ルノデアリマス、此ノ有難イ大御心ヲ考ヘ、裁判ノ正道ダト云フコトニ思ヒテ致シマスナラバ、今次ノ此ノ改正ト云フモノハ極メテ重大ナモノダト思ヒマス、殊ニ此ノ短期ノ議會ニ斯様ナ重大ナ法案ヲ提案セラレ、而モ之ヲ速カニ審議セラレンコトヲ要望セラレルト云フコトハ、當局ノ責任極メテ重大ダト思ヒマス、隨テ裁判ノ威信ノ見地カラ、更ニ當局ノ之ニ對スル確乎タル信念ヲ御伺ヒ致シタイト思フノデアリマス

○岩村國務大臣 只今田中サンヨリ司法ノ威信ト云フコトニ付テ、非常ニ御心配ニナツテ種々御意見ガアリマシタ、之ヲ要スルニ運用ニ注意ヲシナケレバナラヌト云フコトニ歸スルト思ヒマス、只今種々ノ點ヨリ御意見ノアリマシタ所ハ十分ニ私共御味ヲ致シマシテ、運用ニ付テハ十分注意ヲ致ス積リデゴザイマス、此ノ短期ノ議會ニ斯様ナ重要ナ法案ヲ提出シタコトニ付キマシテ

ノ責任ニ付テハ、是ハ私提案ヲ致シテ居リマスノデ、十分ニ其ノ責任ヲ感ジ、此ノ法律ノ運用ニ付テハ十分ノ效果ヲ收メ得ル確信ヲ致シテ居リマス、ドウカ其ノ點ハ御信用ヲ願ヒタイト思ヒマス

○信正委員 手續上ノ問題デ重要ナコトヲ御尋ネ漏ラシタノデ伺ヒマス、ソレハ正式裁判ノ請求ニ關シテ、拘留中或ハ檢束中ニ被告人ガナス正式裁判申立手續ニ付テノ規定ガナイ、此ノ點ニ付テ御伺ヒテ致シテ置キマス、此ノ案文ヲ拜見シマス、正式裁判ノ請求手續ニ付キマシテハ、刑事訴訟法ノ五百二十八條、五百三十一條、五百三十三條等ヲ準用セラレルコトニナツテ居リマス、五百二十八條ヲ見マス、正式裁判ノ請求ハ書面ヲ以テ之ヲナスコトナツテ居ルガ、五百三十一條ヲ見マス、正式裁判ノ請求ハ法律上ノ方式ニ違反シタルトキハ決定ヲ以テ之ヲ棄却スベシ、斯ウ云フ趣旨ニナツテ居リマス、五百三十三條ニ依リマス、請求期間ノ經過ニ因リテ確定判決ト同一ノ效力ヲ生ズルト云フ旨ノ規定ガアリマス、ソコデ正式裁判ノ請求ヲ致シマスノニ付テハ、請求期間内ニ請求ヲシナケレバナラナイシ、相當ノ書式モ知ラナケレバナラナイノデ非常ニ難カシイコトニナツテ居ルノデアリマス、拘留中ノ被告人ガ此ノ手續ヲスルノニハ一體ドウ云フ風ニシテスルノデアルカ、況シテ警察ニ檢束サレテ居リマス檢束中ノ被告人ガ正式裁判ノ請求ヲスルノニハドンドン風ニシテスルノカ、是ハ私ハ外ニ何カ適當ナコトガアツテ、ソレヲ知ラナイノカモ分リマセヌガ、此ノ改正案ダケヲ見タノデハドウモ分リマセヌ、元來刑事訴訟法ニ於キマシテハ、斯ウ云フ場合ノ

コトニモ慮リヲセラレマシテ、是ハ控訴上告ノ申立ノ場合デアリマスケレドモ、三百九十一條ニ定メテ置イテ、勾留中ノ被告人ガ控訴上告ノ申立ヲスルトキニハ監獄ノ長ヲ經由シテ申立書ヲ差出シ、被告人自ラ申立書ヲ作ルコトガ出来ナイヤウナ時ニハ、監獄ノ長或ハ其ノ代理者ヲシテ代書セシメル、斯ウ云フコトヲ規定セラレテ居リマス、是ハ成程無筆ノ被告人モ居ル譯デアリマス、又紙モ筆モ持ツテ居ナイト云フ被告人モ居ル譯デアリマス、ドウシテモ紙ト筆トガナケレバ正式裁判ノ申立ヲ書クコトガ出来ナイ間ニ、一週間ノ日ニテフコトニナツテシマフノデハ大變ナ問題デアル、曩ノ違警罪即決處分ニ付キマシテ斯ウ云フ風ナコトヲ慮ツタコトデゴザイマセウガ、即決處分ノアツタ場合ニハ、家族ノ者カラデモ正式裁判ノ申立ヲスルコトガ出来ル、斯ウ云フヤウナコトヲ規定シテ居ル、是等ハ非常ニ親切ナ規定デアル、斯様ナ規定ノナイ限リニ於キマシテハ、勾留者ハ本人カラドウスルコトモ出来ナイ、是ハ餘程御考慮ヲ願ハナケレバナラヌノデハナイカト思フ、殊ニ檢束處分中ノ場合ナドハ、周圍ノ者ガドチラカト言ヘバ、正式裁判ノ申立ニ餘リ好感ヲ持タナイ人ガ周圍ニ居ル、ソナチ中ニ於テ墨モ筆モ紙モナイノニ何トカシナケレバナラナイ、デスカラ茲ニ何等カノ明文規定ガナイ場合ニ於キマシテハ、拘束セラレテ居ル場合ニ於テ周圍ノ誰カ親切ニ頼ツテ初メテ紙ヲ貸シテ貰ヒ、筆ヲ貸シテ貰ヒ、書式ヲ教ヘテ貰ツテ漸ク辛ウジテ申立ヲナスコトガ出来得ルト云フ譯デス、他人ノ親

切ニ俟ツヨリ外ニ途ガナイ、是デハ私ハ此ノ重大ナ正式裁判ノ請求手續ニ於テ果シテドウカト思フノデス、若シ外ニ明文ガアツテ私ガ知ラナイノデアリマスナラバ、是ハ洵ニ幸セデアリマス、若シ其ノ點ニ付キマシテ明文ガナイノダト致シマスナラバ、何等カ規定ヲ置イテ戴キタイ、御質問デアルト同時ニ是ハ御相談デモアリマスガ、何トカシテヤツテ戴カヌト云フト、一週間ト云フ短カイ期間ニハドウスルコトモ出来ナイ、此ノ點ニ付キマシテ御伺ヒ申上ゲマス

○池田政府委員 略式手續ニ依リマシテ出サレマシタ略式命令ニ對シマスル正式裁判ノ申立ノ運デゴザイマスガ、被告人ガ勾留サレテ居リマスル場合ニ於キマシテハ、刑務所ノ長ヲ通ジマシテ勿論略式命令ノ謄本ヲ本人ニ交付スルコトガ可能デアリマス、隨ヒマシテ本人ニ於テハヤハリ刑務所ノ長ヲ通ジマシテ正式裁判ノ申立ヲナスコトガ優ニ出来ルト考ヘテ居ル譯デス、左様ナ次第モゴザイマシテ、特ニ其ノ勾留中ノ被告人ニ對シマスル正式裁判ノ申立ノ方法手續ニ付テノ規定ノ必要ナキモノト考ヘマシテ、此ノ案ニ於キマシテハ別段ノ明文ヲ設ケナカツタ次第デゴザイマス

○信正委員 サウシマス、刑事訴訟法ニハ三百九十一條ニ上訴ノ規定ガアルノデゴザイマス、明白ニ本人ガ字ヲ書クコトガ出来ナケレバ代書シテヤルト云フヤウナコトガ書イテアル、明文ガアル、ソレガ三百九十一條マデハ準用セラレルコトニナツテ居ツテ、三百九十一條ハ今度ノ改正案デハ準用セラレナイ、此ノ三百九十一條モ準用スルト云フ風ナコトニ御書キニナツテ置カレマス、字ノ書ケナイ者モ看守ノ人ニデモ字

ヲ書イテ貫ヘマス、筆毛紙毛宛テガツテ貫ヘマスケレドモ、斯ウ云フヤウナ條文ガアルニ拘ラズ、サウ云フヤウナモノハ準用シナイ、斯ウ云フヤウニナツテ參リマスルトドウカト思フ、ソレカラ只今ノヤウナ御言葉モアリマスケレドモ、警察ニ檢束處分申ノ者ハドウナルカ、是モ手モ足モ出ナイコトニナル、是ハ何トカ一ツ明文ヲ以テ、ソナ薄情ナ人ハ居ラナイコトヲ期待致シマスルガ、折角法律ヲ斯ウ云フ風ニ御作リニナルノデスカラ、サウ云フ風ナ手續ノ隅々ニ至ルマデ、何ノ憂ヒモナイヤウニシテヤル必要ガアルノデハナイカ、外ノ法律デモ完全ニサウ云フ風ニヤツテ居ル例カラ見マシテモ、此ノ法律デモヤハリ同ジクサウ云フヤウナ所ヲ親切ニ規定シテヤツテハドウカ、斯ウ思ヒマス

○池田政府委員 勾留中ノ被告人ノ正式裁判ノ途デゴザイマスケレドモ、運用ニ依リマシテ先程御指摘ニ相成リマシタ刑事訴訟法三百九十一條ノ同様ノコトニナルカト思ヒマス、尙ホ例ヘバ刑事訴訟法ノ五百二十三條ノ末項デゴザイマスケレドモ、本人ニ略式命令ノ贖本ヲ交付スルト云フコトモ可能デゴザイマスノデ、刑務所ニ勾留シテアリマス被告ニ付キマシテハ、便宜裁判所ニ於テ呼出シマシテ、サウシテ裁判書記カラ略式命令ヲ正式ニ正確ニ交付スルト云フコトガ可能デゴザイマス、尙、只今御觸レニナリマシタ如キコトハナイ、斯様ニ信ジテ別段ノ規定ヲシナカッタ次第デゴザイマス

尙ホ檢束ノ問題デゴザイマスケレドモ、略式命令ヲ請求シマス場合ニ檢束ト云フコトハアリ得ナイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、略式命令ヲ請求致シマス場合ニハ、

檢束ガ必ズ被告ノ身柄ヲ受取ル譯デアリマス、檢束ト云フコトハアリ得ナイ、假ニ檢束中デゴザイマシテモ、檢束ガ身柄ヲ引取ルノデゴザイマスカラ、略式命令ヲ請求後ニ於テハ檢束ト云フコトハアリ得ナイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○中井間委員 簡單デアリマスガ、私ハ條文ニ付テ、此ノ身分ヲ表示スル新シイ條文ガ出テ居リマスカラ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス、即チ第十八條ノ六デゴザイマス、其ノ後段ニ「公務ニ従事スル職員ハ法令ニ依ラザル者ト雖モ之ヲ公務員ト看做ス」公務員ノ擬制ガ出テ居リマス、ソレト其ノ次ノ條文ノ第十八條ノ七ニ「第十八條ノ二ノ規定ハ他ノ法令ニ於テ官吏ト看做サル者ヲ除クノ外、其ノ下デアリマス、」他ノ法令ニ於テ法令ニ依リ公務ニ従事スル職員ト看做サル者ニ付テハ之ヲ適用セズ、第一ニ公務ニ従事スル職員ハ法令ニ依ラザル者ト雖モ之ヲ公務員ト看做スト云フノハ何ヲ對象トシテ居ラレカ、例ヘバドウ云フ者ガ主デアアルカト云フ點ト、ソレカラ十八條ノ七ノ後段ノ法令ニ依リ公務ニ従事スル職員ト看做サル者ニ付テハ之ヲ適用セズ

○池田政府委員 御尋ネノ第一點デゴザイマスガ、公務ニ従事スル職員、詰リ法令ニ依ラズシテ公務ニ従事スル職員ト申シマスノハ、具體的ニ例示致シマスレバ、各省ニ於テ公務ニ従事シテ居リマス嘱託員ノ如キ者デアリマス、御承知デモゴザイマス通りニ、從來大審院ノ判例ニ於キマシテ、公務ニ従事スル職員デアツテモ、其ノ任用資格ニ付テ法令ノ根據ノナイ場合ニ於テハ、ソレハ公務員ト看ルコトハ出來ヌ、斯ウ云フ

ヤウナ判例ガゴザイマス、現在例ヘバ各省ニ於キマシテ、定員ノ關係ナドモゴザイマセウ、法令ニ根據ナクシテ公務ニ従事スル嘱託員ナドガゴザイマス、而モ其ノ實質ハ立派ニ高等官ナリ、或ハ判任官ナリノ不定數量ノ仕事ニ従事シテ居ル、斯様ナ者ニ付キマシテ法規ノ伸縮ヲ更ニ刑事的ナ立場カラモ伸縮スルト云フ意味ニ於キマシテ、公務ニ従事スル職員ハ法令ニ依リマセヌデモ尙ホ公務員ト看做ス、斯様ナ趣旨デゴザイマス

ソレカラ第十八條ノ七ノ「他ノ法令ニ於テ法令ニ依ル公務ニ従事スル職員ト看做サル者」ト云フノハ、之ヲ例示シマス、臨時資金調整法ノ第五條、外國爲替管理法ノ第六條、日本銀行法ノ第十九條、産業設備營團法ノ第十六條、交易營團法ノ第二十二條、日本證券取引所法ノ第二十條、戰時金融庫法ノ第十八條、或ハ木船保險法ノ第十條等ニ於キマシテ、ソレ等ノ統制團體ノ役員ハ罰則ノ適用ニ付テハ法令ニ依ツテ公務ニ従事スル職員ト看做スト云フ規定ガ設ケラレテ居ルノデアリマス、此ノ第十八條ノ七ハ、即チソレ等ノ看做サル者ニ對シマシテハ此ノ戰時刑事特別法ニ規定致サントスル瀆職ノ刑ヲ以テセズニ、暫ク現行刑法ノ百九十七條以下ノ瀆職罪ニ對スル刑罰ヲ以テ一應臨ム、斯様ナ趣旨デゴザイマス

○仲井間委員 尙ホ第十八條ノ六ノ詰リ法令ニ依ラザル者ノ公務ニ従事スル者ト、法令ニ依ツテ公務ニ従事スル職員ト、ソコニ法ノ適用ヲ區別シテ居ルヤウデスガ、モウ少シソレヲハツキリ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○池田政府委員 第十八條ノ六ニ規定致シテアリマスルモノハ、是ハ本來ノ公務ニ従事シテ居ル職員デゴザイマス、所ガ第十八條ノ七ノ方ハ法律ニ依ツテ、罰則ノ適用ニ付テダケ公務ニ従事スル職員ト看做サレル譯デゴザイマス、詰リ其ノ組織ナリ、或ハ訓練ナリ、或ハ其ノ監督、色々ナ點カラ見マシテ、他ノ法令ニ依ツテ公務ニ従事スル職員ト看做サレル者ニ付キマシテハ、本來ノ公務員ト異ナリ、此ノ戰時刑事特別法ノ重罰ヲ以テ臨ム程ノ必要ガナイト考ヘル次第デアリマス

○仲井間委員 サウスルト此ノ二ツハ、第十八條ノ七ハ既ニ從來公務ニ従事スル職員ト看做サレタモノデアツテ、第十八條ノ六ハ此ノ法律デ初メテ公務員ト看做サレル、斯ウ云フ譯デアリマスカ、其ノ區別ガハツキリシナイ

○池田政府委員 十八條ノ六ノ方ハ形式的ニ見マスレバ本改正案ニ依ツテ公務員トナツタノデゴザイマスケレドモ、是ハモウ實質的ニ見マシテ純粹ノ公務員ト全然變リハナイノデゴザイマス

○仲井間委員 御説明デ能ク分リマシタガ、條文デ見ルト第十八條ノ七ニ「法令ニ依リ公務ニ従事スル職員」トアリマスカラ全然區別ガナイヤウニ思フノデアリマス、ソコデ斯ウ云フ場合ハドウデアリマスカ、衆議院議員ハ公務員ニ間違ヒハアリマセヌガ、各省委員トシテ任命サレタ者ハ、其ノ各省トノ關係ニ付テハドウ云フ身分關係ニナル譯デアリマセウカ

○池田政府委員 各省ノ委員ハ御承知デモゴザイマス通りニ、官制ニ依ツテ設置サレテ居ルノデアリマス、詰リ法令ニ依ツテ公

務ニ從事スル職員ニナリマス、是ハ從來十
八條ノ六トハ無關係デアリマシテ、現行刑
法ニ依ツテ既ニサウデアリマス、但シ第十
八條ノ三ノ新シイ斡旋行為ニ關シマスル規
定、此ノ官公署ノ職員ニハ各省ノ委員ハ包
含サレナイノデゴザイマス

○作田委員長 懇談ノ爲ニ暫時休憩致シマス
午後三時二十五分休憩

午後五時十八分開議

○作田委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キ
マス——中井一夫君

○中井(一)委員 今朝來、本案ニ付キマシテ
ハ、同僚議員諸君カラ多種多面ノ問題ニ付
テ殘リナク質問ガアリ、政府亦之ニ對シテ
御答辯ガアツタノデゴザイマス、私個人ト致
シマシテハ此ノ法案ニ付テ尙ホ御尋ネラシ
テ、其ノ疑ヒヲ質シタイコトモアルノデア
リマスケレドモ、委員會ノ空氣ヲ察シマシ
テ之ヲ取止メルコトニ致シ、此ノ際委員會
ノ各位ノ總意ヲ代表致シマシテ、數點ノ問
題ニ付テ御尋ネラ致シ、政府ノ御明答ヲ得
タイト思フノデゴザイマス

第一ノ問題ハ、御提案ニナリマシタ特別
法ニ關シテ委員會ノ各位ノ懸念セラレル所
ハ、三審制度ヲ廢シテ二審制度ニシ、又略
式命令手續ヲ擴張シテ體刑ニマデ之ヲ延バ
サレル、其ノ結果裁判所ニ於ケル事務ハ極
メテ簡單ニナリ簡素化サレルコトニハナリ
マセウケレドモ、大キナ問題ガ殘リハセヌ
カ、即チ裁判ガ拙速ニナツテ國民ハ裁判ヲ
信賴シナクナリ、怨嗟ノ聲到ル處ニ滿ツル
ノデハナイカ、斯クナリマシタ場合、茲ニ
國家ノ爲ニ由々シキ問題ガ起リハセヌカ、
吾々ハ君國ノ時局重大デアルコトヲ深く思

ヒマスルガ故ニコソ、今日國民ノ最モ信賴
ノ厚イ此ノ裁判事務、裁判所、延イテハ司
法省ノ諸關係、是等ダケハ此ノ際飽クマデ
モ之ヲ堅持シテ、如何ナル問題ガアツテモ、
裁判所儼トシテ居ル限リ君國ハ安泰ナノダ
ト云フ氣持ニ致シタイ、本案ノ目的ハソレ
ニ適合スルデアラウカト云フ一點ニ歸スル
ノデアリマス、政府ノ御答辯ニ依リマスレ
バ、運營ノ上ニ付テ右様ノ心配ナキヲ期ス
ルトノ御説明デゴザイマシタ、既ニ此ノ劃
期的ナル大改正ヲナサツタ以上、司法當局
ノ責任タルヤ極メテ重大デアリマス、本案
提案サレマシテ以來、重大ナル部分ニ於テ修
正意見ハ議會内ニ充チ滿チマシタコトモ、
私ハ決シテ無理カラスコトデアリ、此ノ議
論出デテ初メテ議會ノ、議員ノ職責モ全ウ
シ得ラレルモノデハナイカトサヘ考ヘタ程
デアリマス、重ネテ申上ゲマス、此ノ法案
ヲ假ニ此ノ議會ニ於テ無事無修正ニテ通過
シタリトテ、ソレハ司法當局ガ責任ヲ以テ
其ノ過チナキコトヲ期スルトノ御言明ヲ信
ジタカラデアリマス、隨テ當局ノ此ノ運營
ニ於ケル責任タルヤ極メテ重大デアルト云
フコトヲ重ネテ申上ゲテ置キタイノデアリ
マス、就キマシテハ具體的ナ問題ニ入ツテ
四、五點御尋ネラ致シマスガ、其ノ第一ハ
誤リナキヲ期スル運營上ノ問題デアリマス、
大臣初メ司法當局ノ方々ハ、責任ヲ以テ御
言明ニナリマシタガ、此ノ御言明ヲ如何ニ
シテ實現スルコトガ出來ルカト云フコトニ
付テノ御尋ネナノデアリマス、ソコデ其ノ
前提トシテ御尋ネ致シタイノハ、曩ノ第七
十九帝國議會ニ於テ戰時特別法、裁判所構
成法ノ戰時特別、戰時民事特別法、裁判
所構成法ノ戰時特別等ノ御提案ガアリマシ

タ時ニ、同僚原物兵衛君カラ數箇ノ事項ヲ
擧ゲテ御質問ヲ致シテ居リマシテ、之ニ對
シテ大臣竝ニ當路ノ方々カラ御答辯ノアツ
タコトガ速記録ニ於テ明カニナツテ居リマ
ス、大臣ノ御答ヘト致シマシテ斯ウ申シテ
居ラレマス「第七ノ御尋ネハ略式命令ニ對
スル正式裁判ノ申立ヲ妨ゲ又ハ申立アリタ
ル場合之ガ取下ヲ勸告シ若ハ辯護權ノ制限
ヲ爲スガ如キ事例アリ、斯ノ如キコトヲ絶
滅スル様之ガ運用ニ付具體策ヲ示サレ度シ
ト云フ御尋ネデアアツタト存ジマス、之ニ對
シテ御答ヘ申上ゲマス、是亦御趣旨ハ全ク御
同感デアリマシテ、訓令モ致シマセウシ、
又司法官、會同其ノ他凡ユル機會ヲ利用致シ
マシテ、其ノ徹底ヲ圖ル覺悟デアリマス」
斯様ニ申シテ居ラレルノデアリマスガ、之
ニ基ク司法省ノ御處置ハ其ノ後如何ニナリ
マシタカ、之ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○岩村國務大臣 只今中井サンヨリ本法案
ガ通過シタ後ニ於テハ、此ノ運營ニ付テ非
常ニ司法部ノ責任ノ重キコトヲ仰セナリ
マシタガ、私モ其ノ點ハ痛感ヲ致シテ居リ
マス、非常ニ重イ責任ヲ負擔スルコトヲ覺
悟致シテ居リマス、又最後ニ七十九議會ニ
於テ原代議士ヨリ色々御質問ガアリマシテ、
御答ヘ致シマシタコトハ、其ノ後機會アル
毎ニ部内職員ニ傳達致シマシテ、出來ルダ
ケ努力ヲ致シテ居リマス

○中井(一)委員 速記録ニ依リマス、只
今ノ大臣ノ御答辯ノ次ニ斯様ナ御答辯ガア
リマス「第八ノ御質問ハ戰時刑事特別法第
二十條但書ノ運用ニ付已ムコトヲ得ザル事
由ト許可トノ點ニ付裁判ノ審理遲延ノ爲ナ
ラズ又其ノ恐レナキ場合ニハ原則トシテ已
ムコトヲ得ザル事由アリトシテ許可セラル

ル様訓令又ハ司法官會同等ニテ明白ニスル
意思ナキヤト云フ御質問デアアツタト思ヒマ
ス、之ニ對シテ御答ヘ申上ゲマス、全然御
趣旨ノ通りデアリマシテ、此ノ已ムコトヲ
得ザルノ字句ハ決シテ狹義ニ解スベキモノ
デハナイノデアリマス、右立案ノ趣旨ハ是
亦凡ユル機會ニ部内ニ十分ノ徹底ヲ圖ツテ
參リタイト存ジマス」斯様ニゴザイマシテ、
此ノ御答辯ニ付キマシテハ是ト同趣旨ノ
御答辯ガ池田政府委員ヨリ、内藤正剛委員
ノ質問ニ對シテモアルコトガ速記録ノ上デ
明カトナツテ居リマス、就キマシテハ御伺
ヒ致シタイコトハ、先程御尋ネ致シマシタ
問題、竝ニ只今御尋ネ致シマシタ問題ニ付
テ、其ノ御訓令等ガ部下判檢事諸君ニ對シテ
徹底ヲ致シテ居ルノデアリマセウカドウカ、
此ノコトヲ承ツテ置キタイト存ジマス

○岩村國務大臣 只今御尋ネノアリマシタ
戰時刑事特別法第二十條但書ノ規定ニ關シ
テ、實際ノ運營ガ如何ニナツテ居ルカ、又
ドウ云フヤウニ部内ニ徹底セシメテ居ルカ
ト云フコトニ付デアリマス、戰時刑事特
別法第二十條但書ノ規定ノ解釋、運用ニ付
キマシテハ、曩ニ御審議ヲ煩ハシマシタ際言
明申上ゲタ趣旨ノ、一層ノ徹底ニハ努メテ
居ル積リデアリマス、今日ニ於キマシテモ、
機會アル毎ニ此ノ趣旨ノコトハ部内ノ關係
諸君ニハ能ク傳達ハ致シテ居リマス、澤山
ノコトデアリマスカラ、或ハ中ニ一、二ノ
御満足ノ行カナイヤウナ事實ガアルカモ知
レマセヌガ、將來ニ於テモ出來ルダケ努力
ヲ致シ、左様ナコトノナイヤウニ努メル積
リデゴザイマス、御諒承ヲ願ヒマス

○中井(一)委員 先程略式命令ニ關シマシ
テ、其ノ正式裁判ノ手續ヲナスコトノ拋棄

ル様訓令又ハ司法官會同等ニテ明白ニスル
意思ナキヤト云フ御質問デアアツタト思ヒマ
ス、之ニ對シテ御答ヘ申上ゲマス、全然御
趣旨ノ通りデアリマシテ、此ノ已ムコトヲ
得ザルノ字句ハ決シテ狹義ニ解スベキモノ
デハナイノデアリマス、右立案ノ趣旨ハ是
亦凡ユル機會ニ部内ニ十分ノ徹底ヲ圖ツテ
參リタイト存ジマス」斯様ニゴザイマシテ、
此ノ御答辯ニ付キマシテハ是ト同趣旨ノ
御答辯ガ池田政府委員ヨリ、内藤正剛委員
ノ質問ニ對シテモアルコトガ速記録ノ上デ
明カトナツテ居リマス、就キマシテハ御伺
ヒ致シタイコトハ、先程御尋ネ致シマシタ
問題、竝ニ只今御尋ネ致シマシタ問題ニ付
テ、其ノ御訓令等ガ部下判檢事諸君ニ對シテ
徹底ヲ致シテ居ルノデアリマセウカドウカ、
此ノコトヲ承ツテ置キタイト存ジマス

ヲ關係官等が強要致シタ場合ニ於テハドウ
スルカト云フ同僚諸君カラノ御尋ネニ對シ
テ、政府委員ヨリハ、其ノ場合ニ於テハ、
監督ノ責任者トシテノ立場ヨリシテ斷乎
ル處置ニ及ブ、ト云フヤウナ趣旨ノ御言明
ガゴザイマシタ、只今御尋ネ致シタ略式命
令ノ問題竝ニ辯護人選任ニ關スル問題等ニ
於テ、其ノ後上司ノ訓諭、訓令ニ聽カズ、
其ノ趣旨ニ反スルガ如キ態度ヲ執ルヤウナ
者ガ出テ參リハシナカッタデアリマセウ
カ、私ハ責任ヲ以テ申上ゲルノデアリマス
ガ、此ノ後ノ辯護人選定ノコトノ如キニ付
キマシテハ、某區裁判所ニハ判事ガ十二人
居ラレルサウデアリマス、其ノ中ノ八人ハ
大臣御訓諭ノ通り解釋シ實行ヲシテ居ラ
ルト云フコトデアリマスガ、残り四人ハ之
ニ聽カレナイ、ソレガ爲ニ辯護人ノ諸君カ
ラ其ノ態度ハ怪シカラヌデハナイカ、現ニ
大臣ハ議會ニ於テ是ダケノ言明ヲセラレタ
ノミナラズ、其ノ後刑事局長ノ訓諭ニモ、
殊ニ本月五、六日頃ノ東京控訴院管内判事
ノ會議ニ於キマシテモ、大臣御訓諭通りノ
決議ガアル、之ヲ突付ケテ、是デモ尙ホア
ナタハ大臣ノ言ハレル所ニ聽カレナイノカ
ト云フコトマデ申シタノデアリマスガ、ソ
レニ對シテモ大臣ハ大臣、私ハ私、斷ジテ
其ノ趣旨ニハ副ハレナイト云フコトデ、如
何ニシテモ理不盡ニ、選任ヲ辭任致シマシ
タ辯護人ノ再選任ニ付テ之ヲ許可セラレナ
イト云フコトデアリマス、私斯ク申ス以上
責任ヲ以テ申上ゲルノデアリマスガ、其ノ
一人ノ判事ハ某判事デアリマシテ、外三人
ガ今日尙ホ其ノ態度ヲ堅持シテ動カレスト云
フコトデアリマス、某區裁判所ハ帝都ノ眞
中デ、大臣ノ膝下ニアル裁判所デアリマス、

而モ此ノ帝都ノ區裁判所ニ於テ職務ヲ執
ラレル判事ハ、司法部内ニ於ケル優秀ナル
判事ナリト言ハナケレバナラナイノデハナ
イカト思ヒマス、所謂練達堪能ノ士デナケ
レバナラス、其ノ人ガ十二人ノ内四人マデモ
此ノ決議ヲ突付ケラレテモ尙ホ之ニ從ハヌ
ト云フコトヲ明言シテ憚ラヌト云フニ至リマ
シテハ、大臣ノ御威信何處ニアルカ、私ハ
此ノ問題コソハ、即チ此ノ一例ヲ以テシテ
モ、司法當局ガ本案ニ付テ將來過チナキヲ
期スル、斷ジテ部下ヲシテ誤ラシメナイ、
運營其ノ宜シキヲ期シマスト云フコトヲ御
言明ニナリマシテモ、尙ホ議會ハ其ノ實現
ヲ疑ハザルヲ得ナイ次第デアリマス、先ヅ
以テ膝下ニ居ル此ノ四人ノ判事等ニ對シテ
如何ナル處置ヲ以テ對セラレルノデゴザイ
マスカ、御所見ヲ承ツテ置キタイト存ジマ
ス

○岩村國務大臣 只今十二人ノ判事ノ内八
人ハ、私ガ曩ニ言明シタ通りニ解釋ヲ致シ
テ裁判事務ヲ取扱ツテ居ル、内四人ハ其ノ
解釋ニ從ツテ居ラヌト云フコトデ、サウ云フ
詳シイ事實ハ今此處デ初メテ伺フノデアリ
マス、能ク取調ベハ致シマス、併シ此ノ際申
上ゲテ置キタイコトハ、判事ハ法律ニ依ツ
テ裁判ヲスルノデアリマス、無論法律問題
ニハ解釋ノ相違ト云フコトハ避ケラレヌコ
トデアリマス、問題ノアルモノハ大審院ノ
判例デ決マル、學說デ色々論議ヲセラレル
ト云フヤウナコトハ隨分アル、私ハ私ノ解
釋ヲ持ツテ居リマスルガ、私ノ解釋ヲ以テ
判事ニ之ヲ強制スルト云フヤウナコトハ絶
對ニ出來マセヌ、又ナスベキコトデナイト
思ヒマス、唯私ハ私ノ解釋トシテ、其ノ解
釋ガ正シイト云フコトヲ以テ、私ノ考ヘハ

部下ニモ通達スルコトハ出來ル、併シ裁判
ヲスル際ニ、斯様ニ解釋ヲシテ裁判ヲシナ
ケレバナラヌト云フヤウナ趣旨ニナリマス
ルト、是ハ私ノ權限外ノコトト考ヘマス、是
ハ普通ノ行政事務ト違フコトハ申上ゲルマ
デモナイ、私ハ私ノ信ズル所ヲ十分徹底サ
スコトニハ努メマスルガ、裁判官ノ職責ニ
關シテ私ガ容喙スルガ如キコトハ、斷ジテ
スベキコトデナイ、斯ウ云フヤウニ私ハ考
ヘテ居リマス、併シ只今初メテサウ云フ詳シ
イ事實ヲ伺ヒマシタ、ソレガ職務上ドウ云
フヤウニ解釋スベキモノデアルカト云フコ
トハ、調ベテ見タイト思ツテ居リマス、ソ
レダケ御答ヘ申上ゲテ置キマス

○中井(一)委員 固ヨリ私共ハ判事ノ職務
ノ貴イコト、其ノ獨立ヲ尊バネバナラヌコ
トハ能ク承知ヲ致シテ居ル、併シナガラ此
ノ問題ノ如キハ、所謂裁判ニアラズシテ、
其ノ手續ニ過ギヌノデアリマス、隨ヒマシ
テ之ヲ大臣仰セノ如ク訓辭ノ通りニ解釋ス
ルカセヌカハ、其ノ判事ノ國民ニ對スル親
切ガアルカナイカト云フ問題ニ寧ロ歸スル
ノデアリマス、サウ云フ問題マデモ判事獨
立ダト云フノデ以テ、司法大臣ガ假ニモ此
ノ帝國議會ニ於テ御言明ニナツタコトヲ裏
切ツテ平氣デ居ルト云フノデハ、實ハ國民
ハ心配ヲ致スノデアリマス、茲ニ御提案ニ
ナリマシタ問題ニ付テモ強硬ナル反對議論
アリ、強硬ナル修正意見ノ出マスルノモ實
ハソレカラナノデアリマス、多ク論議ハ重
ネマセヌ、直チニ御取調ベニナツテ、所謂
運營ノ上デ然ルベキ御處斷ヲ賜ハラバ幸ヒ
ト存ジマス

ソコデ御尋ネヲ致シタイト思ヒマスルコ
トハ、現ニ只今御耳ニ入レタヤウナ事實モ
ゴザイマス、隨テ司法大臣ガ議會ニ於テ御
言明ニナリ、嚴重ニ訓諭シテ本法案ノ運用
上誤リナキヲ期スルト仰セラレテモ、ドコ
マデソレガ實現シ得ルカ、私共本法案ニ付
テ可否ヲ決心致シマスマデニハ、是非之ニ
對シテ安心ノ行キ得ルヤウナ大臣ノ御用意
ヲ承ラナケレバナラヌト信ズルノデアリマ
ス、ソレニ付キマシテハ唯單ニ訓諭ヲスル
トカ、一片ノ通牒デアルトカ云フヤウナモ
ノデハ、俺ハソレハ知ラヌト云フヤウナ
ノ出テ參ルコトヲ心配致シマス、就キマシ
テハ其ノ運營ヲ誤ナカラシムルヤウニ致ス、
其ノ訓令ト申シマスカ、例ヘテ申シマスル
ナラバ、司法警察官職務規範ト云フヤウナ
モノガアリ、是ハ法律デモナケレバ命令デ
モナイヤウデアリマスケレドモ、昭和十二
年司法省刑事局訓令トシテ出サレタモノノ
ヤウデアリマスルガ、ソレハチヤント六法
全書等ニハ明カニ載セラレテ居ルノデアリ
マス、誰モガ之ヲ讀ミ、之ヲ知ルコトガ出
來マスルカラ、知ラヌト申ス譯ニハ參リマ
セヌ、自然ニ所謂運用宜シキヲ得テ此ノ規
範ニ從ウテ事務ガ執ラレルコトニ相成ルト
思フノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ度ノ問
題、殊ニ略式命令ノ正式裁判ヲ仰グト云フ
コトニ付テ、其ノ拋棄ヲ強要シタリスルヤ
ウナコトハ斷ジテ許サヌゾ、之ヲヤツタモ
ノニ付テハ其ノ儘ニハ置カヌゾト云フ嚴重
ナル御訓令ヲ是ト同ジヤウナ方法デ御出シ
下サルコトガ一つノ方法デハナイカト思フ
ノデアリマス、更ニ具體的ニ申シマスルナ
ラバ、當議院ノ本會議ニ於テ改メテ其ノ趣
旨ヲ闡明セラレ、廣ク官報ヲ通ジテ國民ニ知
ラシメル、官僚ニモ知ラセル、又週報等ニモ
載セラレテ一般ニ周知セシメル、又只今申

上ゲタ司法警察官職務規範ノ如キ、斯ウ云フモノト同様ヲ扱ヒラセラレテ、六法全書等ニモ載セラレルヤウニ御盡力ヲ願フ、斯ウ云フヤウニ之ヲ上下各方面ニ知ラシメラレト云フコト位ダケハオヤリ下サラネバ、如何ニシテモ私ハ此ノ法案ニ付テハ多クノ疑ヒヲ殘サザルヲ得ヌノデアリマス、委員會ノ同僚各位モ同様ノ御心持デアリマスルカラ、此ノ際如何ニシテ之ヲ具體的ニ現ハスカト云フコトノ御明答ヲ得タイト存ジマス

○岩村國務大臣 只今色々御意見ノゴザイマシタ點ハ、略式命令ヲ交付スル場合ニ關シテデアラウト思ヒマス、其ノ場合ニハ刑事訴訟法第三百六十九條ノ規定ニ準ジマシテ、正式裁判ノ申立期間及ビ申立書ヲ其ノ裁判所ニ差出ス旨ヲ被告人ニ告知スルヤウニ致シタイト思ヒマス、尙ホ略式命令ニ關係致シマシテ、監獄ニ在ル被告人ガ略式命令ニ對スル正式裁判ヲスル場合ニ如何ニスルカト云フヤウナ細議論モゴザイマシタ、其ノ際正式裁判ノ申立ヲナスニハ、刑事訴訟法第三百九十一條、第三百九十二條ノ規定ニ準ジマシテ同日中ニ裁判所ニ申立書ヲ送付スルコトト致シタイト存ジマス、又正式裁判請求ノ拋棄ニ關シテモ色々御意見ガゴザイマシタ、正式裁判請求ノ拋棄書ヲ受理致シマス時ハ、其ノ本人ノ眞意ニ出タルヤ否ヤヲ確カムルコトニ致シタイト存ジマス、右ハ全ク大部分檢察局或ハ刑務課ノ取扱デアリマス、是ハ私ノ方デ訓令ガ出來得ルノデアリマス、是ハ先程ノ裁判ニ關スル事務トハ大分違ヒマス、是ハ訓令致シマシテ、一般ニ周知スルヤウニ努メタイト思ヒマス、是ハ私御引受ヲ致シマス

○中井(一)委員 御明答デ能ク了解致シマシタ

次ニ御伺ヒ致シタイコトハ、先程來委員諸君ノ心配セラレル所ヲ間違ヒナクヤルト云フコトノ爲ニハ、結局ハ裁判事務ニ携ハル所ノ其ノ人、特ニ判事ノ良イカ悪イカト云フコトニ依ツテ決マルノデアルカラ、裁判所ニハ練達堪能ノ判事ヲ配屬致シタイ、之ニ依ツテ三審制度ヲ二審制度ニ改メタ一ツノ缺陷ト申シマスカ、缺點ト申シマスカ、弱點ト申シマスカ、其ノ點ノ補強ト致シタイ、斯ウ云フ御話デゴザイマシテ、洵ニ然ルベキ御意見ト承ツタノデアリマスガ、ソレニ付キマシテハ、從來區裁判所ノ判事ト申シマス、何分最下級ノ審級ノ判事ト云フコトニナリマスノデ、年ノ寄ツタ人ガ來ラレレバ、老朽ダ、若い人ガ來ラレレバ若朽ダト云フヤウナ風ニ思ハレルコトガ慣例ノヤウデアリマス、若シサウ云フ感ジラ與ヘマシテハ、折角ノ政府ノ意圖セラレル所モ其ノ目的ヲ達スルコトガ出來ヌヤウニナルト思ヒマスカラ、是ハ一ツ論ヨリ證據ト云フ所デ、區裁判所ノ判事ニモ立派ナ人ガ來タゾ、ダカラ其ノ昇進等ニ付テモ大審院ノ判事同様ニ扱フゾト云フヤウナ所ヲ證據ヲ擧ゲテ御見セ願ヒタイト思フノデアリマス、モツト具體的ニ申シマシタラ、裁判所ノ判事カラ一躍所長、檢事正デ出ラレルト云フヤウナ劃期的ナ、此ノ法案ニ相應シイ特段ナ人事行政ニ付テノ御處斷ヲ賜ハリタイノデアリマス、サウ致シマスナラバ立派ナ判事モ喜ンデ裁判所ノ判事ニモナツテ呉ラレマセウシ、又サウ云フ待遇ニナリマスト、其事務ヲ執ラレル上ニ付テモ必ズソレダケノ效果ガ現ハレルモノト確信ヲ致シマ

ス、此ノ點ニ付テ大臣ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○岩村國務大臣 御答ヲ致シマス、本案ガ幸ニ御協賛ヲ得テ法律トシテ實施セラレル場合ニ於キマシテハ、司法ノ適正、人權ノ尊重等ニ些ノ遺憾ナカラシメル爲メ判檢事ノ配置ニ付キマシテハ十分ノ努力ヲ傾注致シタイト思ヒマス

尙ホ附加ヘテ申上ゲテ置キマスルガ、先程來色々御意見ノゴザイマシタ通り、此ノ法案ガ實施ハナリマスルト、區裁判所ノ判事ノ職責ハ非常ニ多クナルト考ヘマス、其ノ點特ニ適材ノ配置ト云フコトニ付テハ十分ニ意ヲ用ヒル積リデアリマス、尙ホ現在地位カラ申シマスルト、區裁判所ノ判事ニハ勲任官ヲ置クコトハ出來ナイノデアリマスガ、御承知ノ通り官吏優遇ノ途ガ開カレマシテ、本來ナラバ其ノ地位ニ於テハ區裁判所ノ判事ハ委任デアリマスケレドモ、特ニ優遇ノ意味ヲ以チマシテ東京ノ區裁判所ノ監督判事ハ勲任ヲ以テ優遇スルコトニナツテ居リマス、外ニモ區裁判所ノ監督判事デ勲任ニナリマシタ者モゴザイマス、是ハ其ノ人ヲ優遇スル譯デアリマス、サウ云フ點ニモ一層注意ヲ致シマシテ、出來ルダケ立派ナ人物、人材ヲ區裁判所ニ配置スルト云フコトニ致マシテ、法案ノ實施ニ違算ナキヲ期シタイト存ジマス

○中井(一)委員 最後ニ御尋ネ致シタイト思ヒマスコトハ、戰時刑事特別法中改正法律案ノ第十八條ノ三ナルベキ法文ノ解釋ニ付テデアリマス、同法文ニ依リマス「戰時ニ際シ官公署ノ職員其ノ地位ヲ利用シ他ノ官公署ノ職員ノ職務ニ屬スル事項ニ關シ幹旋ヲ爲スコト又ハ幹旋ヲ爲シタルコトニ付不

當ノ利益ヲ收受シ、要求シ又ハ約束シタルトキハ收賄ノ罪ト爲シ七年以下ノ懲役ニ處ス」トゴザイマス、此ノ法文中「官公署ノ職員」ト云フコトハ從來未ダ見ナカツタ言葉デアアルノデアリマシテ、之ニ付テハ先程仲井間代議士ヨリ御質問ニナリマシテ、一應ノ御答辯モ承ツタノデアリマス、併シナガラ何分ニモ初メテ出テ參リマシタ言葉デアリ、將來此ノ言葉ノ意義竝ニ其ノ範圍、ソレ等ニ付テ若シ立法ノ本旨ニ違フヤウナコトガアリマシテハ相濟マス次第デアリマスノデ、此ノ機會ニ於キマシテ明確ニ且ツ詳細ニ、殊ニ具體的ナ事實ヲ御教示下サレマシテ、將來ノ爲ニ備ヘルヤウニ致シテ置キタイト存ジマス、御明答ヲ願ヘレバ幸ヒデアリマス

○池田政府委員 法文ノ解釋ノ問題ニ關聯スルノデ、便宜私カラ御答ヘ申上ゲマラス、案ノ第十八條ノ三ニアリマス「官公署ノ職員」ト申シマスノハ、常時専ラ官署又ハ公署ニ於キマシテ公務ニ從事スル職員ヲ指稱スルノデゴザイマス、之ヲ具體的ニ擧指致シマスレバ、官吏、待遇官吏、公吏、官公署ノ囑託員、其ノ他俸給又ハ給料ヲ得テ公務ヲ奉ズル官公署ノ職員ヲ、右ノ職員ノ範圍ニ屬セシメマシテ處罰ノ對象ト致サントスル趣旨デゴザイマス、隨ヒマシテ官公署ニアラザル各種議會ノ議員ハ、何レモ官公署ノ職員デハゴザイマセヌ、又内閣委員及ビ各省委員職制ニ基キマシテ任命セラレマスル所ノ内閣委員及ビ各省委員モ亦、官公署ノ職員ノ範圍ニハ入ラナイノデゴザイマス、更ニ又内閣總理大臣又ハ各省大臣ノ監督ノ下ニアリマスル各種委員會ノ委員モ、固ヨリ官公署ノ職員ノ範圍ニ入ラヌ趣旨デゴザイマス、右御答ヘ申上ゲマス

○中井(一)委員 御説明ノ御趣旨ハ能ク了解ヲ致シマシタ、併シナガラ何分是ハ法律デアリマスカラ、之ヲ解釋サレル判事等ニ若シ意義ガ他ノ意味ニ解釋サレルヤウナコトガアリマシタラ一大事デアリマス、只今御説明ニナリマシタ趣旨ガ徹底致サヌト云フコトニナリマシテハ大變ナコトデアリマスカラ、此ノ際只今御説明ノ御趣旨ヲ徹底スル方策ニ付テ明カニシテ置イテ戴キタイト存ジマス、固ヨリ只今御尋ネテ致シテ居ルコトハ、判事ノ解釋ヲ制限シロトカ、判事ノ解釋ニ指圖ヲセヨトカ云フヤウナ趣旨デハゴザイマセヌ、司法大臣トシテ職務上許サレ得ル、而モ有效適切ナル方策ガアレバ承リタイ、斯ウ云フ趣旨デアリマス

○岩村國務大臣 此ノ用語ハ法文トシテハ餘リ見受ケナイノデゴザイマシテ、色々疑問ガアツテハイカヌト私モ考ヘテ居リマス、殊ニ檢事ガ起訴致サナケレバ裁判ト云フモノハ起ラヌ譯デアリマス、起訴ノ點ニ付テ十分慎重ノ態度ヲ持シタイト思ヒマス、尙ホ法律ノ解釋ハ是ハ一般ニ通達致シマシテ、本日御答ヘヲ申上ゲマシタヤウナ趣旨デ此ノ法案ヲ起案シタモノデアルト云フコトモハツキリ傳ヘル積リデアリマス、何レ會同等モ暮ニハ院長、檢事長ノ會同ガアリ、又一般會同デアルトカ、サウ云フ色々ノ機會ニ十分部内ニハ徹底サセル積リデアリマス、其ノ點ハドウカ御諒承ヲ願ヒマシタ

○中井(一)委員 私ノ質問ハ終了致シマシタ

○作田委員長 南君ノ警察官拘留ニ關スル内務大臣ニ對スル御質疑ガ殘ツテ居ルノデアリマスガ、内務大臣ハ御出席ニナリマセヌ、御諒承ヲ願ヒマス——是ニテ質疑ハ終了致シマシタ

第六類第四號 工業所有權法戰時特例案外三件委員會會議錄 第二回 昭和十八年十月二十八日

了致シマシタ

○南委員 私ハ内務大臣ダケニ對スル質問デハゴザイマセヌノデ、司法大臣ト共ニト云フコトヲ留保シテ置イタノデアリマスカラ、ドウカ司法大臣ダケデモ結構デアリマスカラ……後ハ記錄ヲ見テ貰フコトニ致シマスカラ、其ノ意味デ質問ヲシタイト思マス、先程留保シテ置イタ質問デアリマス

○泉委員 委員長ハ只今質問終了シタト宣告サレタヤウデアリマスガ、其ノ宣告ガ效力ガナイモノト致シマスレバ、此ノ程度ニ於テ質問終結ノ動議ヲ提出致シマス

○作田委員長 委員長ノ宣言ハ維持致シマス、暫時休憩致シマス

午後五時五十八分休憩

午後六時四十一分開議

○作田委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス、南君カラ發言ヲ求メラレテ居リマス、此ノ際之ヲ許可シマス——南君

○南委員 私ハ今回ノ改正案ニ伴ヒマシテ區裁判所ノ權限ノ擴張ト、地方裁判所ニ於テモ警察ノ記録ト云フモノガ證據ニナツテ來ルト云フコトガ非常ニ擴張セラレルモノデゴザイマスカラ、ソレニ付キマシテハドウシテモ警察ノ記録ト云フモノヲ十分ニ信憑ノアルモノニシテ貰ヒタイ、ソレニ付テハ徒ラニ警察ニ於テ、法律ノ規定ニ據ラズシテ無暗ニ人ヲ拘束シテ居ル、逮捕監禁ヲ法律ノ根據ニ據ラズシテヤツテ居ルト云フコトニ付キマシテ、此ノ國家ノ重大時局ニ於テ斯ウ云フ違法ナコトガ續クト云フコトハ困ルデヤナイカ、ソレニ對シテ政府ノ御考ヘ方ガナイカト云フコトニ付テ、詳細ナル理由ヲ具シテ意見ヲ述ベテ御考ヘヲ御尋

ネスル積リデ居リマシタ、ソレニ付キマシテハ内務大臣ガ御列席下サルコトヲ適當デアアル、單ニ司法當局ダケニ御尋ネスルノハ足ラヌト思ヒマシテ、御遠慮シテ居ツタヤウナ譯デアリマシタガ、既ニ時間モ經チマシタ關係上、又折角御發言ヲ許サレマシタケレドモ、今日十分ナル發言ヲ續ケルト云フコトハ、結果ハモウ分ツテ居ルノデスカラ、別ノ機會ニ於テ所見ヲ述ベテ政府ノ御考ヘヲ尋ネルコトニ致シマシテ、今日ハ全然發言ヲ續ケナイコトニ致シマス、ドウカ一ツ御諒承願ヒマス

○作田委員長 是ヨリ裁判所構成法戰時特例中改正法律案、戰時民事特別法中改正法律案、戰時刑事特別法中改正法律案ノ三案ヲ一括シテ討論ニ付シマス——山本彙吉君

○山本彙吉委員 私ハ當委員會ニ付託セラレタル以上ノ三案ニ對シマシテハ、時局柄最モ重大ナル法案ト思料致シマスカレドモ、司法當局ノ言明ヲ信賴シ、其ノ言明ガ實效ヲ發スルヤウ全キ御努力ヲ御願ヒ致シマシテ、原案ニ贊成スル者デアリマス

○作田委員長 討論ハ是ニテ終局致シマシタ、是ヨリ採決ヲ致シマス、三案トモ原案贊成ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○作田委員長 御異議ナイモノト認メマス、仍テ三案ハ原案ノ通り可決致シマシタ〔拍手〕

一言御挨拶ヲ申上ゲマス、會期切迫ノ折柄ニ拘ラズ委員各位ニハ非常ナル御努力ヲ本案ノ檢討ニ從事致サレマシタ、委員長トシテ洵ニ感謝ニ堪ヘナイ次第デアリマス、才蔭デ圓滿ニ終局致シマシタ、茲ニ謹ソデ

御禮ヲ申上ゲマス〔拍手〕是ニテ散會致シマス

午後六時四十五分散會

三五

昭和十八年十月三十日印刷

昭和十八年十月三十一日發行

衆議院事務局

印刷者 內閣印刷局